NEC

ユーザーズマニュアル

893-810030-001-A
第3版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	爆発するおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。**発火**するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		アース線を接続してください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。
また、Windows Server 2003について特記がない場合は、Windows XPと読み替えてください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

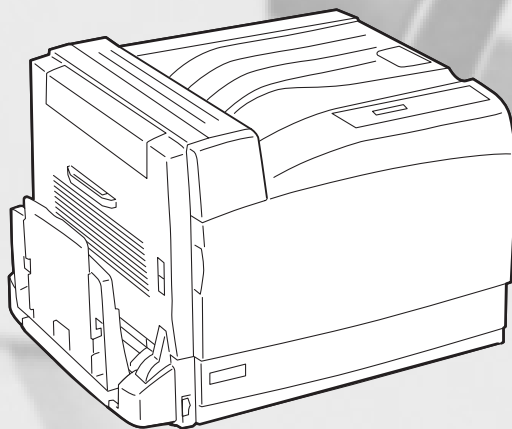
Color MultiWriter 9700Cは高性能CPUと専用描画プロセッサーを搭載し、より高速な印刷を可能にしたNECが提唱する「MOPYING」に適したプリンターです。

以下のような特長を持っています。

- 最高24ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
- 9,600dpi相当×600dpiの高品位の印刷を実現
- ネットワークインターフェース標準装備
- 両面印刷機能を実現（オプションの両面印刷ユニット装着時）
- 最大給紙容量2,420枚（オプションの増設ホッパ（500×3）装着時）
- ハードディスク（オプション）に蓄えられたデータを使った電子ソート、認証印刷
- ウォームアップタイム30秒の高速起動

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。

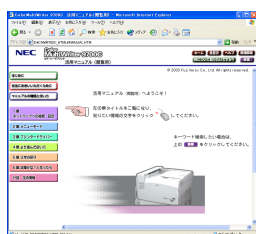
MOPYINGについては、『プリティングスタイル「MOPYING」とは』（9ページ）をお読みください。

2003年6月 初版
2003年10月 第2版
2004年5月 第3版

マニュアルの種類と使い方

Color MultiWriter 9700C本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル（本書）」と「活用マニュアル（添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録）」があります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

Color MultiWriter 9700C　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

印刷用

Color MultiWriter 9700C　活用マニュアル（プリンターソフトウエアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、汎用のブラウザーで閲覧できるHTML形式を採用した「活用マニュアル（閲覧用）」と、Adobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができるPDF形式を採用した「活用マニュアル（印刷用）」があります。どちらも内容は同一です。記載内容については活用マニュアルの内容（viiページ）をご覧ください。

なお、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはviページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルそれぞれを、目的に応じてお使いいただくために、次ページに目的別マニュアルガイドを示します。

目的別マニュアルガイド

活用マニュアル（閲覧用）を見るには

活用マニュアル（閲覧用）はHTMLファイル形式です。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されていて、お手持ちのコンピューターの画面上でブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

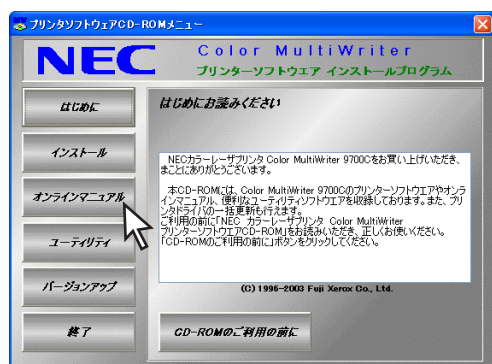
❶ **お使いのOSを起動する。**

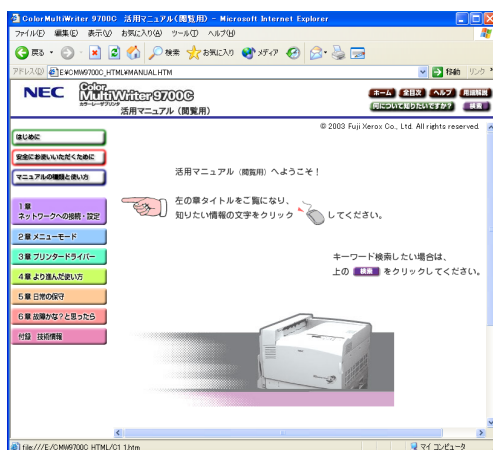
❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[オンラインマニュアル]をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ **右側のボックスの[Color MultiWriter 9700C 活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。**

ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章　ネットワークへの接続・設定

本プリンターを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- Color MultiWriterを使ったネットワーク印刷の概要
- 無線LANボードに関する安全上のご注意
- ネットワークオプションの設置手順
  無線LANボード、LANアダプター
- 操作パネルによる基本設定
- ユーティリティーによるネットワークの設定
  EASY設定ユーティリティ、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ、無線LANプリンタ導入ウィザード、WWWブラウザー、Telnet、UNIXコマンド
- 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール
- ターミナルサービス環境
- UNIX環境の設定
- より便利なネットワーク機能
  DHCP、SNMP、アクセス制限
- ネットワーク設定の初期化
- コンフィグレーションページ印刷

2章　メニューモード

メニューモードの詳細について説明しています。

- 操作パネルでの設定方法
- メニューモード設定項目一覧
- メニューツリー
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容

3章　プリンタードライバー

プリンタードライバーの設定手順について説明しています。

- プロパティダイアログボックス
- カラー印刷の調整

4章　より進んだ使い方

本プリンターの便利な機能と使い方について説明しています。

- リプリント機能
- ジョブ結合
- 丁合い設定
- MOPYING設定ウィンドウ
- 両面印刷・製本印刷
- リレー給紙機能
- 拡大・縮小印刷
- 複数ページ印刷
- 分割拡大印刷
- 長尺紙を使ったポスター印刷
- ヘッダー／フッター
- ウォーターマーク印刷
- プリセットメニュー
- 認証印刷
- プリンターステータスウィンドウ
- リモート電源制御
- プリンター管理者向けインストール
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの自動切り替え
- 保守情報のメール通知
- WebPrintAgent
- 印刷ログの出力
- プリンタ利用情報通知
- プリンタードライバーのバージョンアップ

5章　日常の保守

消耗品の交換手順、清掃手順について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

6章　故障かな？と思ったら

故障かな？と思った場合の原因と処置方法を説明しています。（本書の記載内容に加え、「ネットワークで思うように印刷できない」場合の処置方法を説明しています。）

付録　技術情報

本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕　様
- 用紙の規格
- 印刷範囲
- 印刷品質保証領域
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- 使用できるプリンターケーブル
- ステータス印刷のプリント結果
- インターフェース

用語解説

本書で使用している用語の説明を記載しています。

目次

7章　日常の保守 149

8章　故障かな？と思ったら 163

9章　ユーザーサービス 207

10章　消耗品・オプション .211

付録　技術情報 235

索引 247

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

Color MultiWriter 9700C内には、警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたらサービス担当者または販売店にご連絡ください。

警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない

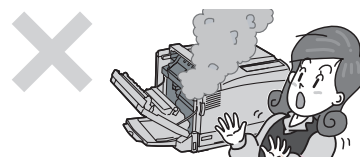
このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。（このプリンターは、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。）

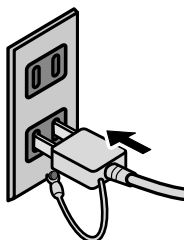
分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

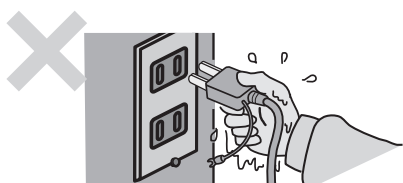
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

カートリッジを火の中に投げ入れない

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジを火の中に投げ入れないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

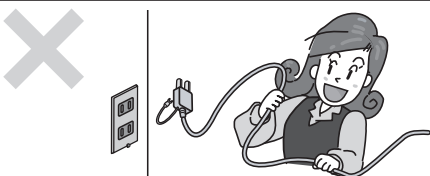
落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

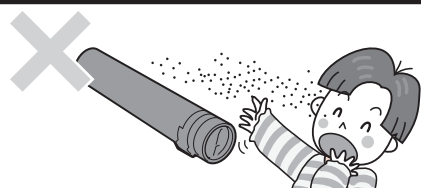
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

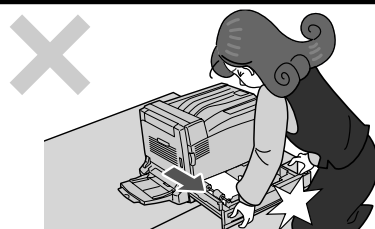
高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

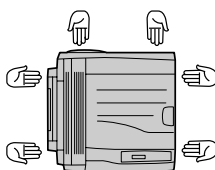
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、トナー回収カートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

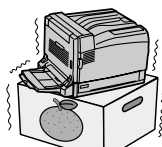
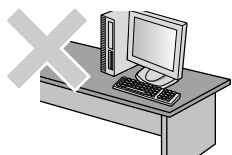
用紙カセットを勢いよく引き出さない

用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

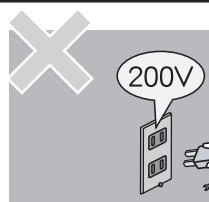
プリンターを運ぶときは3人以上で

プリンターの質量は約60kgです。（消耗品、用紙カセットを含む。）

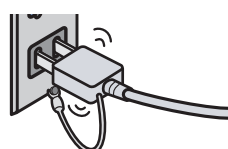
左図の位置にある取っ手部を持って3人以上で運んでください。1〜2人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

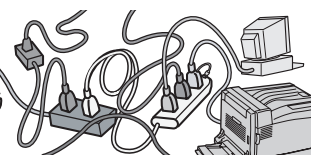
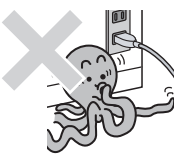
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

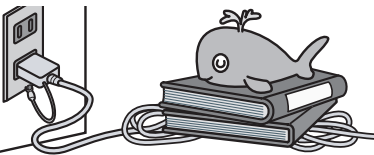
専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

延長コードを使わない

添付の電源コードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

警告

心臓ペースメーカーに近づけない

埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。

現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない

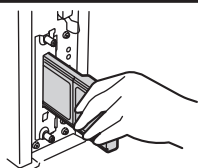
心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

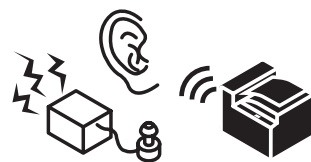
無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠ 注意

無線LANカードの
差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードをスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。Color MultiWriter 9700Cに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、Color MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

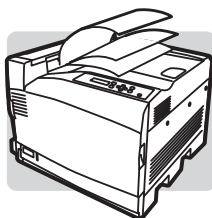
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

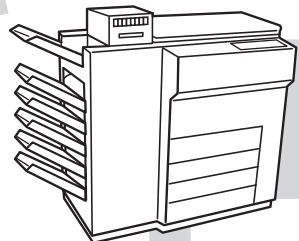
会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなくColor MultiWriter 9700Cで必要部数を直接印刷することをお勧めします。Color MultiWriter 9700Cはコピー機並みの印刷速度、両面印刷機能*、丁合い機能を備えています。
原稿に合わせて、いちいちコピー機のように濃度調整をする必要がなくカラーで印刷されたものが白黒になりません。Color MultiWriter 9700Cはカラー印刷の資料が必要部数そろいます。

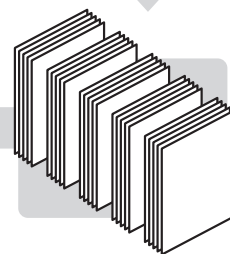
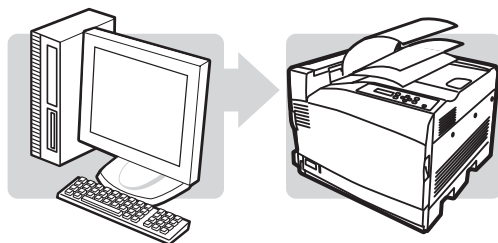
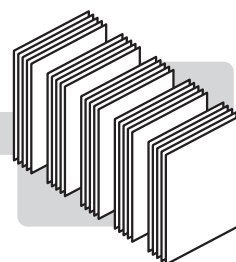
* オプションの両面印刷ユニットが必要です。

コピー機を使った複写出力

① 原稿を作成

② 原稿を出力

③ 原稿の順番をそろえる

④ 必要部数を両面コピー＆丁合い

⑤ できあがり

せっかくのカラー印刷が
黒くつぶれた白黒の仕上がり

MOPYINGによるオリジナル出力

コピー機よりコストが安い

Color MultiWriter 9700Cを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。Color MultiWriter 9700Cのランニングコストは1枚あたりモノクロ印刷で約3円*、カラー印刷でも約12円*と低コストです。

Color MultiWriter 9700Cの導入は同等機能のカラーコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが約半分以下となり、大幅な経費削減になります。

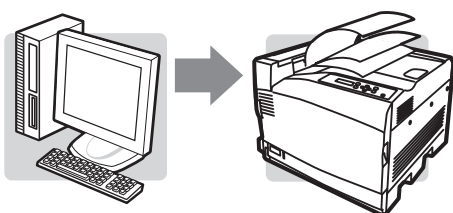
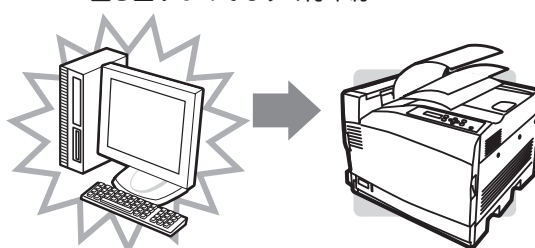
* 平成15年6月現在

一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

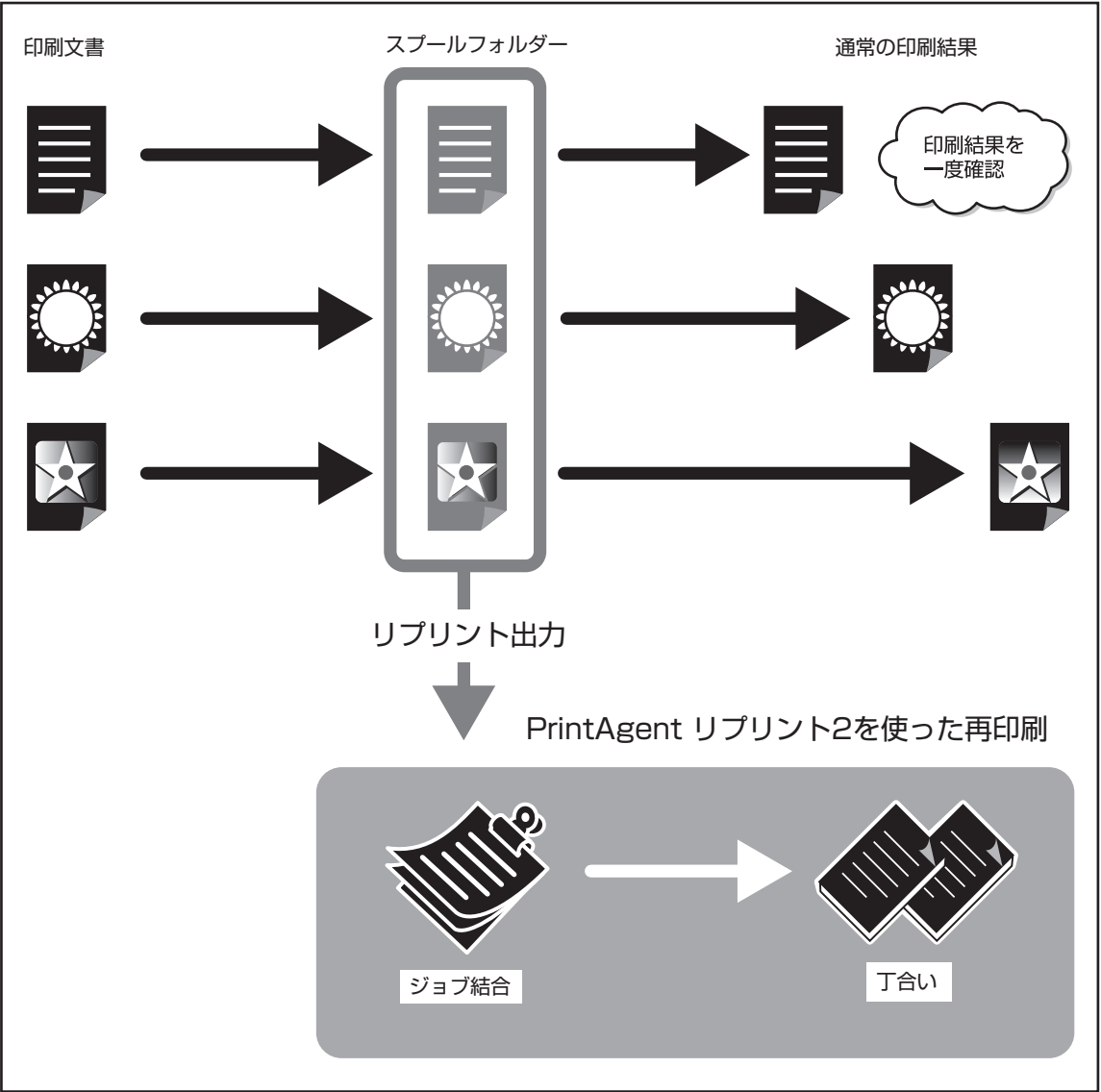
PrintAgentの「リプリント機能」を使うと一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えばいちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷できます。

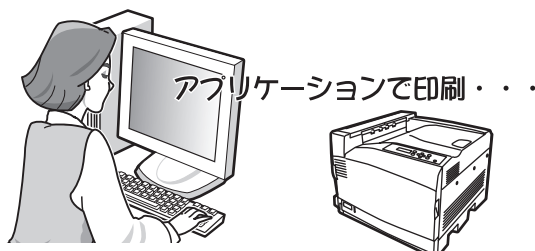
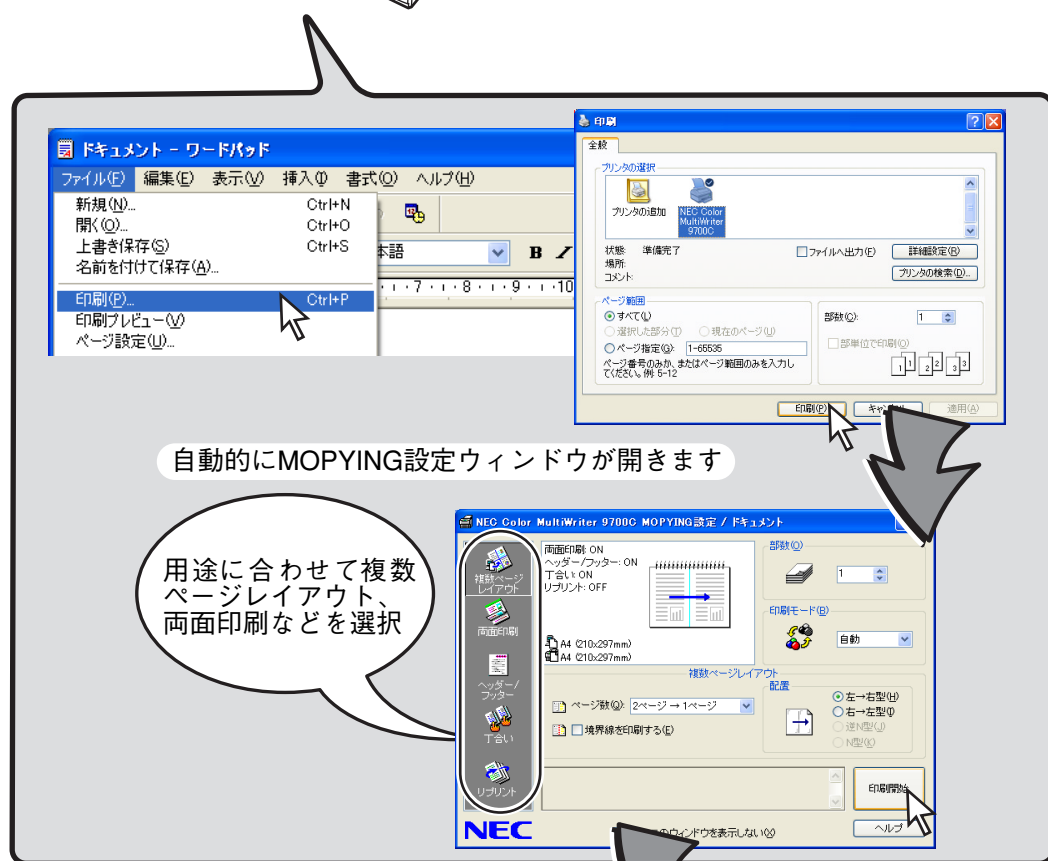
しかも、蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ再印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

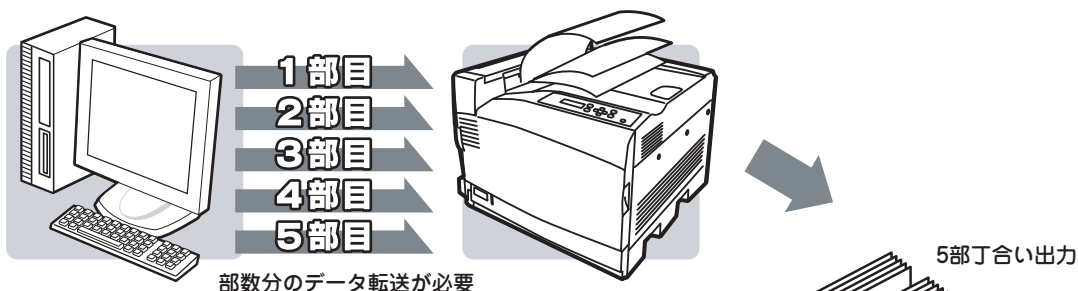
さらに、再印刷する文書でも丁合いされた出力が可能です！

リプリント機能はColor MultiWriter 9700Cに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。PrintAgent リプリント2を使ったMOPYINGのフローは以下のとおりです。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

本プリンターでは、印刷開始前にプリンタドライバのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*1ので、複数ページ印刷や両面印刷の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

＊1　標準設定では MOPYING 設定ウィンドウは表示されません。MOPYING 設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については 5 章の「MOPYING 設定ウィンドウを使って印刷する」（117 ページ）をご覧ください。

複数ページレイアウト印刷、両面印刷、*2
丁合い印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

＊2　両面印刷ユニット（オプション）使用時

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

Color MultiWriter 9700Cはコピー機さながらのモノクロ／カラー毎分最大24ページの高速印刷を実現。電子ソート機能*を使えばパソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です。プリンターのハードディスクに印刷データを蓄え、必要部数を印刷するのでトータル印刷処理時間が短縮されます。

* 電子ソート機能を有効にする場合、ハードディスク（オプション）の装着が必要です。

従来の丁合い機能を使った出力

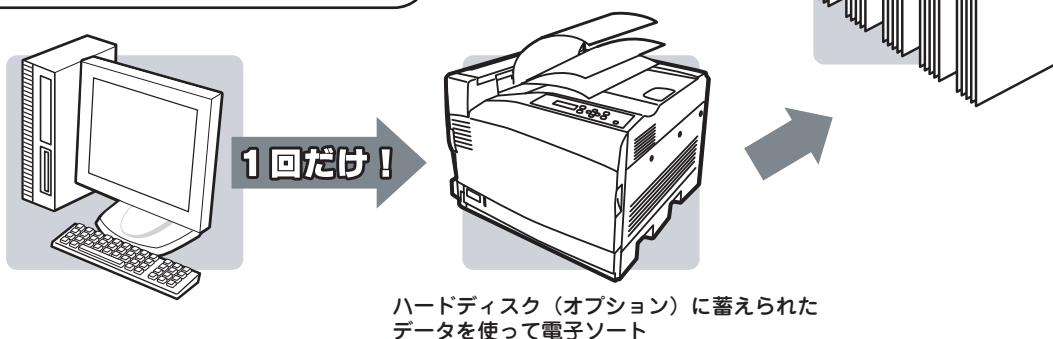
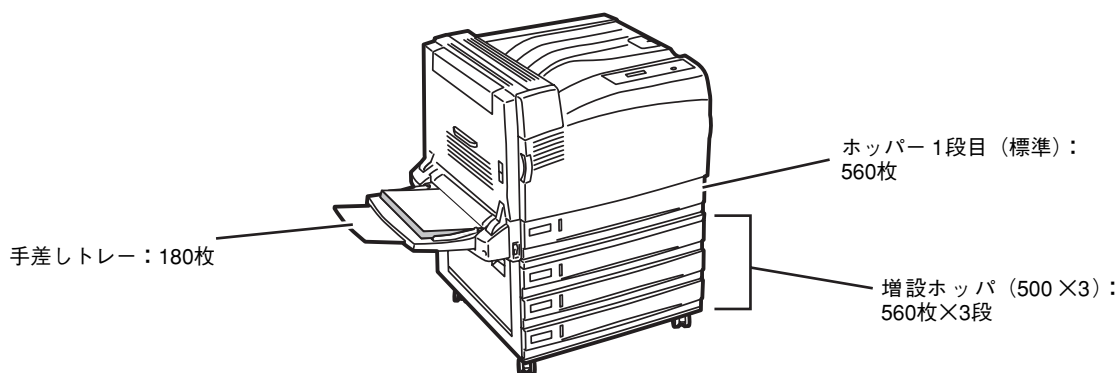
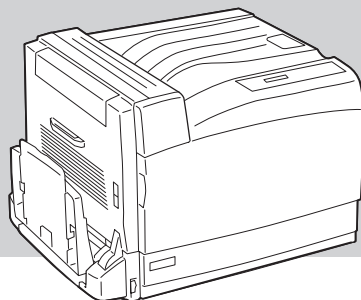
1部目
2部目
3部目
4部目
5部目

部数分のデータ転送が必要

5部丁合い出力

電子ソート機能を使った出力

1回だけ！

ハードディスク（オプション）に蓄えられたデータを使って電子ソート

Color MultiWriter 9700Cは増設ホッパ（500×3）（1,680枚）を取り付けることで、標準ホッパー、手差しトレーも合わせた用紙容量は最大2,420枚。まさにコピー機並みの用紙容量です。

1章
プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する

2 箱の中身を確認する

3 各部の名称を確認する

4 梱包材を取り除く

5 各部品をセットアップする

6 用紙をセットする

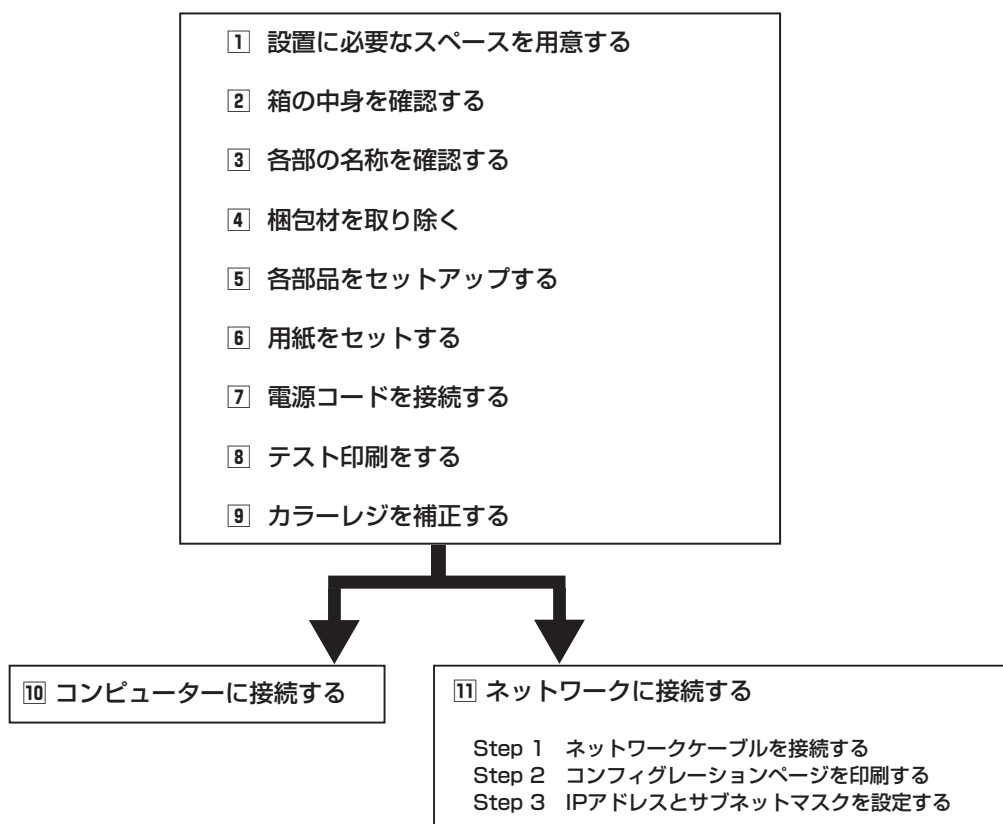
7 電源コードを接続する

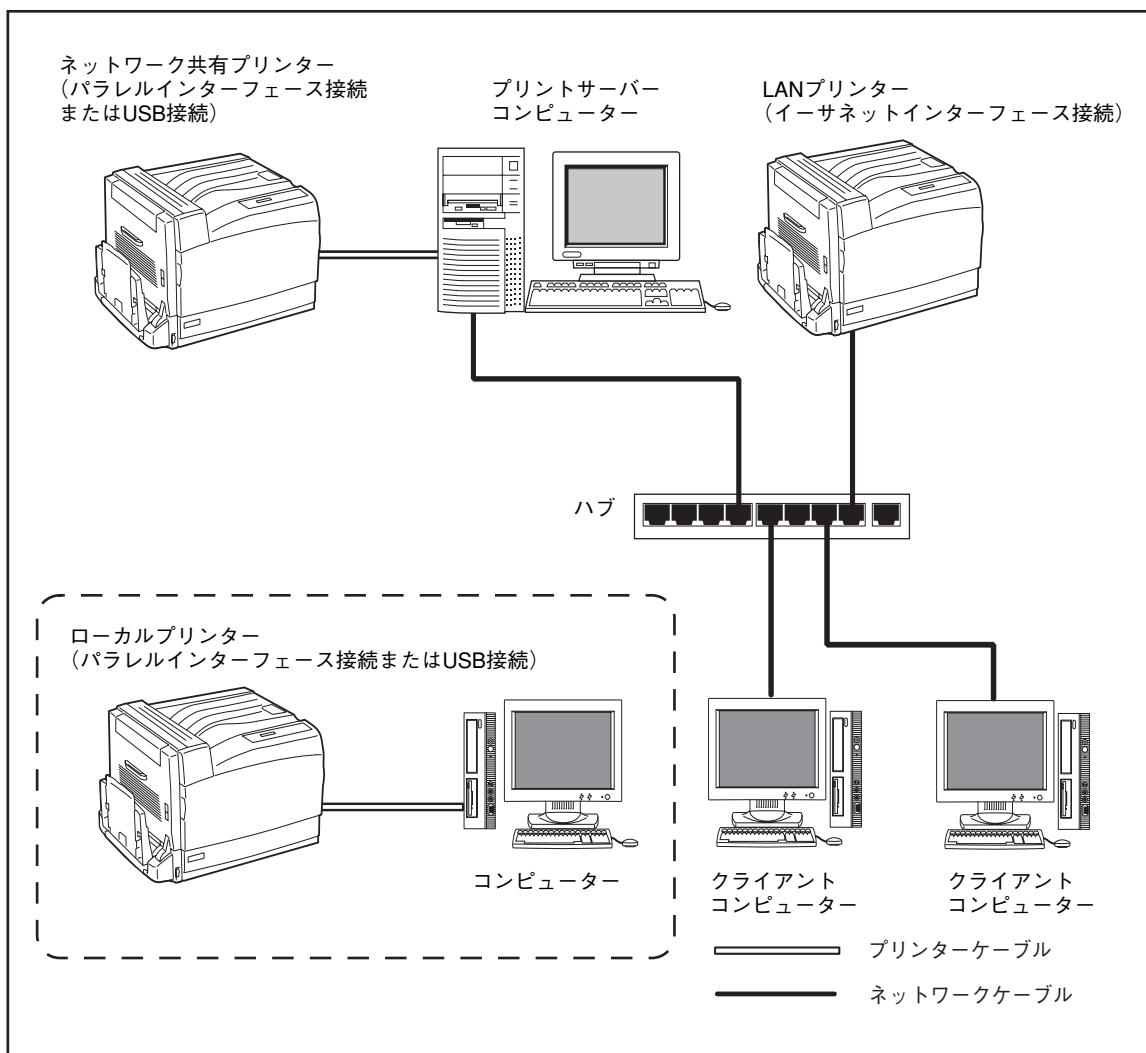
8 テスト印刷をする

9 カラーレジを補正する

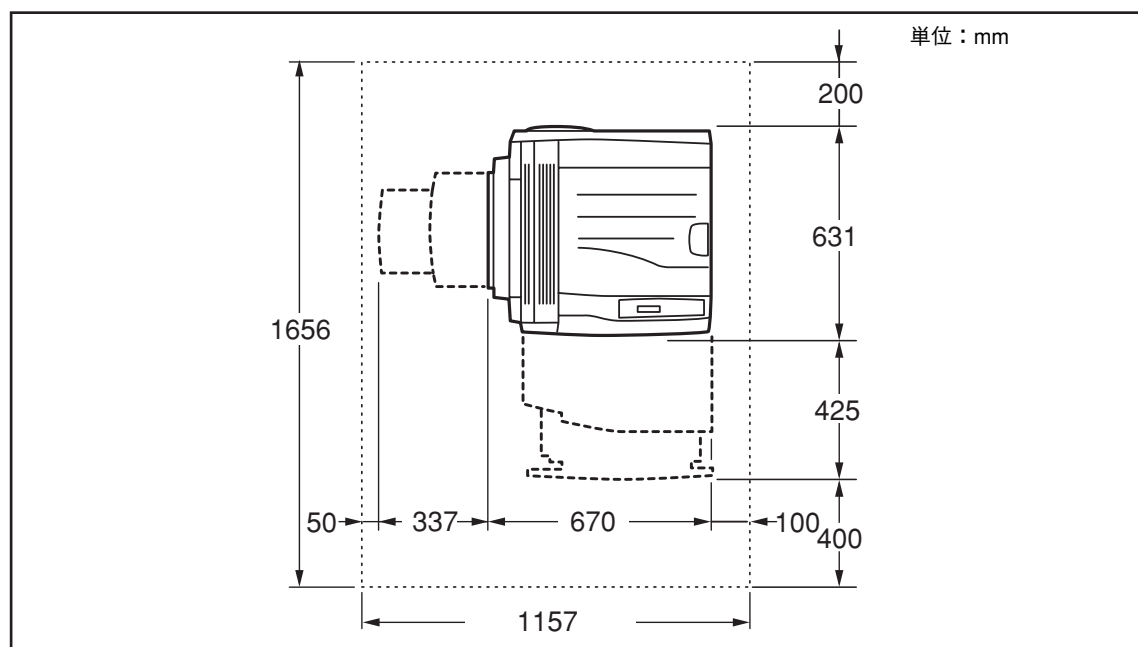
10 コンピューターに接続する

11 ネットワークに接続する

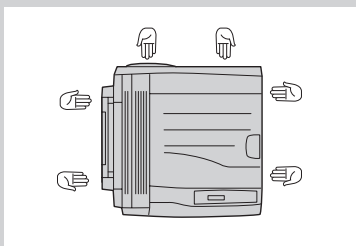
Step 1　ネットワークケーブルを接続する
Step 2　コンフィグレーションページを印刷する
Step 3　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

Color MultiWriter 9700Cはパラレルインターフェース接続、USBインターフェース接続、およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください（接続方法については「⑩ コンピューターに接続する」（43ページ）または「⑪ ネットワークに接続する」（44ページ）をご覧ください）。

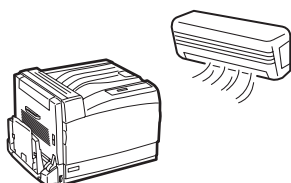
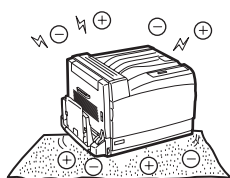
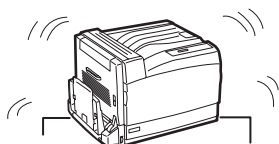
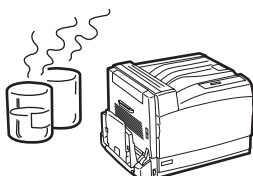
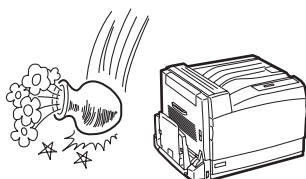
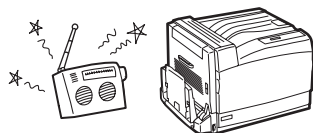
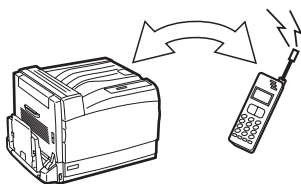
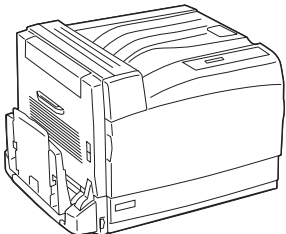
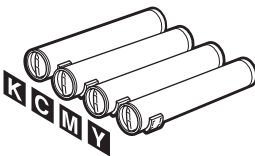
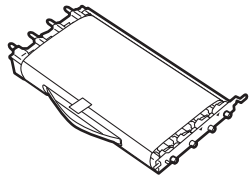
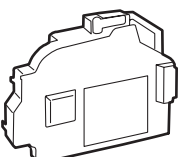
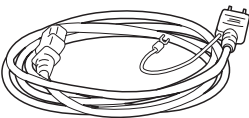
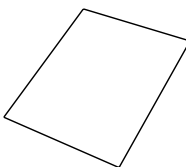
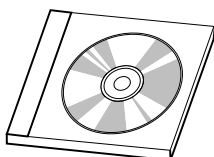
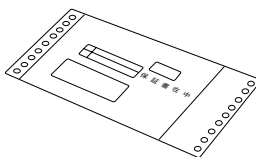
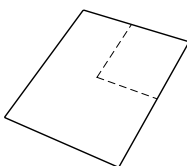
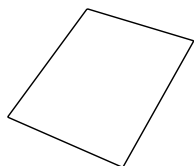
以下は、Color MultiWriter 9700Cの接続例です。

Color MultiWriter 9700Cの接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

- プリンター（質量：約60 kg）が載る平らで丈夫な机または床の上に置いてください。
- プリンターのまわりに下図に示すスペースを確保してください。特に排気口をふさがないよう注意してください。

プリンター上面

⚠注意

- プリンターの質量は60kg（オプションを除く）です。必ず3人以上で持ち運んでください。なお、プリンターを持ち運ぶときは、必ずオプションの増設ホッパーをプリンターから取り外してください。
- プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右と背面に向かって、左右両側、背面側の下方にある取っ手部を両手でしっかりと持ってください。それ以外の場所を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。

- プリンターを移動する場合は、プリンターを10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

次のような場所には設置しないでください。また、正しく動作させるために注意事項を守ってください。

×		直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり、故障の原因となることがあります。
×		じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。
×		強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。
×		腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。
×		上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。
×		ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。
×		携帯電話またはPHSをプリンターの近くで使用しないでください。プリンターが異常動作するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

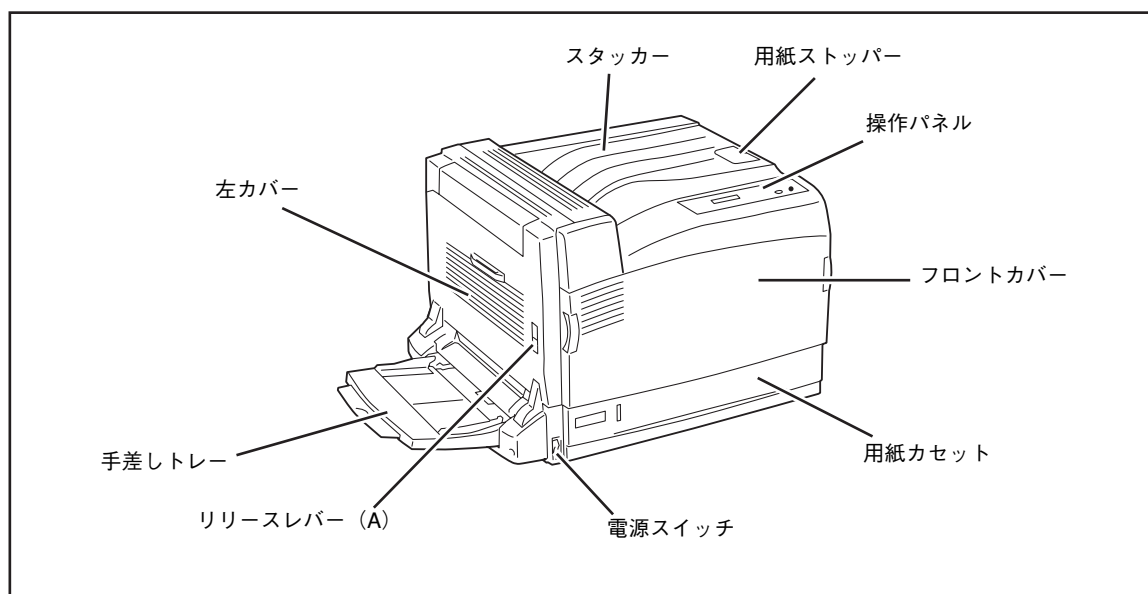
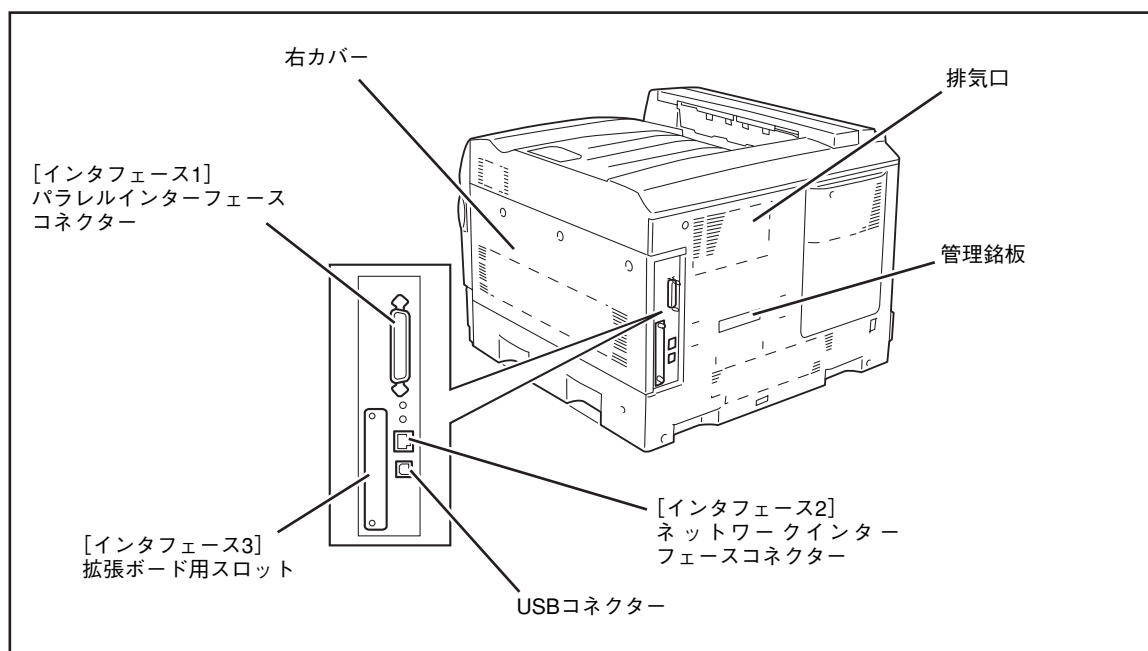
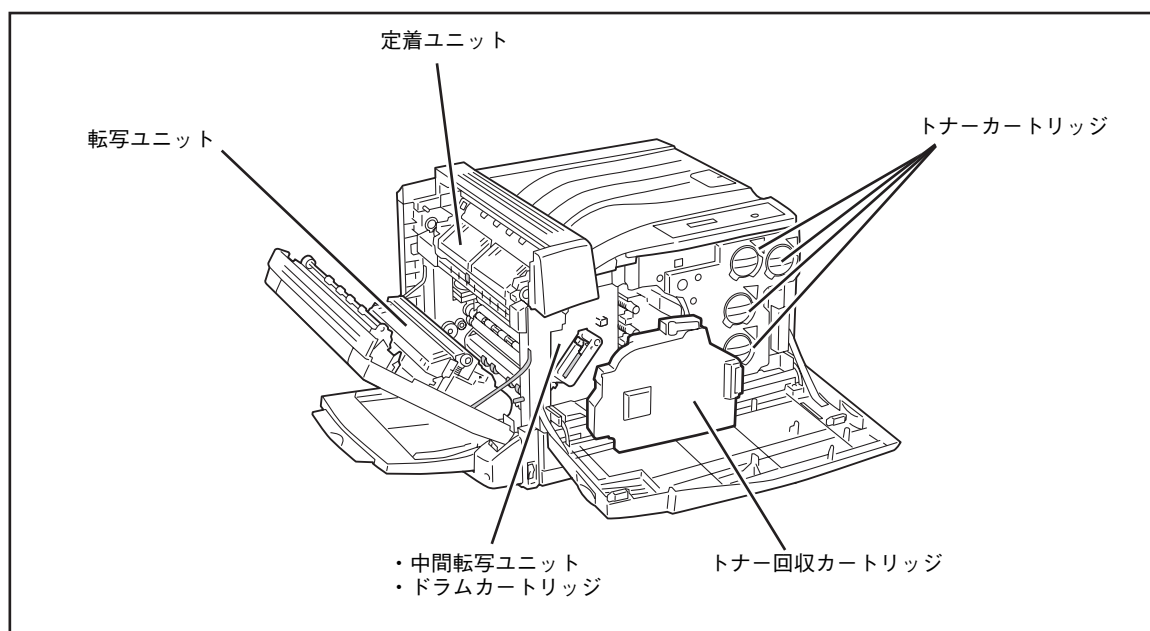
箱を開けて製品がそろっていることを確認してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

- プリンターケーブルは添付されていません。お使いのコンピューターに合わせて別途用意してください。（詳細は活用マニュアル付録の「使用できるプリンターケーブル」を参照してください。）
- 梱包箱、緩衝材はプリンターを移動するときに使います。捨てずに保管してください。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

- お客様登録申込書に所定事項を記入して登録してください。（詳しくはお客様登録申込書をお読みください。）
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

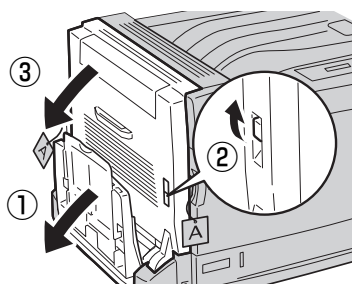
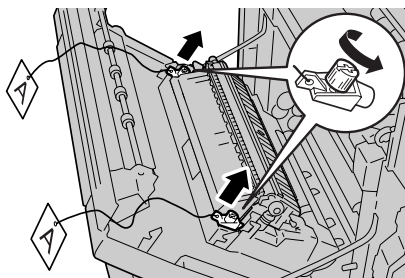
3 各部の名称を確認する

プリンター各部の名称について説明します。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

プリンター前面

プリンター背面

プリンター内部

4 梱包材を取り除く

プリンターには輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定しています。次の手順に従ってテープを取り除いてください。

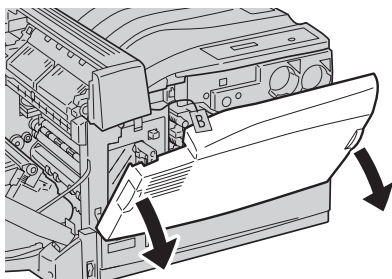
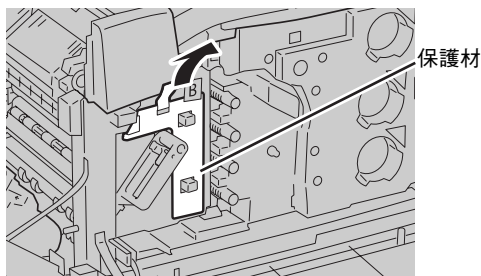
❶ **プリンター本体の開閉部からテープをはがす。**

❷ **手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。**

❸ **転写ユニット部左右近傍のネジをゆるめて、転写ユニットスペーサーを取り除く。**

左カバーは開けたまま、引き続きドラムカートリッジの取り付けに進みます。

5 各部品をセットアップする

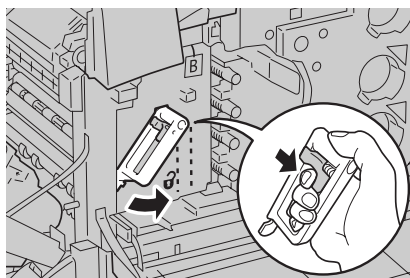
①ドラムカートリッジ/トナー回収カートリッジ

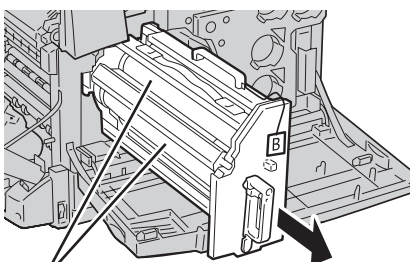
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機で吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ **左カバーが開いていることを確認してから、フロントカバーを開ける。**

❷ **保護材のタブを持ち、斜め上方向に引き上げて取り外す。**

✔チェック

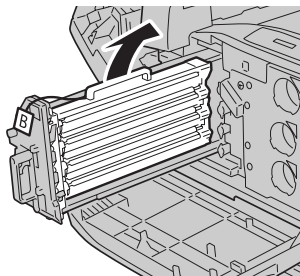
保護材は、必ず斜め上方向に引いてください。

取り外した保護材は、プラスチックごみとして廃棄してください。

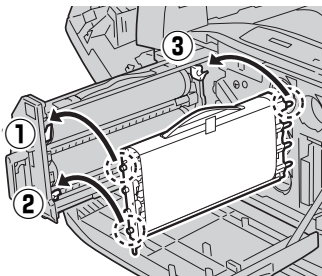
❸ **ハンドルの内側のレバーを手前に引きながら、ハンドルをカギ印（🔓印）のガイドラインの位置まで回す。**

レバーが引きにくいときはハンドルを少し左に持ち上げながらレバーを引いてください。

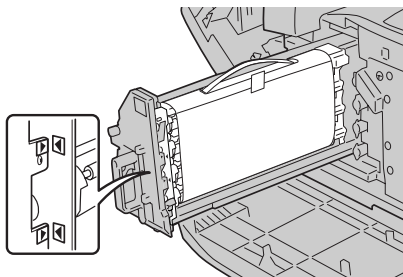
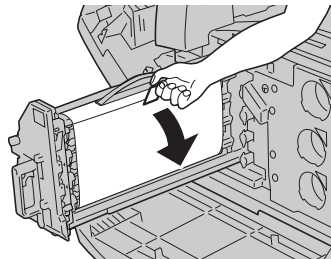
❹ **ハンドルを持って中間転写ユニットをゆっくりと確実に止まるまで引き出す。**

中間転写ユニットの
転写ロール

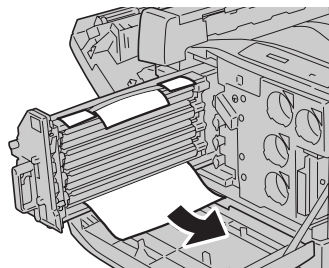
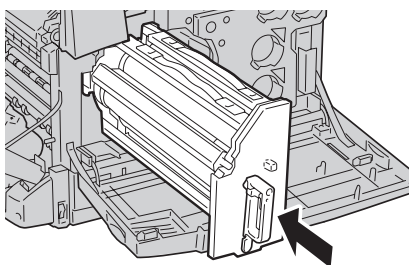
中間転写ユニットの転写ロールに触れないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。

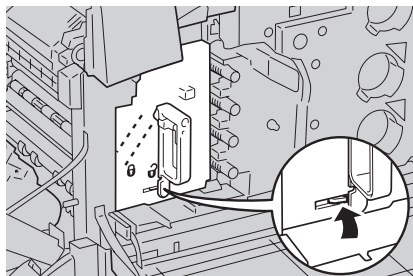
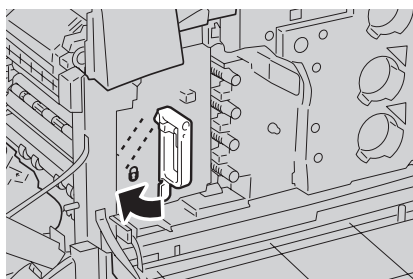
❺ **保護用カートリッジの取っ手を持って取り外す。**

取り外した保護材は、プラスチックごみとして廃棄してください。

❻ **ドラムカートリッジを袋から取り出す。**

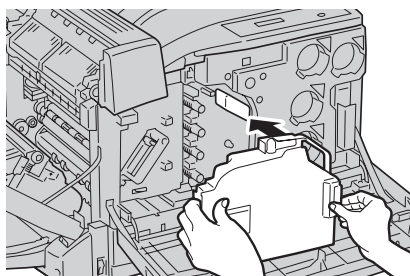
❼ **保護紙を付けたままドラムカートリッジの取っ手を持って、手前の突起（①、②）を載せてから、奥側の突起（③）を載せる。**

❽ **中間転写ユニットの矢印とドラムカートリッジの矢印の位置が合っていることを確認する。**

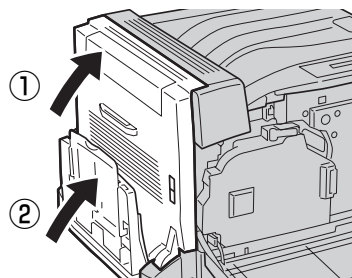
矢印の位置が合っていなければ❼からやり直します。

❾ **ドラムカートリッジの保護紙のテープをはがし、保護紙を下側から引き抜く。**

保護紙を外した後は、長い時間（3分以上）そのままにしたり、強い光を当てないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

❿ **保護紙を下側から引き抜く。**

⓫ **中間転写ユニットをしっかりと奥に突き当たるまで押し込む。**

中間転写ユニットの転写ロールに触れないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。

中間転写ユニットが正しい位置まで戻ると、図の突起も元に戻ります。

⓬ **中間転写ユニットのハンドルをカギ印（🔒印）のガイドラインの位置まで回す。**

- ハンドルが回りにくいときは、もう一度中間転写ユニットを引き出し、本プリンターの奥までしっかりと押し込んでください。
- ハンドルを正しい位置まで戻すと、ハンドルが固定されます。

⓭ **トナー回収カートリッジを袋から取り出す。**

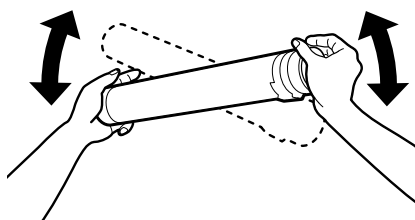
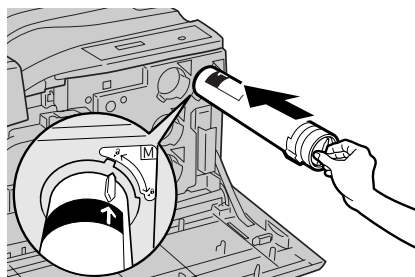
⓮ **トナー回収カートリッジの左右を持ってプリンターフレーム内に押し込む。**

トナー回収カートリッジが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、操作パネルにメッセージが表示されたりします。その場合は正しい位置にセットし直してください。

⓯ **左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。必要に応じて、手差しトレーを上げる（②）。**

フロントカバーは開けたまま、引き続きトナーカートリッジの取り付けに進みます。

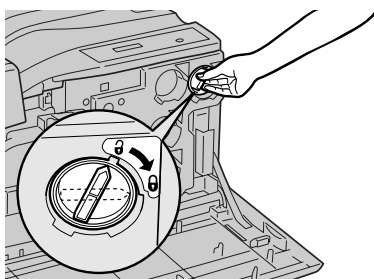
② トナーカートリッジ

警告 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機で吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ **トナーカートリッジ4本（KCMY）を、袋から取り出す。**

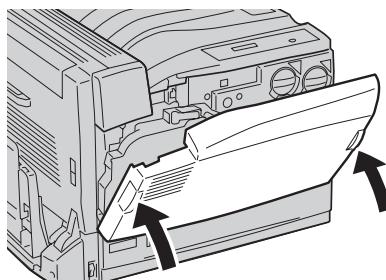
❷ **図のように、軽く3〜4回振り、中のトナーを均一にする。**

❸ **本体正面のトナーカートリッジ差し込み位置と同じ色のトナーカートリッジの矢印をカギ印（🔓印）の位置に合わせて、プリンターの奥に突き当たるまで差し込む。**

チェック

トナーカートリッジは無理に押し込まないでください。きちんと入らない場合はトナーカートリッジとプリンター本体のラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。

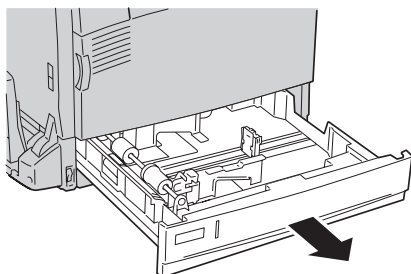
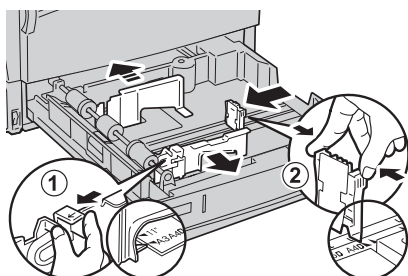
❹ **トナーカートリッジのノブをカギ印（🔒印）まで回して固定する。**

チェック

- トナーカートリッジは、正しい位置まで差し込まないと回りません。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと印刷品質が低下することがあります。

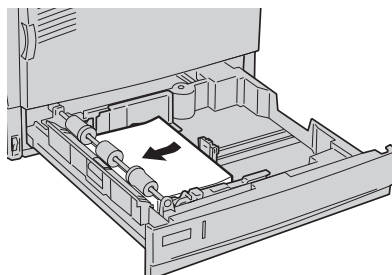
❺ **手順❷〜❹を繰り返して、4本のトナーカートリッジをすべて取り付ける。**

❻ **フロントカバーを閉じる。**

6 用紙をセットする

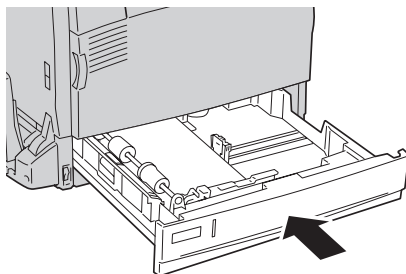
テスト印刷するために、用紙をセットします。以下の手順で、A4サイズの用紙を用紙カセットに横置きにセットしてください。その他の用紙のセット方法、使用できる用紙の種類については「3章 用紙のセット」(81ページ)を参照してください。

❶ 用紙カセットを手前に止まるまで引き出す。

❷ 2か所(①、②)の用紙ガイドのクリップをつまみながら、用紙ガイドの先端をセットする用紙サイズの目盛りに合わせる。

チェック

用紙ガイドが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。用紙ガイドがサイズの目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検出できない場合があります。このときは、用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。

❸ 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットする。

チェック

折り目やしわが入った用紙や、カールしている用紙は使用しないでください。また、用紙上限を超えて、用紙をセットしないでください。

❹ 奥に突き当たるところまで、用紙カセットをゆっくりと押し込む。

用紙カセットを、無理な力で押し込みすぎないようにしてください。

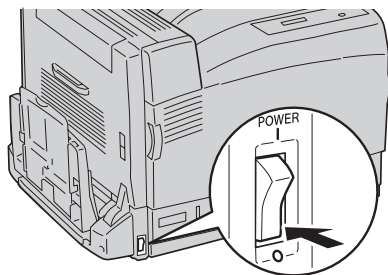
7 電源コードを接続する

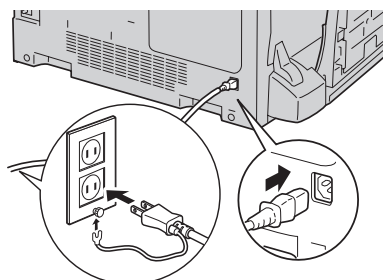
電源の条件

- 電源コードを接続するときは、以下の条件を守ってください。
  交流（AC）:　100V±10V
  電源周波数:　50Hzまたは60Hz±1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンターの最大消費電力は1,100Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンターと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダーなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルターかノイズカットトランスを使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 電源コードは添付されているものを使用してください。

1 電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認する。

2 電源コードをプリンターに差し込む。

3 もう一方の電源プラグのアース線をアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込む。

8 テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確認するためにテスト印刷をします。

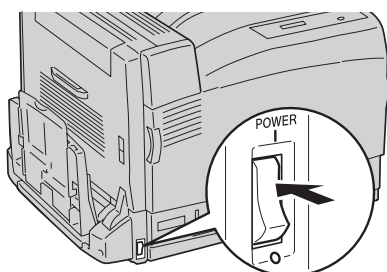
重要

- ディスプレイに「イニシャライズチュウ」、「ウォームアップチュウデス」、「チョウセイチュウ」と表示されている間は、電源スイッチをOFFにしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- 印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFするとプリンターが故障するおそれがあります。

用紙カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウデス”
“チョウセイチュウ”

❷ 印刷可ランプが点灯することを確認する。

○ 印刷可

❸ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

● 印刷可

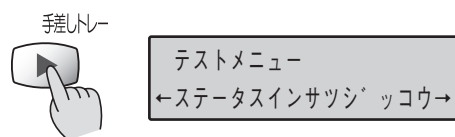
❹ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❺ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“ステータスインサツジッコウ”と表示されます。

テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❻ ［▶］スイッチを押す。

プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。

テスト印刷の結果については、次ページをご覧ください。

テストインサツチュウ

❼ 印刷結果を確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

Color MultiWriter 9700C
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 11
オプション	なし	
給紙構成	ホッパ1	A4
	トレー	A4
メモリ容量	128MB	

メニュー情報

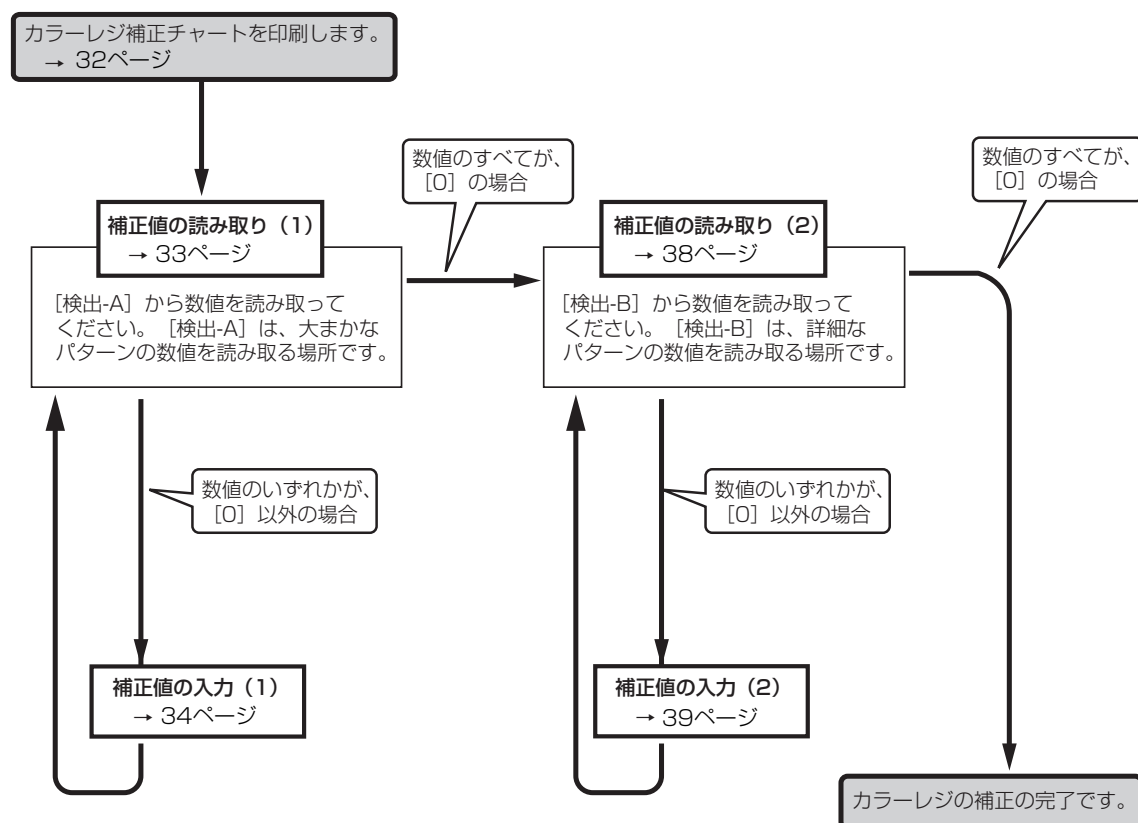
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	トレー	OFF
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	トレー微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
運用メニュー	節電機能1　時間設定	30分
	節電機能2　時間設定	60分
	自動排出	無効
	総印字枚数	1枚
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	О
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	DHCP	ON
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲアドレス	0.0.0.0
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000001
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

テスト印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

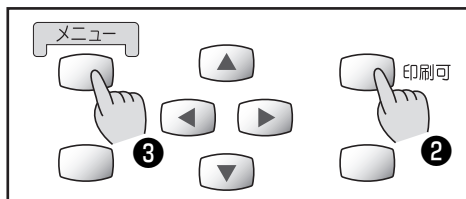
9 カラーレジを補正する

プリンターを初めて設置したときや、移動などで再設置したときは、次の手順でカラーレジを補正してください。また、ドラムカートリッジを交換したときも補正することをお勧めします。

カラーレジ補正チャートの印刷

操作パネルを使用して、カラーレジ補正チャートを印刷します。

❶ **A4の用紙をホッパ1に入れる。**

❷ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

❹ **メニューモードの「イロズレチャート」を選択する。**

* オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、6回押してください。

❺ **［▶］スイッチを2回押す。**

約30秒後にカラーレジ補正チャートが印刷されます。

印刷が終了すると、印刷可ランプの点灯した状態に戻ります。

補正値の読み取り（1）

まず大まかな補正を行います。

印刷したカラーレジ補正チャートから、次の手順に従って［LEFT］、［CENTER］、［RIGHT］の値を読み取ります。ここでは、［CENTER］を例に説明します。

- ［検出-A］で、［CENTER］の［CY］、［CM］、［CC］の最も目立つ数値を読み取る。

  ［LEFT］、［RIGHT］についても同じ方法で読み取ります。

－ 読み取った数値のいずれかが［0］以外の場合
　 ここで読み取った数値が設定値です。次の「補正値の入力（1）」に進んでください。

－ 読み取った数値がすべて［0］の場合
　 「補正値の読み取り（2）」（38ページ）に進んでください。

補正値の入力（1）

❶ **操作パネルの[印刷可］スイッチを押す。**

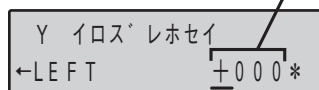
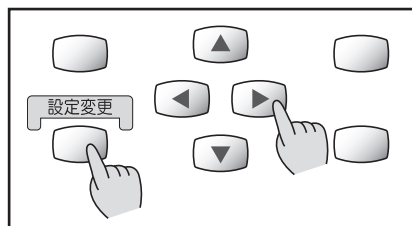
印刷可ランプが消灯します。

❷ **［メニュー］スイッチを押す。**

❸ **メニューモードで、Y（イエロー）の設定を行う。**

下に示した手順で「Yイロズレ ホセイ LEFT」を選択してください。

* オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、6回押してください。

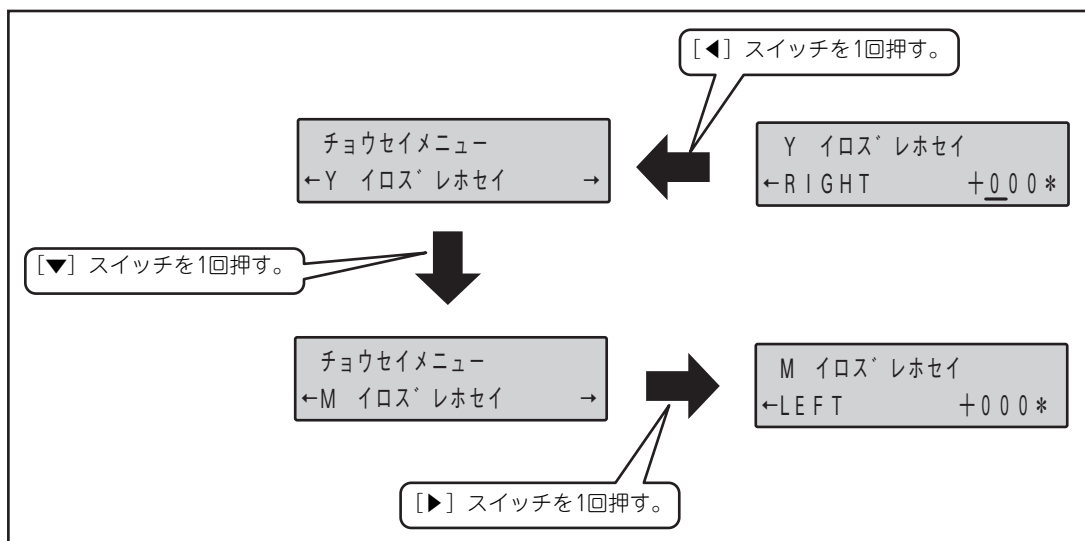
❹ **補正値を入力する。**

❺「Yイロズレホセイ LEFT」の設定が終わったら「Yイロズレホセイ CENTER」の設定をする。

右に示した手順で「Yイロズレ ホセイ CENTER」を選択し、❹の手順で補正値を入力します。

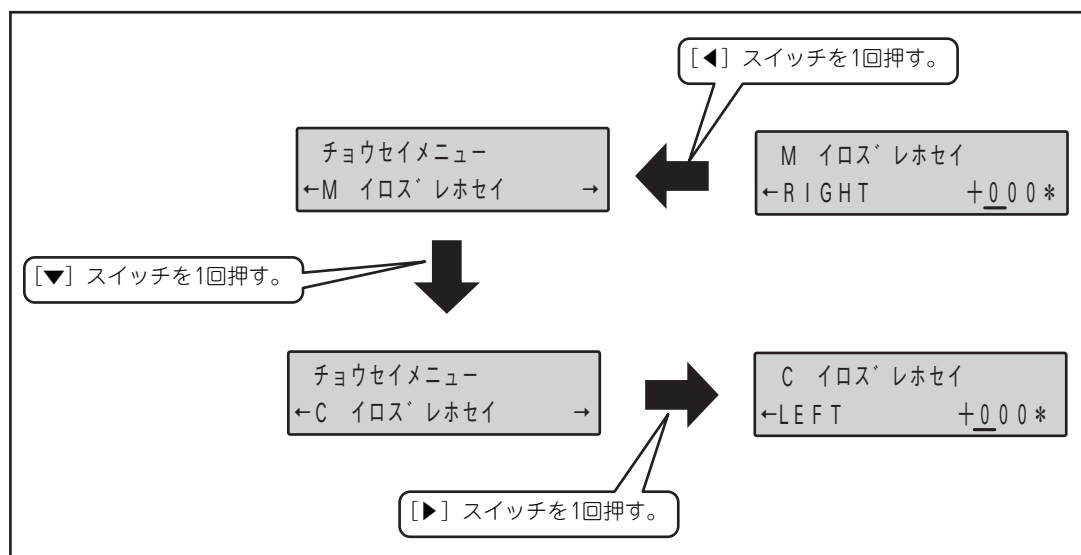
❻「Yイロズレホセイ CENTER」の設定が終わったら「Yイロズレホセイ RIGHT」設定をする。

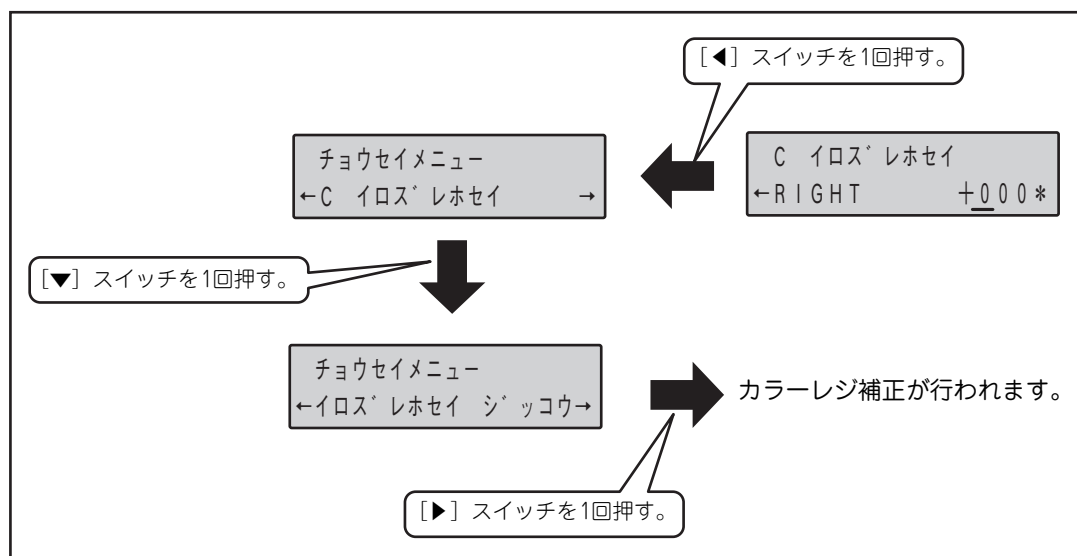
右に示した手順で「Yイロズレホセイ RIGHT」を選択し、❹の手順で補正値を入力します。

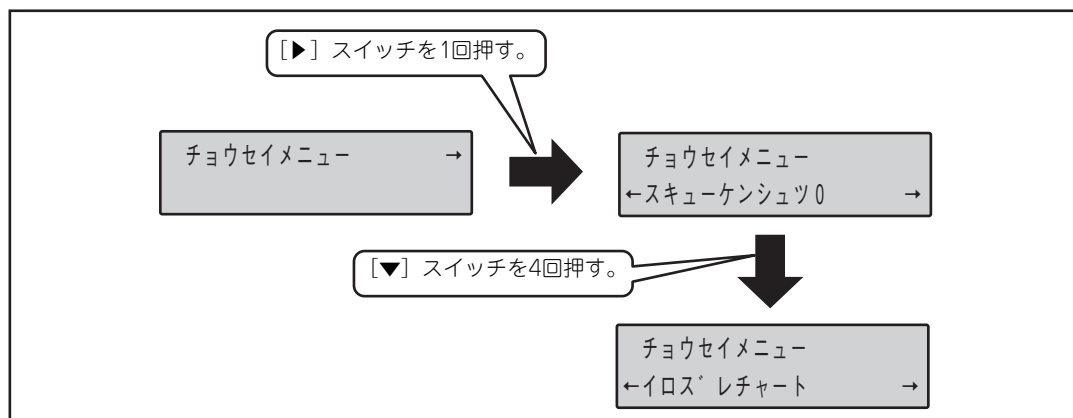
❼「Yイロズレホセイ RIGHT」の設定が終わったらM（マゼンタ）の設定を行う。

下に示した手順で「Mイロズレ ホセイ LEFT」を選択し、手順❹〜❻と同様の手順でM（マゼンタ）の補正値を入力します。

1 プリンターの設置

❽ M（マゼンタ）の「Mイロズレホセイ RIGHT」の設定が終わったら、C（シアン）の設定を行う。

下に示した手順で「Cイロズレ ホセイ LEFT」を選択し、手順❹〜❻と同様の手順でC（シアン）の補正値を入力します。

❾ C（シアン）の「CイロズレホセイRIGHT」の設定が終わったら、色ずれ補正を行う。

下に示した手順で「イロズレホセイジッコウ」を選択し、実行します。

⑩ 補正が終了したら、再度カラーレジ補正チャートを印刷する。

カラーレジ補正後、ディスプレイには“チョウセイメニュー　→”と表示されますので、下に示した手順でカラーレジ補正チャートを印刷してください。

⑪ ［▶］スイッチを2回押す。

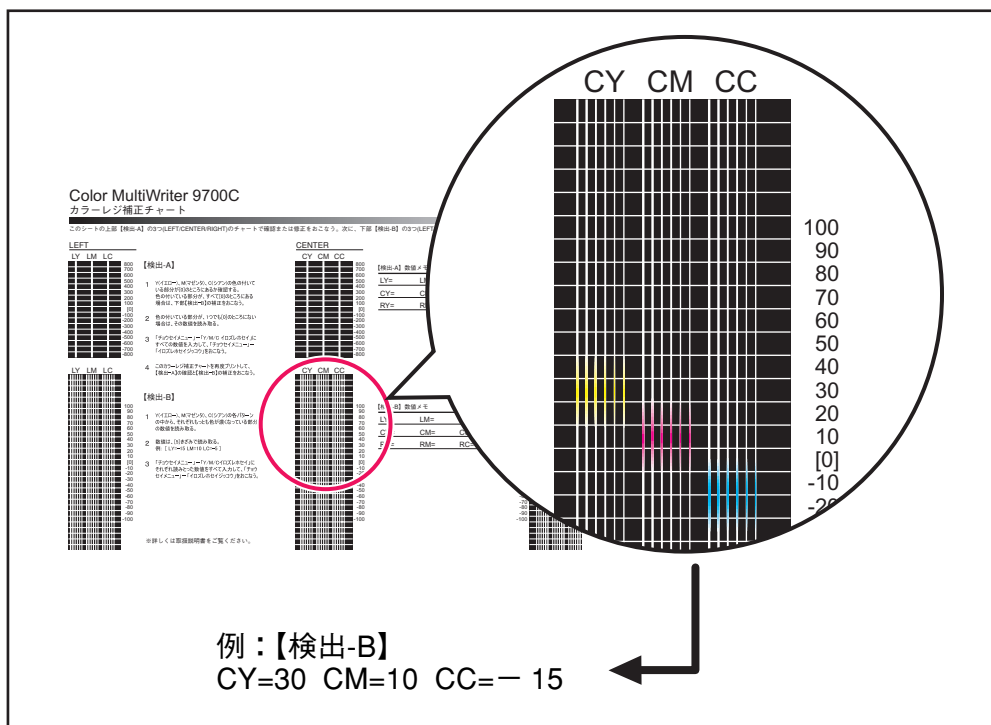
約30秒後にカラーレジ補正チャートが印刷されます。印刷が終了すると、印刷可ランプの点灯した状態に戻ります。「補正値の読み取り（1）」（33ページ）を参照して、［検出-A］の9か所の補正値を読み取ってください。すべての値が「0」になっていたら、次ページの「補正値の読み取り（2）」に進んでください。「0」でない箇所がある場合は、その値を補正値として、「補正値の入力（1）」（34ページ）を行ってください。

補正値の読み取り（2）

詳細な補正を行います。

印刷したカラーレジ補正チャートから、次の手順に従って［LEFT］、［CENTER］、［RIGHT］の値を読み取ります。ここでは、［CENTER］を例に説明します。

- ［検出-B］で、［CENTER］の［CY］、［CM］、［CC］の最も目立つ数値を読み取る。

  ［LEFT］、［RIGHT］についても同じ方法で読み取ります。

読み取った数値が補正値です。次のページの「補正値の入力（2）」に進んでください。

補正値の入力（2）

❶ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **［メニュー］スイッチを押す。**

❸ **メニューモードで、Y（イエロー）の設定を行う。**

下に示した手順で「Yイロズレ ホセイ LEFT」を選択してください。

* オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、6回押してください。

❹ **補正値を入力する。**

❺「Yイロズレホセイ LEFT」の設定が終わったら「Yイロズレホセイ CENTER」の設定をする。

右に示した手順で「Yイロズレ ホセイ CENTER」を選択し、❹の手順で補正値を入力します。

❻「Yイロズレホセイ CENTER」の設定が終わったら「Yイロズレホセイ RIGHT」設定をする。

右に示した手順で「Yイロズレホセイ RIGHT」を選択し、❹の手順で補正値を入力します。

❼「Yイロズレホセイ RIGHT」の設定が終わったらM（マゼンタ）の設定を行う。

下に示した手順で「Mイロズレ ホセイ LEFT」を選択し、手順❹〜❻と同様の手順で補正値を入力します。

❽ M（マゼンタ）の「Mイロズレホセイ RIGHT」の設定が終わったら、C（シアン）の設定を行う。

下に示した手順で「Cイロズレ ホセイ LEFT」を選択し、手順❹〜❻と同様の手順で補正値を入力します。

❾ C（シアン）の「Cイロズレホセイ RIGHT」の設定が終わったら、色ずれ補正を行う。

下に示した手順で「イロズレホセイジッコウ」を選択し、実行します。

1 プリンターの設置

⑩ 補正が終了したら、再度カラーレジ補正チャートを印刷する。

カラーレジ補正後、ディスプレイには“チョウセイメニュー　→”と表示されますので、下に示した手順でカラーレジ補正チャートを印刷してください。

⑪ ［▶］スイッチを2回押す。

約30秒後にカラーレジ補正チャートが印刷されます。印刷が終了すると、印刷可ランプの点灯した状態に戻ります。「補正値の読み取り（2）」（38ページ）を参照して、印刷されたチャートをチェックし、すべての設定値が「0」になっていることを確認してください。設定値が「0」でないものがあるときは、「補正値の入力（2）」（39ページ）に戻って再度、補正値を入力してください。

⑩ コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、次ページの「 ⑪ ネットワークに接続する」に進んでください。

本プリンターにはプリンターケーブルは添付していません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、活用マニュアル付録の「使用できるプリンターケーブル」をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

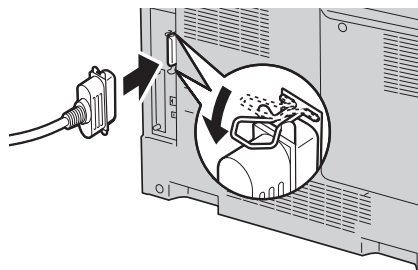
重要

コンピューター本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

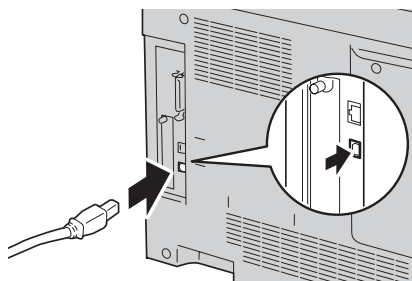
❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

❷ プリンターケーブルを接続する。

<パラレルインターフェースの場合>

① プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定します。

② プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

<USBインターフェースの場合>

① USBケーブルをUSBインターフェースコネクターに差し込みます。

② USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

これでコンピューターへの接続は終了です。

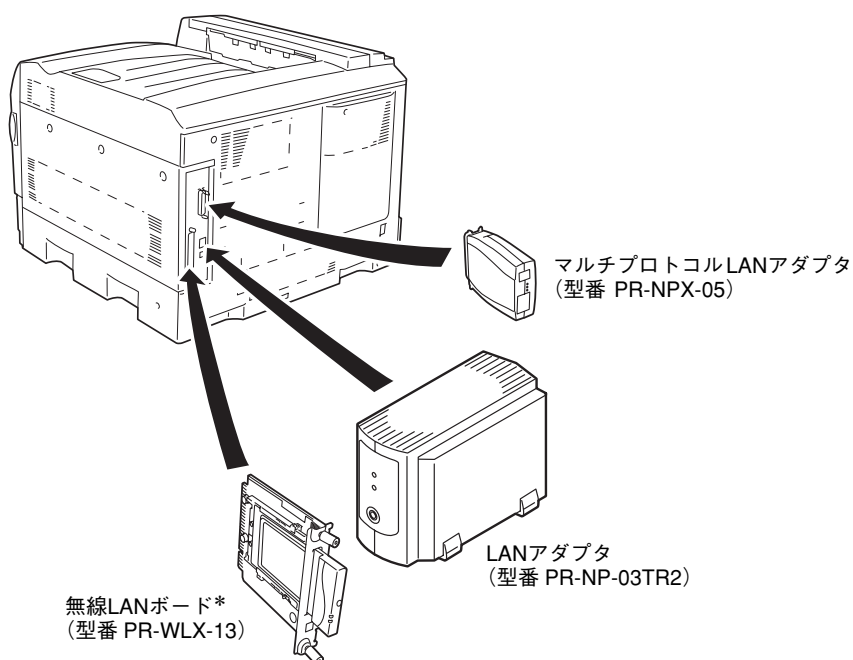
次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（51ページ）に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

1 プリンターの設置

11 ネットワークに接続する

本プリンターはLAN インターフェースを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。また、オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順を以下のステップで手順を説明します。なお、ネットワークオプションを使ってネットワークに接続する場合は、活用マニュアル1章の「ネットワークへの接続・設定」をご覧ください。

Step 1 ネットワークケーブルを接続する
Step 2 コンフィグレーションページを印刷する
Step 3 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

* オプションの無線LANボードは、Color MutliWriter 9700C標準装備のLANインターフェース（TCP/IP）とは同時に使用できません。詳しくは10章の「ネットワークオプション」（215ページ）をご覧ください。

ネットワークオプション取り付け例

Step 1　ネットワークケーブルを接続する

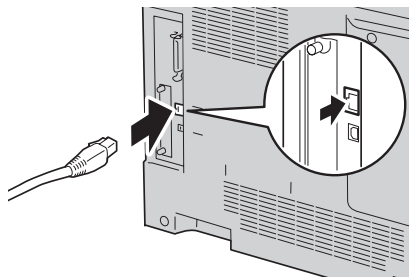
標準装備のLANインターフェースは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めください。

型番	長さ
PK-CA117	5m
PK-CA118	10m

- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

❶ プリンターの電源をOFFにする。

❷ ネットワークケーブルをコネクターに接続する。

ケーブルのコネクターをネットワークインターフェースコネクターに差し込みます。

Step 2　コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、標準装備のLANインターフェースや、オプションの無線LANボード／LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷のことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

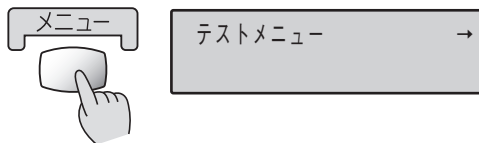
コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「3章 用紙のセット」（81ページ）を参照してセットしてください。

❷ プリンターの操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。

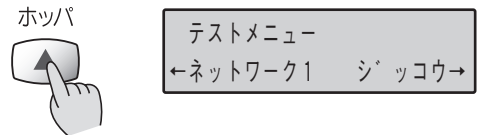
印刷可ランプが消灯します。

❸［メニュー］スイッチを押す。

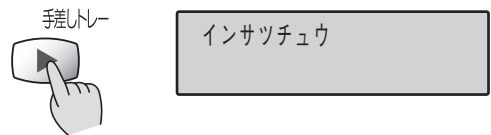
ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹［▶］スイッチを1回、［▲］スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←ネットワーク1　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←ネットワーク1　ジッコウ→

❺［▶］スイッチを押す。

データランプが点灯し、設定情報の印刷を開始します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照して設定内容を確認する。

49ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時における標準装備のLANインターフェースの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

Step 3　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

本プリンターをネットワーク環境で利用するためには、プリンターにIPアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の3通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する（操作パネルについては4章参照）
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は活用マニュアルの「1章 ネットワークへの接続・設定」をご覧ください。設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

DHCPサーバーをお使いの場合は、「DHCPを有効にする」（50ページ）をご覧になり、手順に従ってください。

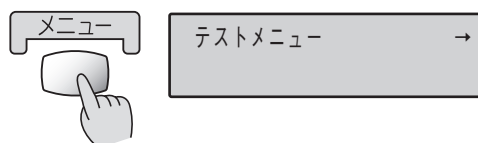
IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

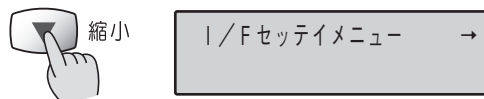
❶ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **[メニュー]スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

テストメニュー　　→

❸ **ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。**

メニューの内容については「メニューツリー」（108～111ページ）を参照してください。

I／Fセッテイメニュー　　→

❹ **[▶]スイッチを1回押す。**

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❺ **[▼]スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段に“←インタフェース２　セッテイ　→”と表示されます。

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❻ **[▶]スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“ＩＰアドレス”と表示されます。

IPアドレス
011.022.033.044*

❼ IPアドレスを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❽ [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク”と表示されます。

サブ゛ネットマスク
255.000.000.000*

❾ サブネットマスクを設定する。

[設定変更]スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

ゲートウェイアドレスの設定を行う場合は、上記の「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」（108 ～111ページ）を参照して設定してください。

❿ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

○ 印刷可

⓫ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「Step 2　コンフィグレーションページを印刷する」（46ページ）を参照してください。

⓬ コンフィグレーションページの印刷例（次ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（51ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

	F/W Version	:	02. 00 00001. 0000000000
＊1	ID Number	:	NFE-290000
	Printer Name	:	NFE-290000
＊1	MAC Address	:	00 : 00 : 4C : 29 : 00 : 00
	H/W Description	:	NEC NetworkPrinter500000
	10Base/100Base	:	" Auto"
	Half/Full Duplex	:	" Auto"
	Printing Log	:	" Off"

<Self-Diagnosis>

	Link Test	:	" No connection"
	Network Status	:	" OK"

<TCP/IP>

＊2	IP Address	:	11. 22. 33. 44
＊2	Subnet Mask	:	255. 0. 0. 0
	Gateway Address	:	0. 0. 0. 0
	Auto IP Address	:	" On"
	Max. Number of Session	:	64
	Session Timeout [sec]	:	120
	Keep Alive	:	" On"
	FTP Timeout [min]	:	10
	DHCP	:	" Off"
	e-Mail Service	:	" Off"
	Current Active Session	:	0

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

	F/W Version	:	02. 00 00001.0000000000
＊1	ID Number	:	NFE-290000
	Printer Name	:	NFE-290000
＊1	MAC Address	:	00 : 00 : 4C : 29 : 00 : 00
	H/W Description	:	NEC NetworkPrinter500000
	10Base/100Base	:	" Auto (10Base)"
	Half/Full Duplex	:	" Auto (Half Duplex)"
	Printing Log	:	" Off"

<Self-Diagnosis>

	Link Test	:	" OK"
	Network Status	:	" OK"

<TCP/IP>

＊3	IP Address	:	123.123.123.123
＊3	Subnet Mask	:	255.255.255. 0
	Gateway Address	:	0. 0. 0. 0
	Auto IP Address	:	" On"
	Max. Number of Session	:	64
	Session Timeout [sec]	:	120
	Keep Alive	:	" On"
	FTP Timeout [min]	:	10
	DHCP	:	" Off"
	e-Mail Service	:	" Off"
	Current Active Session	:	0

＊1　ID Number および、MAC Address はLANボード個々の情報を示します。

＊2　IP アドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

＊3　IP アドレス、サブネットマスクの変更された例です。

DHCPを有効にする

DHCPサーバーをお使いの場合は、以下の手順でDHCPを有効にしてください。設定はプリンターの操作パネルで行います。メニューモードについては4章の「メニューモード」（107ページ）を参照してください。

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

```
テストメニュー　　　　　→
```

❸ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」（108～111ページ）を参照してください。

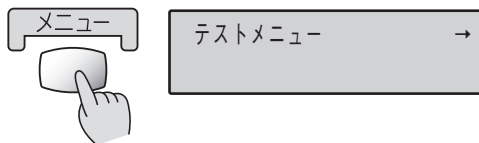
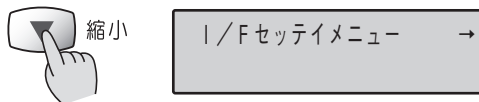
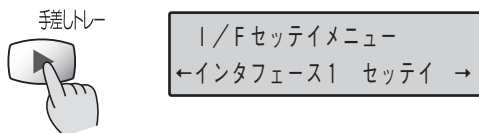
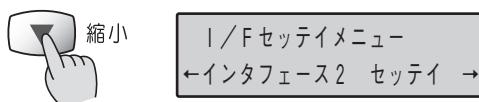
```
I／Fセッテイメニュー　　→
```

❹ [▶]スイッチを1回押す。

```
 I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→
```

❺ [▼]スイッチを1回押す。

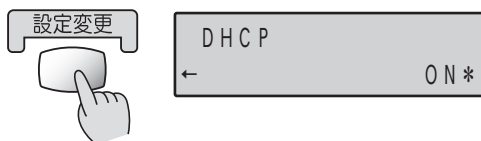
ディスプレイ下段に“←インタフェース2　セッテイ　→”と表示されます。

```
 I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→
```

❻ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。

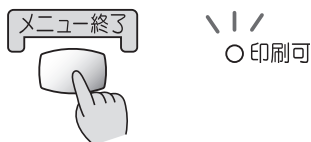
```
 DHCP
←　　　　　　　　OFF＊
```

❼ [設定変更]スイッチを押す。

“ON”に設定されます。

```
 DHCP
←　　　　　　　　　ON＊
```

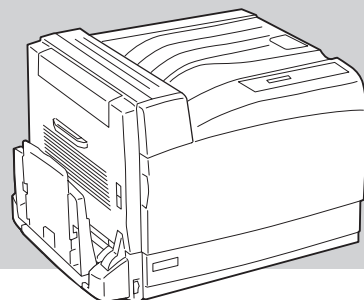
❽ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

○印刷可

DHCPが有効になりました。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

2章

プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*[1]、Windows Me、Windows 98*[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

重要

- Color MultiWriter 9700Cのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に8章の「PrintAgentを正しく動作させるためには」（188ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

＊1　以下、本書で Windows XP と表記している場合は、Windows XP Home Edition と Professional を含みます。

＊2　以下、本書で Windows 98 と表記している場合は、Windows 98 Second Edition を含みます。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Winsows 2000、Windows NT 4.0のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Winsows 2000、Windows NT 4.0に対応したプリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「Color MultiWriter 9700C 活用マニュアル」の閲覧用（HTML形式）と、印刷用（PDF形式）の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（ivページ）またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.5.0（体験版）」
  - NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - 印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順についてはご利用になる前に、「ご利用の前に」（Update.txt）または活用マニュアルの4章「より進んだ使い方」をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

Color MultiWriter 9700Cに添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*[1]	対応 OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）	Windows XP*[2]（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003*[3]（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC9800シリーズ		
USBインターフェース*[4]、*[5]	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）	Windows XP*[2]（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003*[3]（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

*[1] OS によって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各 OS のマニュアルを参照してください。

*[2] Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

*[3] 64 ビットバージョン Windows Server 2003 には対応していません。

*[4] USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

*[5] 以下の OS では、USB 2.0 に対応していません。
Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows 98 Second Edition 日本語版

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）のメモリーを搭載して運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANインターフェースやオプションのLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については10章の「オプション」をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約8.0MB	約8.0MB	約8.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	約10.5MB	約10.5MB	約10.5MB
PrintAgentを含む管理者向け（最大）	約12.0MB	約12.0MB	約12.0MB
プリンタードライバーのみ	約4.0MB	約4.0MB	約3.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の表を参照して、それぞれのページへ進んでください。
なお、プリンターを管理したり、標準のLANインターフェース、無線LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、活用マニュアル4章の「プリンター管理者用インストール」を参照してください。

<table>
<tr><th>OS</th><th>ネットワーク接続</th><th>パラレルインターフェース接続</th><th>USB</th></tr>
<tr><td>Windows XP</td><td rowspan="7">『「インストールプログラム」からのインストール』（56 ～61 ページ）</td><td rowspan="4">『「インストールプログラム」からのインストール』（56 ～61 ページ）*</td><td>62 ～63 ページ</td></tr>
<tr><td>Windows Server 2003</td><td>62 ～63 ページ</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td>68 ～69 ページ</td></tr>
<tr><td>Windows NT4.0</td><td>使用できません</td></tr>
<tr><td>Windows Me</td><td>70 ページ</td><td>64 ～65 ページ</td></tr>
<tr><td>Windows 98</td><td>71 ～72 ページ</td><td>66 ～67 ページ</td></tr>
<tr><td>Windows 95</td><td>72 ～73 ページ</td><td>使用できません</td></tr>
</table>

* Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では、プラグ・アンド・プレイを利用してインストールを行うとPrintAgentがインストールされませんので、「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されたときに、一度キャンセルし『「インストールプログラム」からのインストール』（56ページ）を参照してインストールしてください。
また、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でプリンターを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールしてください。インストールの方法については、活用マニュアル1章の「ターミナルサービス環境」を参照してください。

プリンターソフトウエアのインストール方法

ここでは、プリンターとコンピューターの接続方法に応じたプリンターソフトウエアのインストール方法を説明します。

「インストールプログラム」からのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールする手順をWindows XP 日本語版を例にとり、説明します。

Windows XP、Windows Server 2003にインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

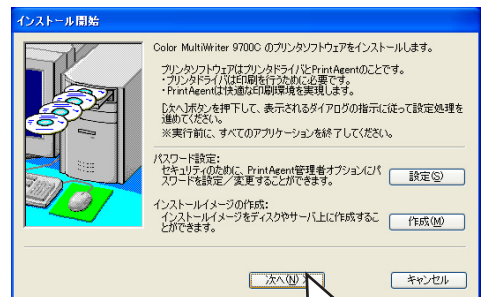
❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[インストール]をクリックする。**

❹ **右側のボックスから[Color MultiWriter 9700C]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

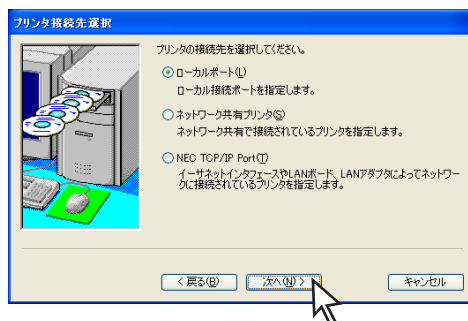
はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

- MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。
- MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

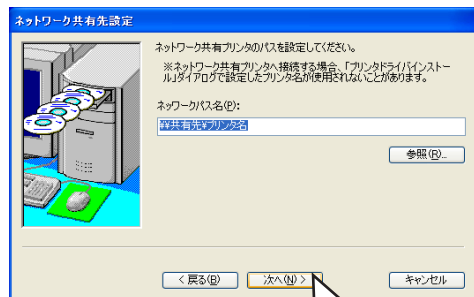
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、Color MultiWriter 9700Cがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターが標準装備のLANインターフェースまたはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

希望するポートを選び［次へ］をクリックする。
手順❽へ進んでください。

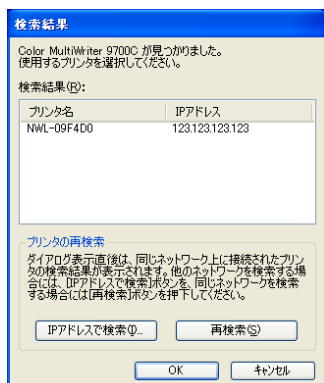
＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

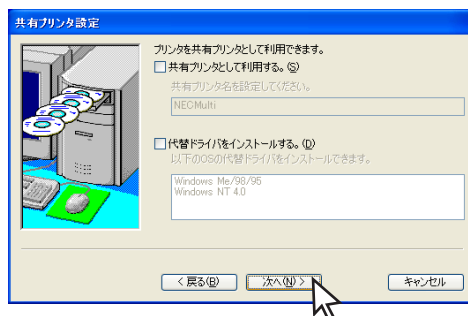
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。手順❾へ進んでください。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

LANインターフェースまたはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を入力し、[次へ]をクリックする。

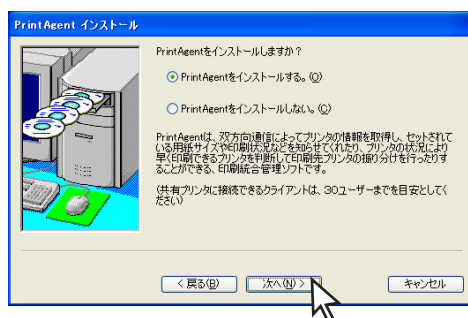
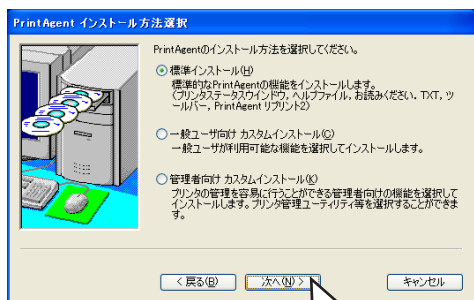
IPアドレスを検索する場合

プリンターの電源が入っていることを確認し、[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

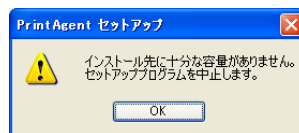
続いて、PrintAgentのインストールを行います。

❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

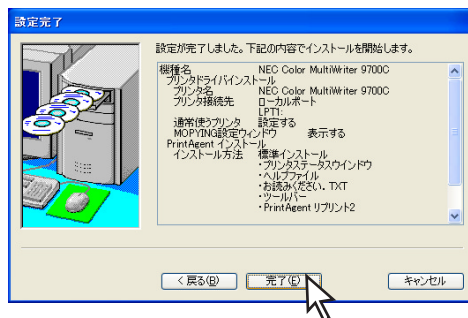
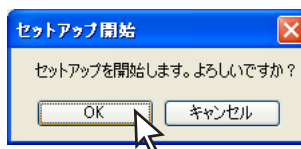
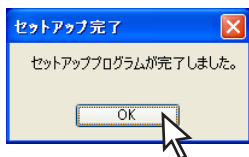
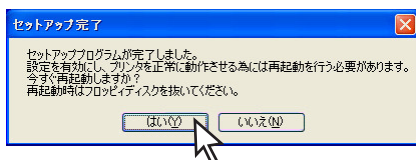
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ **使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

⓫ **PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。**

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

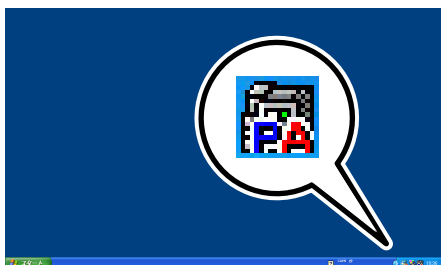
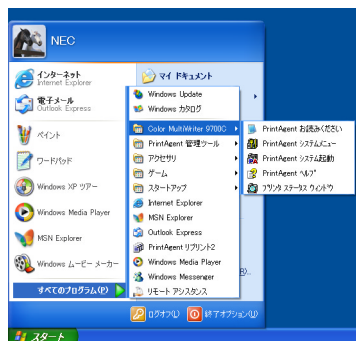
次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

⓬ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

⓭ **[OK]をクリックする。**

2 プリンターソフトウエアのインストール

⓮ **インストールが終了したら[OK]をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。**

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

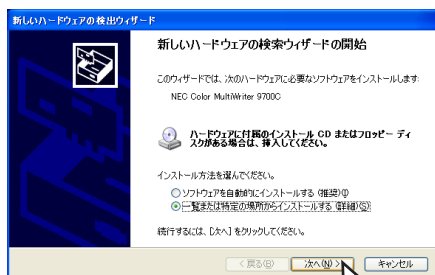
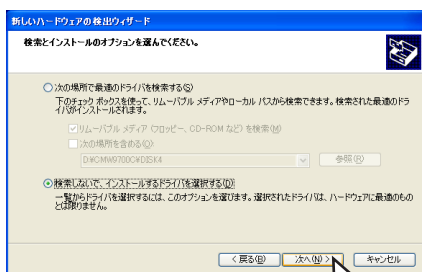
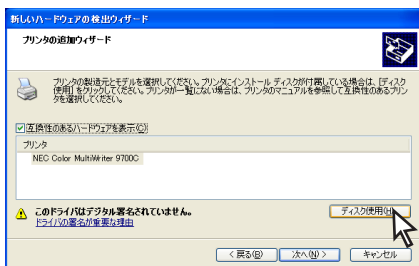
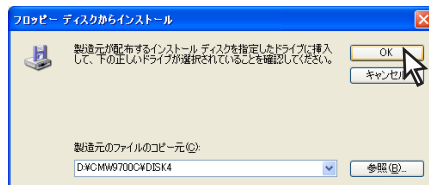
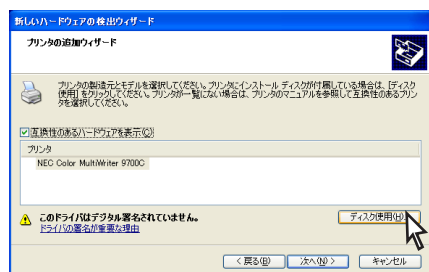
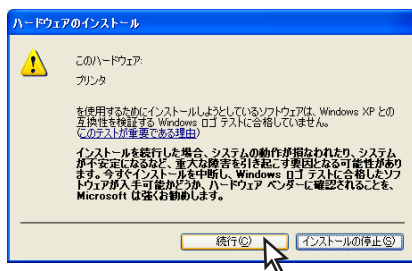
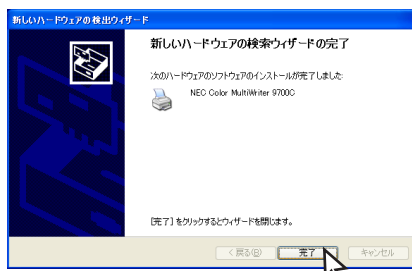
□ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[Color MultiWriter 9700C]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

Windows XP以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンタ一覧]が登録されている。（カスタムインストールでプリンタ一覧を選択した場合）

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]の下に[PrintAgentリプリント2]が登録されている。

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンタソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウエアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。[プリンタ] フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1. [一覧または特定の場所からインストールする] を選んで [次へ] をクリックする。

2. [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選んで [次へ] をクリックする。

3. [ディスク使用] をクリックする。

4. ファイルコピー元を指定して、[OK] をクリックする。

5. [次へ] をクリックする。

6. [続行] をクリックする。

7. [完了] をクリックする。

USBインターフェースで接続

ここでは、USBインターフェースでプリンターに接続したときのプリンターソフトウェアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については「パラレルインターフェースで接続」(70ページ)を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

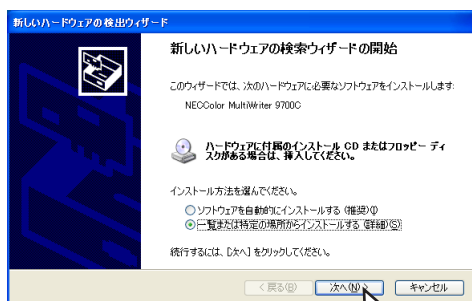
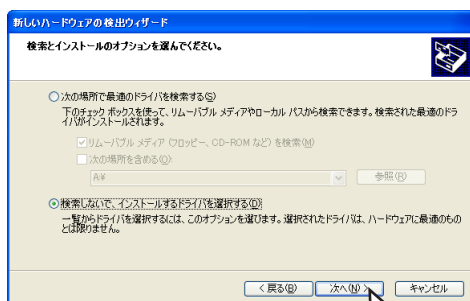
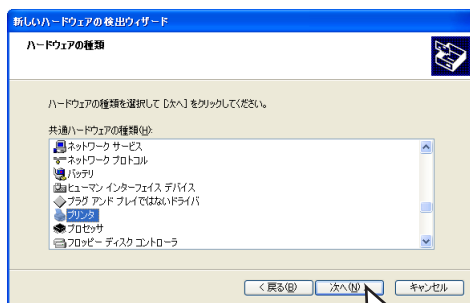
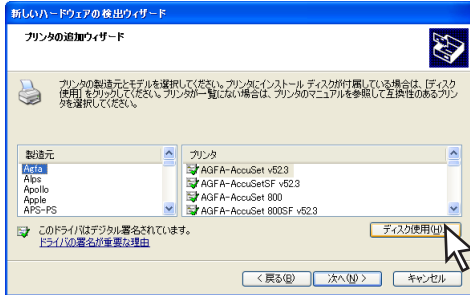
❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版が起動し、新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

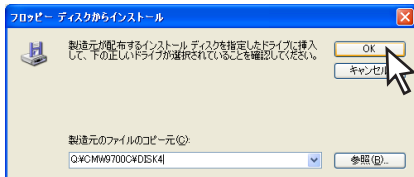
❹ **[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選び、[次へ]をクリックする。**

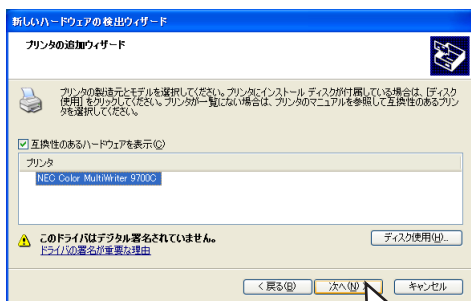
このダイアログボックスが表示されなかった場合は、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ [ディスク使用]をクリックする。

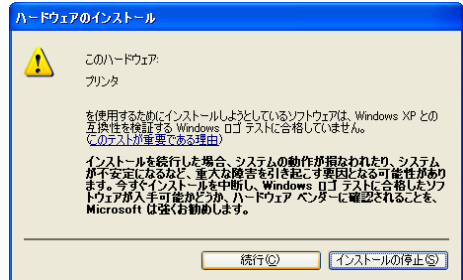
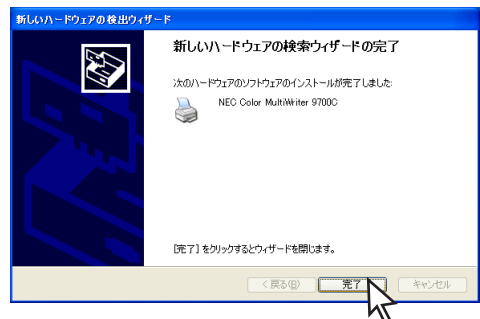
❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作が確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続けてください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ [完了]をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

引き続き、『「インストールプログラム」からのインストール』(56ページ)の手順に従って、PrintAgentをインストールしてください。この時、手順❻では[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

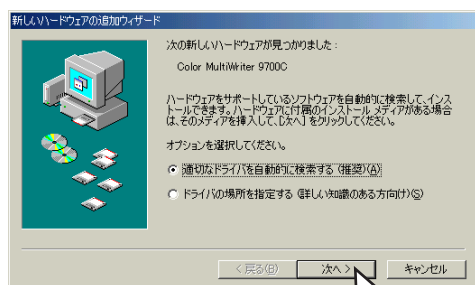
❶ **USBケーブルを接続する。**

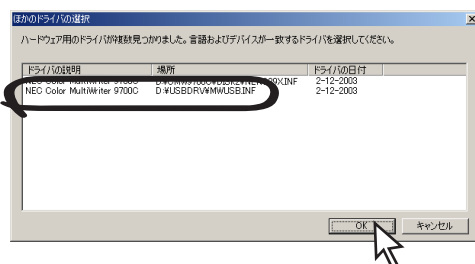
❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版が起動し、[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された後、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

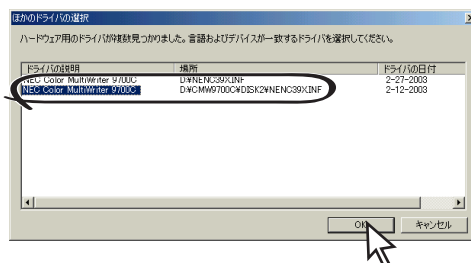
❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

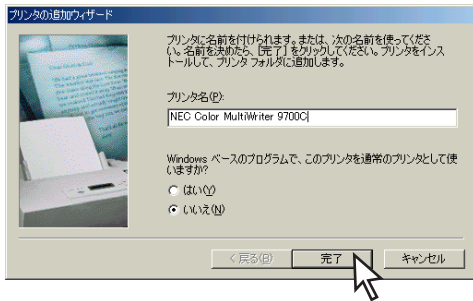
❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を選んで、[OK]をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、[完了]をクリックする。**

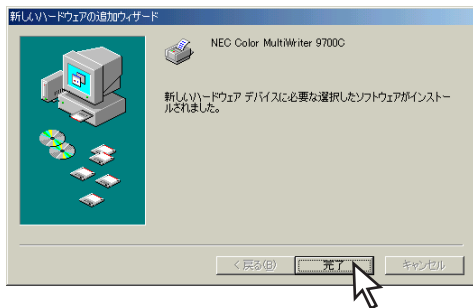
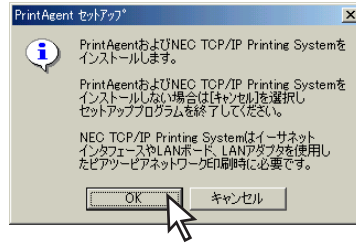
❽ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。**

❿ **プリンター名を確認し、[完了] をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

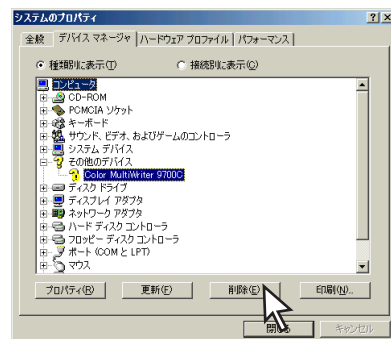
[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を終了した後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[システム]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[デバイスマネージャ]シートをクリックする。**

❹ **[その他のデバイス]で[?]マークの[Color MultiWriter 9700C]を選択し、[削除]をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USB ケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版が起動し、USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、[次へ]をクリックする。**

[検索場所]をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、[次へ]をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

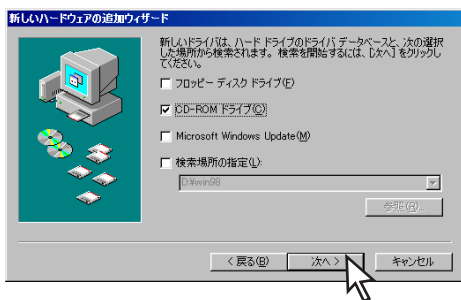
❾ **[完了]をクリックする。**

❿ [次へ]をクリックする。

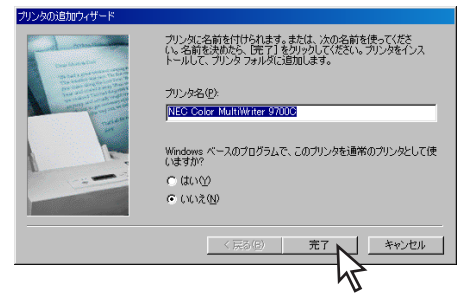
このダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

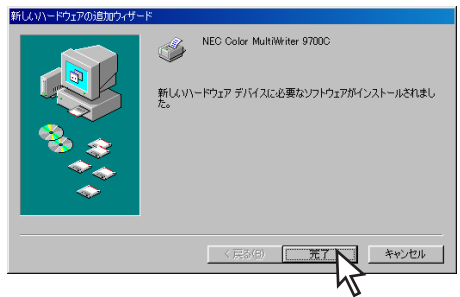
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

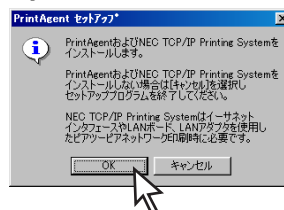
⓬ 選択項目の中から[CD-ROM ドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。

⓭ [次へ]をクリックする。

⓮ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

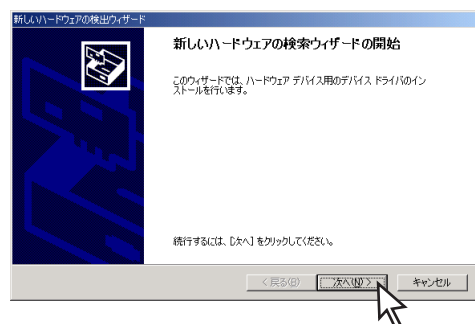
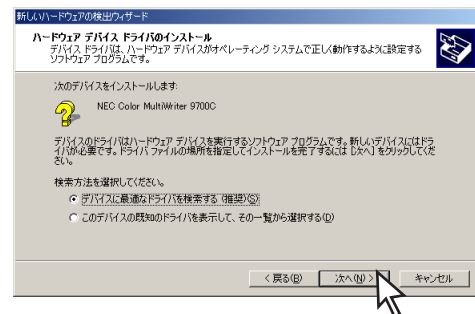
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

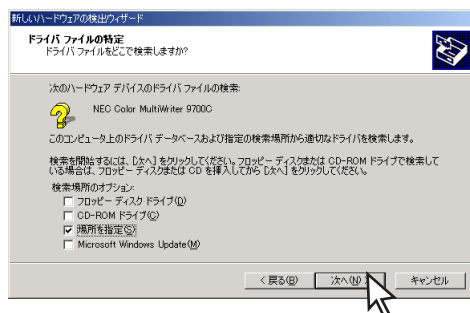
Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

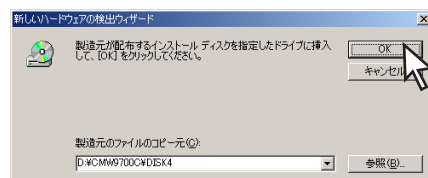
❹ **[次へ]をクリックする。**

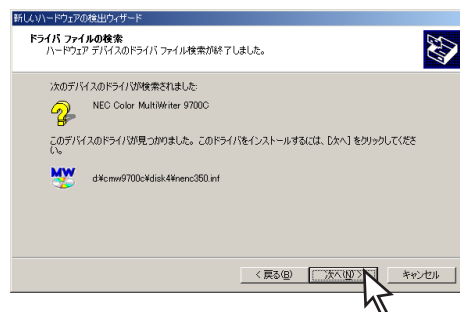
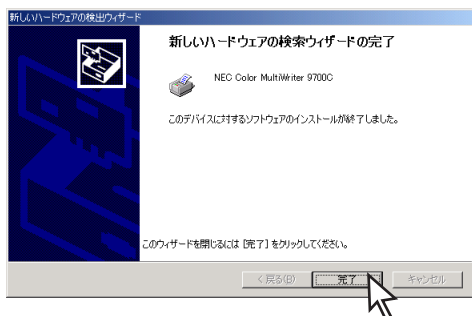
このダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する] を選び、[次へ]をクリックする。**

既に一度プリンタードライバーをインストールしたコンピューターの場合、[NEC Color MultiWriter 9700C] が表示されます。

❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROM ドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ [完了]をクリックする。

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作が確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続けてください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

引き続き、『「インストールプログラム」からのインストール』(56ページ)の手順に従って、PrintAgentをインストールしてください。この時、手順❻では[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順にしたがってください。

パラレルインターフェースで接続

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

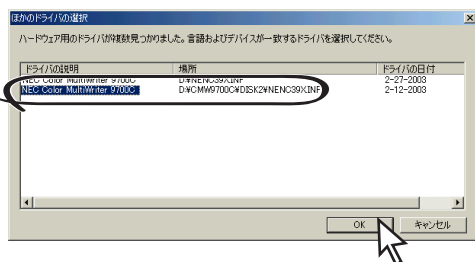
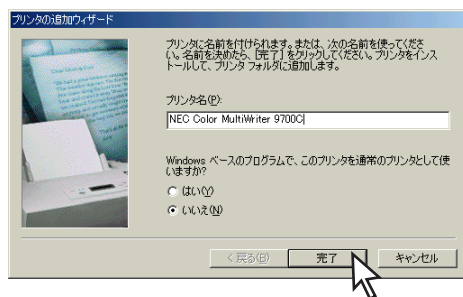
Windows Me 日本語版が起動します。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **[適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❽ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターケーブルを接続する。**

❷ **Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版が起動します。

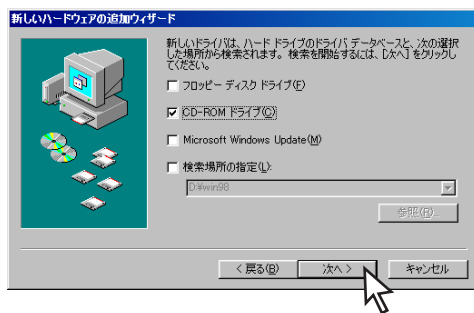
❹ **[次へ]をクリックする。**

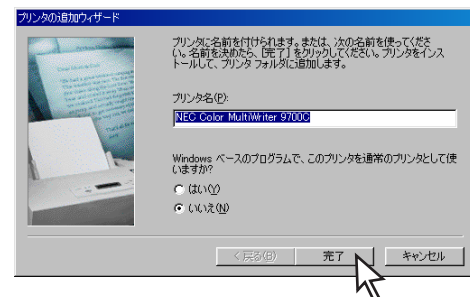
このダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

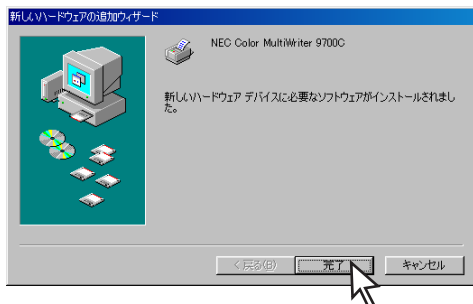
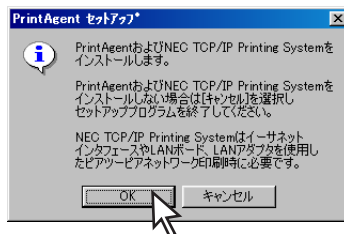
接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❼ **選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。**

❽ **[次へ]をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❿ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターケーブルを接続する。

❷ Color MultiWriter 9700Cの電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版が起動すると[デバイス ドライバウィザード]か[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

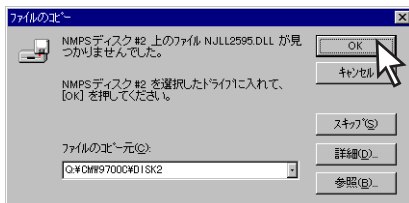
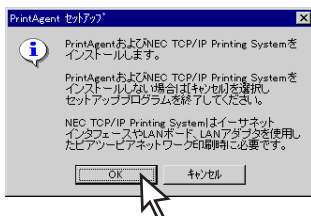
手順❾に進んでください。

❹ [完了]をクリックする。

❺ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❻ **[OK]をクリックする。**

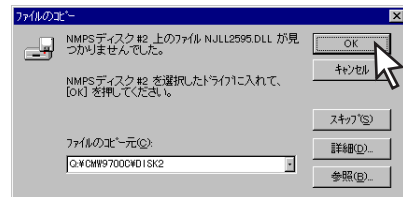
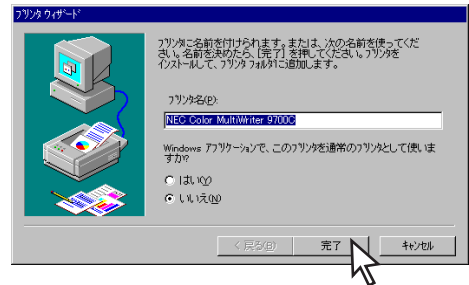
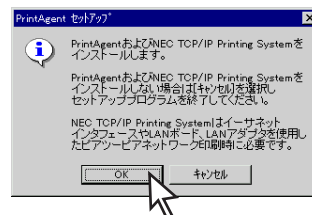
❼ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK2」と入力します。

プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❿ **[ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「CMW9700C¥DISK2」と入力します。

⓫ **プリンターの名前を確認し、[完了]をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは56 ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❺からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

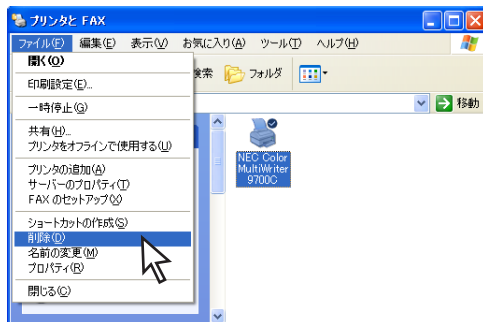
- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

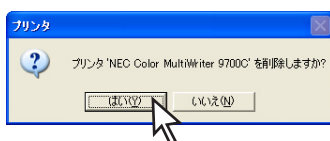
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

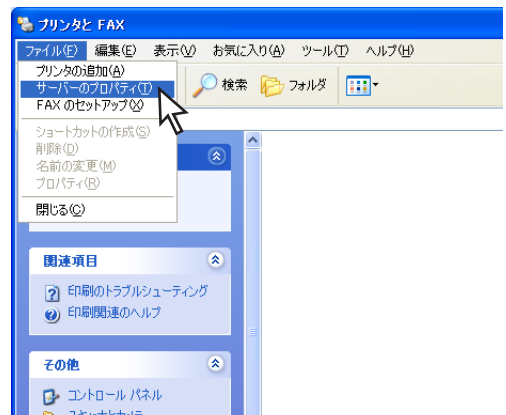
❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンをクリックする。**

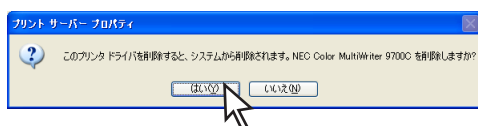
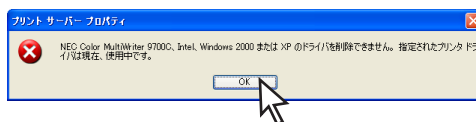
❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

Color MultiWriter 9700Cのプリンタードライバーが削除されます。

❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ **[ドライバ]タブをクリックする。**

❼ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC Color MultiWriter 9700C]をクリックする。**

❽ [削除]をクリックする。

❾ [はい]をクリックする。

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows XPの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ [インストールされたプリンタドライバ]から[NEC Color MultiWriter 9700C]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。

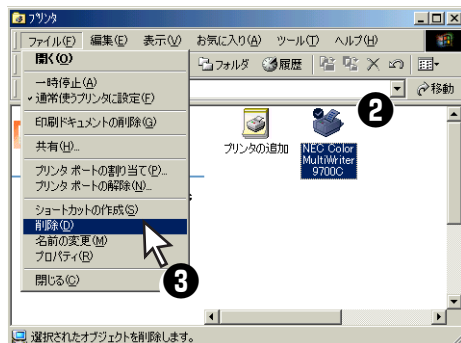
[プリントサーバーのプロパティ]を閉じます。

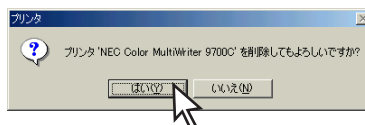
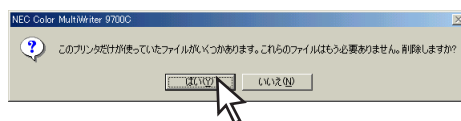
Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ [NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンをクリックする。

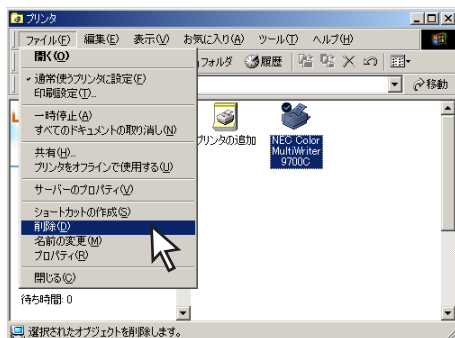
❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

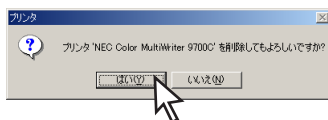
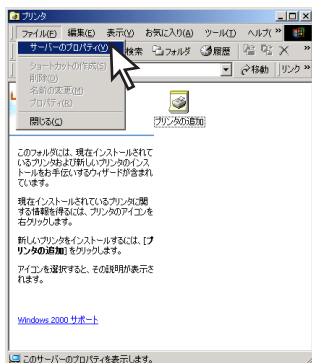
Color MultiWriter 9700Cのプリンタードライバーが削除されます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

Windows 2000 日本語版

❶ **[プリンタ]フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。

❷ **[NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンをクリックする。**

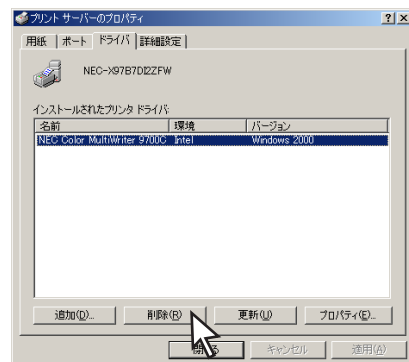
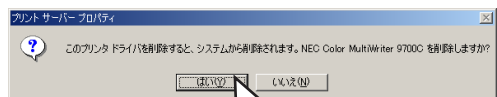
❸ **[ファイル]メニューの[削除]をクリックする。**

❹ **[はい]をクリックする。**

Color MultiWriter 9700Cプリンタードライバーが削除されます。

❺ **[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。

❻ **[ドライバ]タブをクリックする。**

❼ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC Color MultiWriter 9700C]をクリックする。**

❽ **[削除]をクリックする。**

❾ **[はい]をクリックする。**

次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **[インストールされたプリンタドライバ]から[NEC Color MultiWriter 9700C]が削除されたことを確認し、[閉じる]をクリックする。**

[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダーを閉じます。

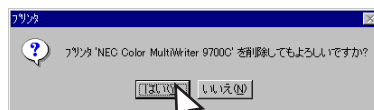
Windows NT 4.0 日本語版

❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

❷ [NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

❹ [はい]をクリックする。

Color MultiWriter 9700Cのプリンタードライバーが削除されます。

PrintAgentの追加・削除

Color MultiWriter 9700Cのプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

追加・削除の手順を始める前に8章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（188ページ）をお読みください。

❶ [コントロールパネル]フォルダーを開く。

❷ [プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。

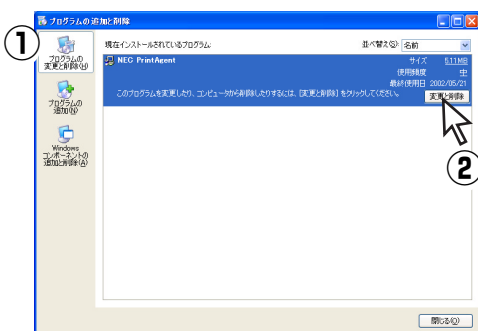
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

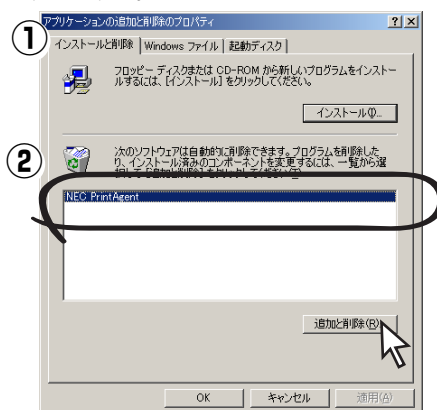
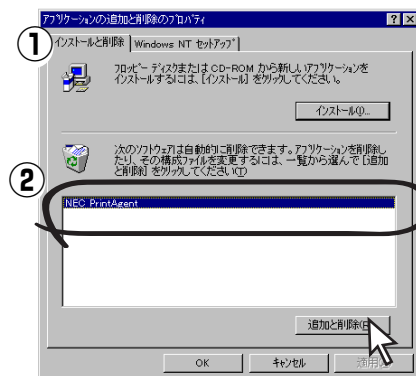
❸ [PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。

＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合＞

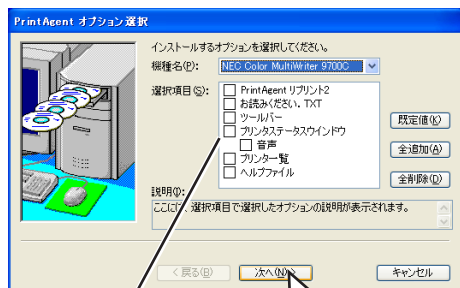
① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合＞

① [インストールと削除]シートを開く。

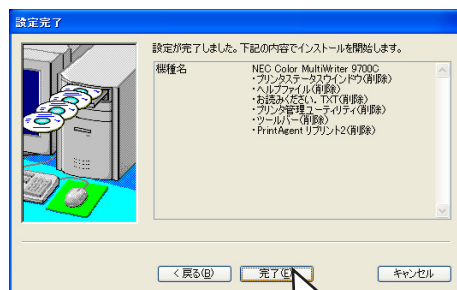
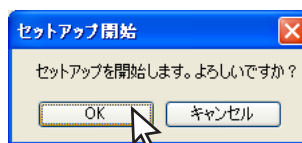
② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95

Windows NT 4.0

❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

- MultiWriter 2050など他のMulti-Writerシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

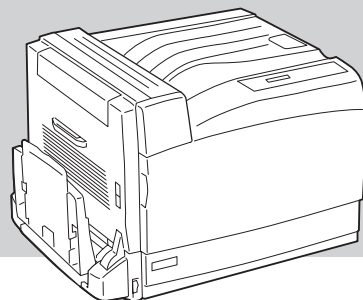
❺ [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ [OK]をクリックする。

❼ 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

3章
用紙のセット

この章では、本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。
本プリンターは豊富な給紙機構（ホッパー、手差しトレー）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

本プリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。ホッパー、増設ホッパー、手差しトレーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については活用マニュアル4章の「リレー給紙機能」をご覧ください。

用紙に合わせた印刷方法の選択

本プリンターでは、用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。以下で説明する内容をより理解されて、お使いになる用紙に最適な印刷方法をお選びください。なお本プリンターで使用できる用紙の仕様については、付録の「使用できる用紙」(238ページ) をご覧ください。

用紙のサイズと可能な給紙・排紙方法

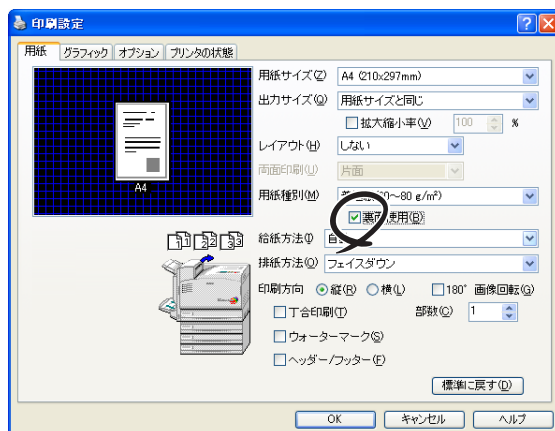
使用できる用紙サイズと可能な給紙方法・排出方法は以下のとおりです。

種類	サイズ	給紙方法			排紙方法	
		ホッパ1	ホッパ2～4＊1	手差しトレー＊4	フェイスアップ（表排出）＊1	フェイスダウン（裏排出）
一般の用紙	A4 B4 B5 A3 レター	◎	◎	◎	◎	◎
	A5	◎	×	◎	◎	◎
	ユーザー定義サイズ	○／×＊2	○／×＊2	○／×＊3	○／×＊2	○／×＊3
はがき	はがき	×	×	○	×	○
	往復はがき	×	×	○	○	○
封筒	洋形４号	×	×	△	×	△
ラベル紙	A4 レター	×	×	△	△	△
OHP シート	A4 レター	×	×	△	△	△

◎　：片面印刷、自動両面印刷とも使用できます。
○　：片面印刷、手動両面印刷＊4で使用できます。
△　：片面印刷のみ使用できます。
×　：使用できません。

＊1　ホッパ２～４、両面印刷ユニット、フェイスアップ排出ユニットはオプションです。
＊2　用紙の大きさによって異なります。詳細は付録の「使用できる用紙」(238 ページ) を参照ください。
＊3　用紙の大きさによって制限事項があります。詳細は付録の「使用できる用紙」(238 ページ) を参照ください。
＊4　手動両面印刷については、次ページを参照してください。

手動両面印刷について

手動両面印刷とは、両面印刷ユニットではサポートしない厚紙に両面印刷を行ったり、両面印刷ユニットなしで両面印刷を行いたいときに使用する機能です。手動両面印刷を行う際には、片面を普通に印刷したあと、用紙を裏返してセットします。その際、プリンタドライバーの用紙種別の［裏面使用］チェックボックスをチェックしてから印刷を行うと、高品質な印刷ができます。また、より最適な印刷品質を得るために、片面印刷後10分ほど経過してから、裏面を印刷することを推奨します。

重要

他のプリンターやコピー機で印刷した用紙の裏面に印刷しないでください。この機能を使っても、紙づまりや定着ユニット部での巻き付きなど、プリンターに障害が起きる原因となります。

用紙の厚さと可能な給紙・排紙方法

使用できる用紙の厚さと可能な給紙先・排紙先および用紙種別を表に示します。

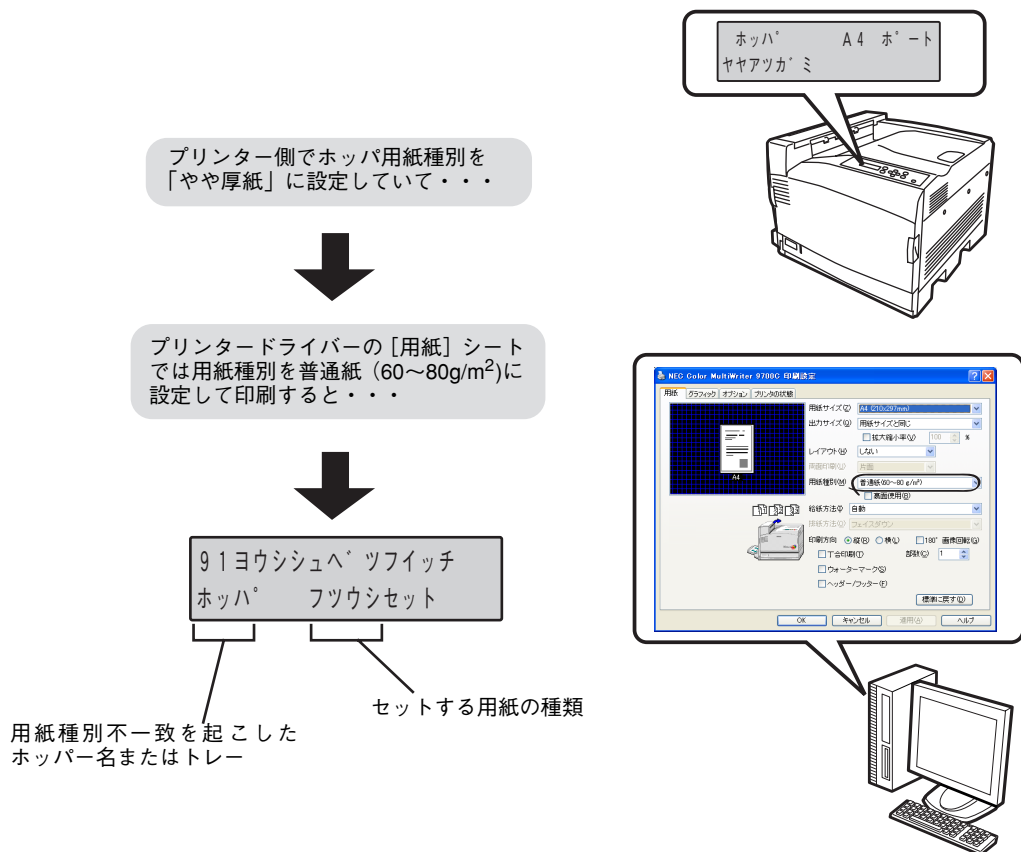
○：使用できます。
×：使用できません。

用紙の厚さ		用紙種別	給紙方法			排紙方法	
			ホッパ1	ホッパ2～4＊1	手差しトレー	フェイスアップ（表排出）＊1	フェイスダウン（裏排出）
一般の用紙	坪量60～80g/m²	普通紙または再生紙	○	○	○	○	○
	坪量81～105g/m²	やや厚紙	○	○	○	○	○
	坪量106～169g/m²	厚紙＊2	○	○	○	○	○
	坪量170～216g/m²	ごく厚紙＊2	○	×	○	○	○
はがき		はがき＊3	×	×	○	○	○
封筒		封筒＊3	×	×	○	○	○
コート紙1＊4		コート紙1	×	×	○＊5	○	○
コート紙2＊4		コート紙2	×	×	○＊5	○	○
ラベル紙		ラベル	×	×	○	○	○
OHPシート		OHPシート	×	×	○	○＊6	○＊6

＊1 ホッパ2～4、フェイスアップ排出ユニットはオプションです。
＊2 厚紙種類によっては、「コート紙1」、「コート紙2」モードの方がきれいに印刷できる場合があります。
＊3 はがき、封筒を使用する場合は、プリンタードライバーで［用紙サイズ］または［出力サイズ］を選択すれば自動的に「はがき」、「封筒」の用紙種別が設定されます。
＊4 コート紙1とは、106～169g/m²のコート紙です。コート紙2とは、170～216g/m²の厚めのコート紙です。
＊5 コート紙は1枚ずつセットしてください。
＊6 OHPシートは印刷後の熱で変形しやすくなっていますので、排出部から1枚ずつ取っていただくことを推奨します。

自動で両面印刷できる用紙の厚さは坪量60～105g/m²ですが、裏写りなどの印刷品質を考えた場合は坪量81～105g/m²用紙の使用をお勧めします。

用紙種別の設定

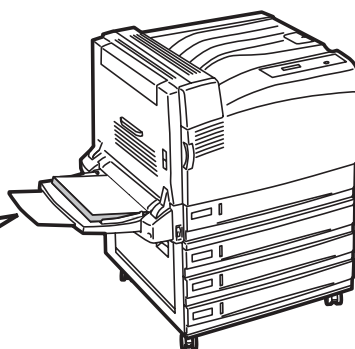
本プリンターは印刷する用紙を正しく管理する目的のためにコンピューター側（プリンタードライバー）とプリンター側（メニューモード）両方で用紙種別を設定できるようになっています。もしコンピューター側とプリンター側の設定が食い違っていると、ディスプレイにアラームメッセージを表示します。

① 操作パネルによる用紙種別の設定

プリンター側で用紙種別の設定をするには4章の「メニューモード」（107ページ）を参照してください。初期設定ではホッパー /手差しトレー両方ともに「指定しない」になっています。プリンター側の用紙種別が「指定しない」に設定されている場合には、プリンタードライバーでの用紙種別の設定に従って印刷されます。通常はこの状態でお使いいただいて問題ありません。各ホッパー /手差しトレーに、それぞれ種類の違う用紙をセットした場合は、最適な印刷結果を得るためにも個別に用紙種別を設定することをお勧めします。また、リレー給紙を使用して印刷を行う場合や、NPDLモードで普通紙以外を使用する場合には、必ず各ホッパーの用紙種別を設定してください。

② プリンタードライバーによる用紙種別の設定

コンピューター側の用紙種別はプリンタードライバーの［用紙］シート（詳細は活用マニュアル3章の「プリンタードライバー」を参照してください。）で行います。もしプリンタードライバーで設定した用紙種別がプリンター側の用紙種別と一致しないとプリンターはディスプレイに“ヨウシシュベツフイッチ”を表示し、正しい用紙をセットするよう要求します。

次ページに例を示します。

例えばプリンター用紙種別の設定がこのような場合・・・

ケース1

どのホッパー/手差しトレーからでも構わないから（給紙方法：自動）A4サイズの普通紙/再生紙（60～80g/m^2）に印刷したい。

イ ン サ ツ チ ュ ウ

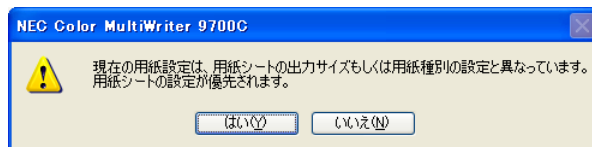
同じ種別の用紙がセットされている場合、上段のホッパーから選択されます。

このケースにおいては、ホッパ1から給紙して正常に印刷されます。

ケース2

ホッパ1にセットされているA4サイズの厚紙（106～169g/m^2）に印刷したい。

<コンピューターとプリンターが双方向通信を行っている場合>

プリンタードライバーが用紙種別の設定を認識して、コンピューター上に警告メッセージを表示します。
印刷したい場合はホッパ1に厚紙をセットして［はい］をクリックします。キャンセルしたい場合は［キャンセル］をクリックします。

<コンピューターとプリンターが双方向通信を行っていない場合>

ホッパ1に厚紙が設定されていないのでプリンターの操作パネルにエラーが表示されます。

9 1 ヨウシシュヘ゛ツフイッチ
ホッハ゜1　アツカ゛ミセット

印刷を行いたい場合はホッパ1に厚紙をセットして［印刷可］スイッチを押します。
キャンセルしたい場合は［シフト］スイッチを押しながら［リセット］スイッチを2回押してください。
ただし手差しトレーの場合、用紙種別が不一致でもエラー表示されないで印刷が行われます。

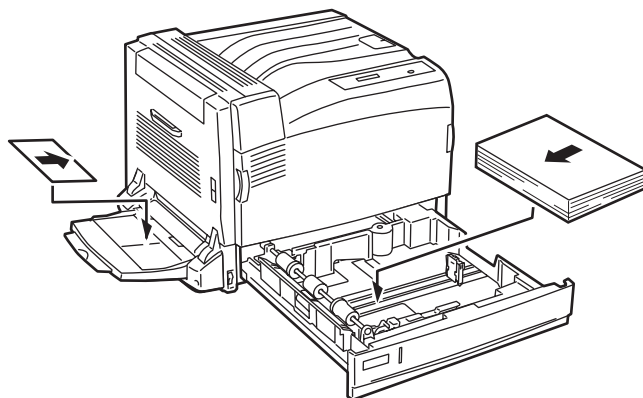
この場合は、「用紙種別の不一致」（エラー）が発生します。

用紙のセット方向

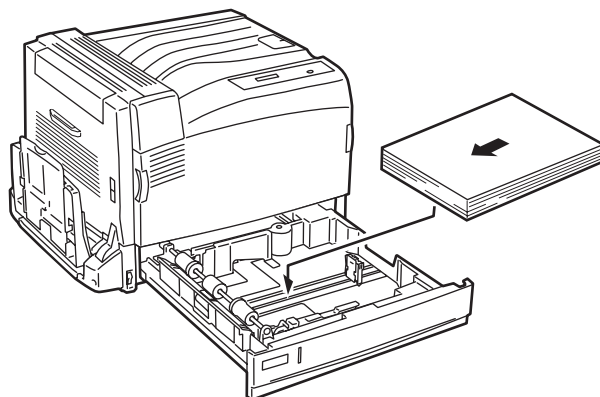
本プリンターは用紙サイズによって用紙をセットする方向（横置き、縦置き）が決まっています。横置きとは用紙の走行方向に対して垂直な置き方です。縦置きとは用紙の走行方向に対して平行な置き方です（下図で矢印の方向は用紙の走行方向を示しています）。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の7種類です。

- A4
- A5
- レター
- B5
- はがき（手差しトレーのみ）
- 往復はがき（手差しトレーのみ）
- 封筒（手差しトレーのみ）

縦置き

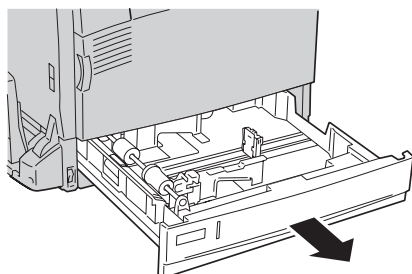
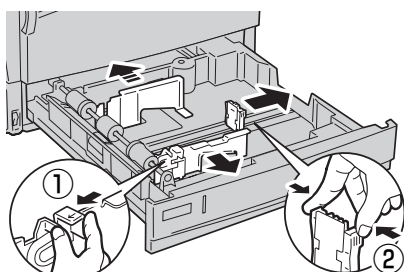
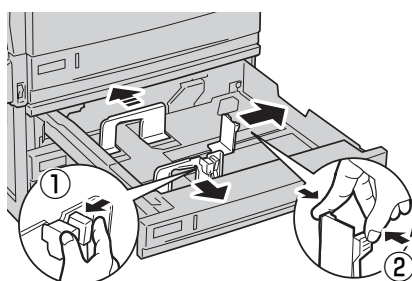
右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の2種類です。

- A3
- B4

チェック

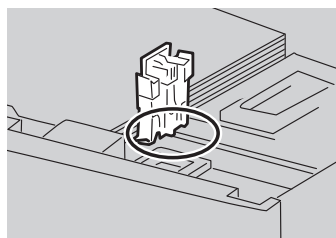
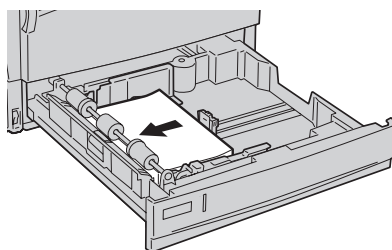
- 用紙のセット方向を間違えた場合、操作パネルに“セットチガイ”と表示されますので用紙を正しい方向にセットし直してください。
- 本プリンターが用紙サイズを自動で検出できない用紙（例えばリーガルサイズや定形外用紙）を用紙カセットにセットした場合、操作パネルに“インサツフカヨウシ”と表示されますので用紙を入れ替えてください。また、ホッパーからその用紙に印刷したい場合は、5章の「定形外用紙に印刷する」（119ページ）を参照してください。

用紙カセットから給紙する

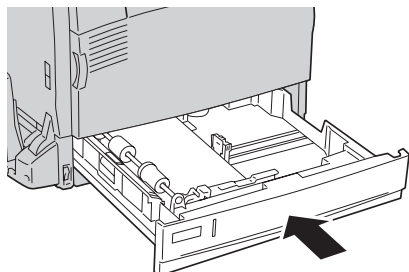
定形用紙のセット

❶ 用紙カセットを手前に止まるところまで引き出す。

❷ 2か所（①、②）の用紙ガイドのクリップをつまみながら、用紙ガイドの先端をセットする用紙サイズ目盛りに合わせる。

ホッパー１の場合

ホッパー２～4の場合
（オプション）

用紙ガイドが、目盛りの穴にしっかりはまっていることを確認してください。用紙ガイドがサイズの目盛りにあっていないと、用紙サイズを自動検出できない場合があります。このときは、用紙ガイドをずらしてから、再度目盛りに合わせてください。

特に、A4サイズの用紙を入れたとき、エンドガイドがしっかり入ってないと、レターサイズと誤検知されます。（操作パネルに「LTポート」と表示されます。）このときは、エンドガイドの下の部分を押し込んで、確実にエンドガイドが目盛りの穴に入るようにしてください。

❸ 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットする。

チェック

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

❹ 奥に突き当たるところまで、用紙カセットをゆっくりと押し込む。

チェック

用紙カセットを、無理な力で押し込みすぎないようにしてください。

❺ 必要に応じて、メニューモードの用紙種別で設定を変更する。

使用する用紙に応じて、プリンタードライバーで[用紙種別]を設定して印刷してください。（「用紙種別の設定」（85ページ）参照）

定形外用紙のセット

定形外用紙に印刷する方法について説明します。
本プリンターで設定できる用紙サイズは、次のとおりです。詳細は付録の「使用できる用紙」（238ページ）を参照してください。

- ホッパー1の場合
  短辺：182～297.0mm、長辺*：98.4～431.8mm
  ただし、短辺：279.4mm以上で長辺：420mmを超えるサイズを除く
- ホッパー2～4の場合
  短辺：182～297.0mm、長辺*：182.0～431.8mm

定形外用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。ただし、用紙サイズ目盛りに合わせる必要はありません。また、操作パネルやプリンタードライバーでの設定が必要です。詳細については、5章の「定形外用紙に印刷する」（119ページ）を参照してください。

* NPDLの場合、長辺が420mmより長い用紙はサポートしていません。

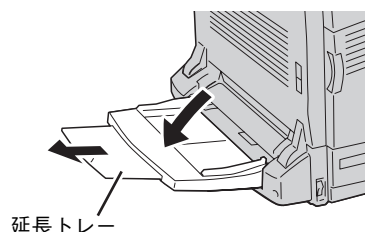
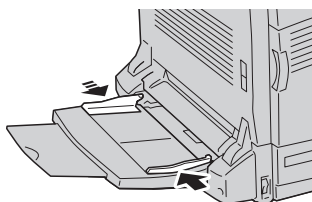
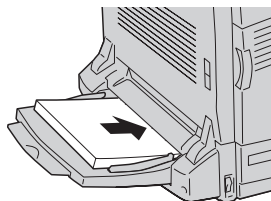
- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- 用紙ガイドは、用紙との間にすきまができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- サイズ、紙質、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙の反りは吸入不良や角折れなどの原因になります。反りのないものを使用してください。反りはしっかり修正してください。

手差しトレーから給紙する

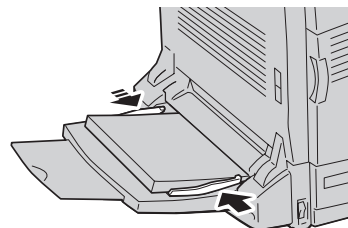
はがき、封筒、長尺紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。各用紙のセット方法は92〜95ページを参照してください。

定形用紙のセット

❶ **手差しトレーを開く。**

必要に応じて、延長トレーを引き出します。延長トレーは、2段階に引き出せます。

❷ **手差しトレーの手前にあるサイドガイドの位置を確認する。**

❸ **印刷する面を下に向けて、軽く奥に突き当たるまで差し込む。**

チェック

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

❹ **サイドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

❺ **必要に応じて、メニューモードで［用紙種別］、［手差しトレー］スイッチで［用紙サイズ］の設定を変更する。**

使用する用紙に応じて、プリンタードライバーで［用紙種別］を設定して印刷してください。（「用紙種別の設定」（85ページ）参照）

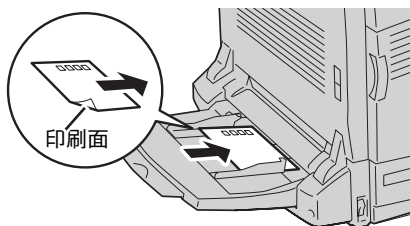
はがきのセット

はがきの本文の面にイラストを印刷する手順を例に、はがきのセット方法を説明します。

はがきの本文の面

かもめーるなどの多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

❶ **はがきの印刷する面を下に向ける。**

❷ **郵便番号枠側がプリンター背面側になるようにセットする。**

チェック

- はがきが給紙できないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。
- はがきを手動両面印刷で印刷する場合いには、はじめに本文の面を印刷してから、宛名面を印刷すると、よりきれいに印刷できます。

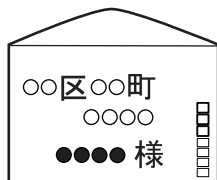
❸ **必要に応じてメニューモードで［用紙種別］、［手差しトレー］スイッチで［用紙サイズ］の設定を変更する。**

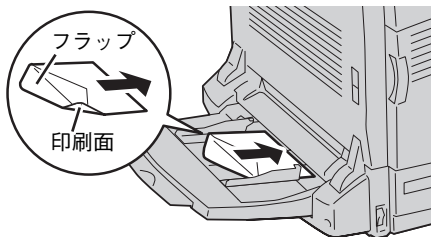
プリンタードライバーで［用紙種別］を［はがき］に設定して印刷してください。（「用紙種別の設定」（85ページ）参照）

封筒のセット

本プリンターで使用できる封筒のサイズは、洋形4号（105×235mm）です。

- 封筒は、のり付け部分にテープがついていないものを使用してください。あらかじめのり付けされている封筒は、のり付け部分の状態によっては使用できないことがあります。
- 封筒のうら面には、印刷できません。

封筒のおもて面にあて名を印刷する手順を例に、封筒のセット方法を説明します。

❶ **封筒の印刷する面を下に向ける。**

❷ **フラップを開いて、フラップ部分が左側になるようにセットする。**

- 封筒のフラップは、しっかりと開いてセットしてください。
- 用紙上限線を越えて、セットしないでください。

❸ **必要に応じてメニューモードで［用紙種別］、［手差しトレー］スイッチで［用紙サイズ］の設定を変更する。**

プリンタードライバーで［用紙種別］を［封筒］に設定して印刷してください。（「用紙種別の設定」（85ページ）参照）

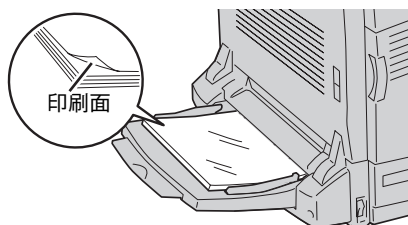
OHPフィルムのセット

OHPフィルムに印刷する方法について説明します。

✔チェック

- 使用するOHPフィルムは、型番 PR-L9200C-TPをお勧めします。また、白い枠付きのOHPフィルム、フルカラー用OHPフィルムは使用できません。
- OHPフィルムをセットするときには、用紙種別をOHPフィルムに設定する必要があります。「用紙種別の設定」（85ページ）を参照してください。

❶ **OHPフィルムの印刷する面を下に向ける。**

❷ **少量ずつよくさばいてからセットする。**

❸ **必要に応じてメニューモードで［用紙種別］、［手差しトレー］スイッチで［用紙サイズ］の設定を変更する。**

プリンタードライバーで［用紙種別］を［OHP］に設定して印刷してください。（「用紙種別の設定」（85ページ）参照）

定形外用紙のセット

定形外用紙に印刷する方法について説明します。
本プリンターで設定できる用紙サイズは、短辺*1：90.0～304.8mm、長辺*2：98.4～457.2mmです。

定形外用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。また、操作パネルの設定や、プリンタードライバーの設定が必要です。詳細については、5章の「定形外用紙に印刷する」（119ページ）を参照してください。

＊1　NPDL の場合、短辺が 297mm より長い用紙はサポートしていません。
＊2　NPDL の場合、長辺が 420mm より長い用紙はサポートしていません。

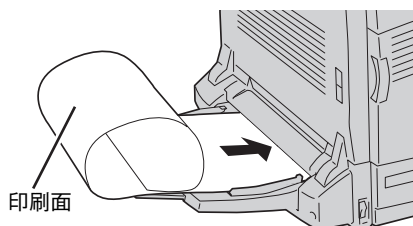
長尺紙のセット

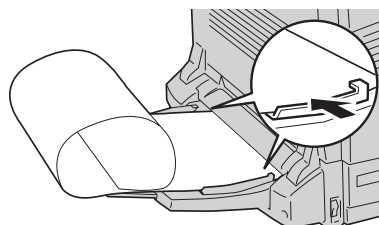
長尺紙に印刷する方法について説明します。

本プリンターで設定できる用紙サイズは、次のとおりです。なお、NPDLでは使用できません。

短辺：90.0～304.8mm、長辺：457.3～1,200mm

長尺紙に印刷するには、256MB以上のメモリーが必要です。必要なメモリー量についての詳細は、10章の「増設メモリー」（229ページ）を参照してください。

❶ **長尺紙の印刷する面を下に向けて、図のように後端をまるめて、手差しトレーにセットする。**

- 長尺紙の後端は、用紙の差込口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差込口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙は、1枚ずつセットしてください。

❷ **サイドガイドを、長尺紙の幅に合わせる。**

長尺紙は長いので、排出された用紙が床に落ちないように、必ず1枚ずつ取り除いてください。

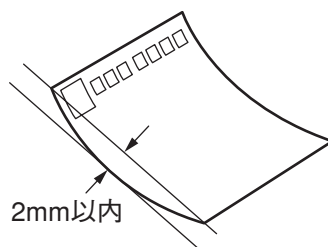
長尺紙を印刷する場合には、定形外用紙を印刷する場合と同様の理由から、［印刷可］スイッチを押す必要がある場合があります。詳細については121ページを参照してください。

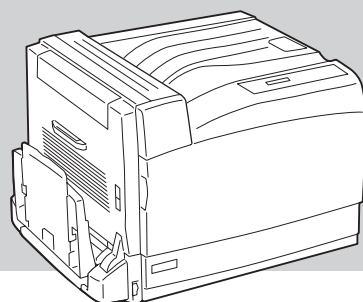
本プリンターが推奨する長尺紙は以下のとおりです。

販売元：　富士ゼロックスオフィスサプライ

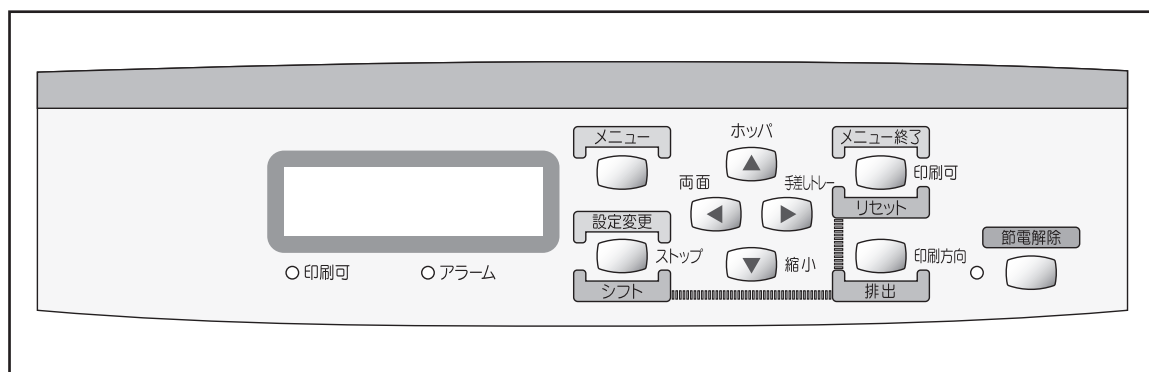
サイズ	型番
297mm×900mm	GAAA1481（100枚入り）、ZGAA0172（100枚入り×5袋）
297mm×1200mm	GAAA2688（100枚入り）、ZGAA0288（100枚入り×5袋）
210mm×900mm	GAAA1799（100枚入り）、ZGAA0228（100枚入り×5袋）

長尺紙を使用して、たれ幕、見出しなどの印刷に活用できるのはもちろんのこと、長尺紙を複数枚使用して、手軽に大きなサイズのポスターを作成する機能があります。手順については、活用マニュアル4章の「より進んだ使い方」を参照してください。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。
- サイドガイドは、用紙との間にすきまができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- サイズ、紙質、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。

- 手差しトレーの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

4章
操作パネルについて

この章では操作パネル、用紙のセット方法などのプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。

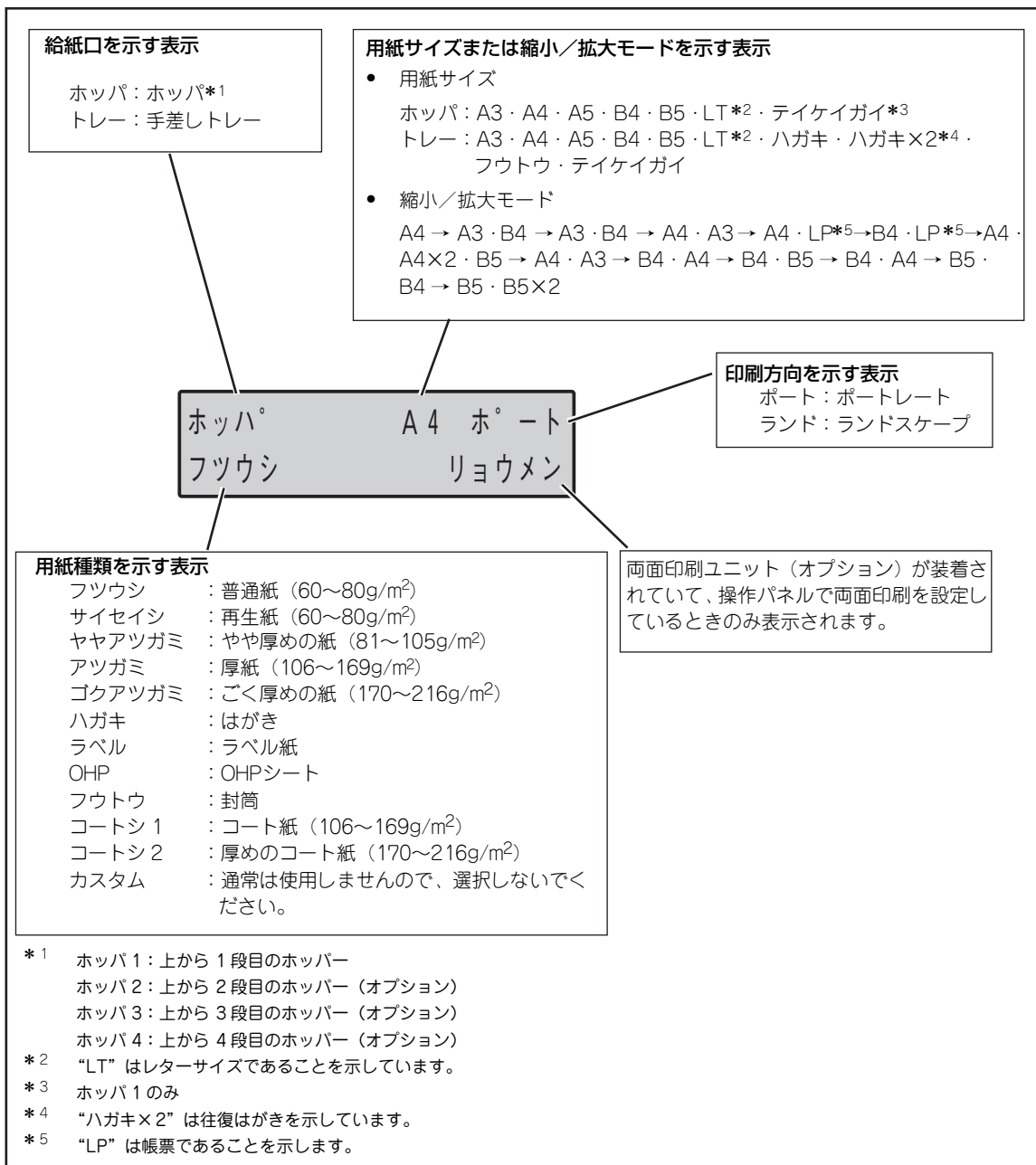
ここでは操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。下段はセレクト状態（印刷可ランプ点灯）の時のみ表示されます。
なお、節電モード2による節電中は、ディスプレイは表示されません。詳細については、「節電解除機能」（106ページ）を参照してください。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については本章の「メニューツリー」（108ページ）、8章の「アラーム表示が出ているときは」（168ページ）、または活用マニュアルの「2章 メニューモード」を参照してください。

ランプ

○ 印刷可

印刷可ランプ（緑）

点灯	プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。
点滅	プリンターが印刷データを受信中です。
消灯	プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。

○ アラーム

アラームランプ（赤）

点滅	カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については8章の「アラーム表示が出ているときは」（168ページ）をご覧ください。
消灯	プリンターにエラーが発生していない状態を示します。

節電解除

節電ランプ（緑）

点灯	節電モード2による節電中です。 詳細については本章の「節電解除機能」（106ページ）をご覧ください。
点滅	節電モード2を解除中です。
消灯	節電モード2による節電中ではない状態を示します。

スイッチ

プリンターの操作パネルには9個のスイッチがあり、ほとんどのスイッチは2つまたは3つの機能を持っています。ただし、プリンタードライバーを使用して印刷する場合は、プリンタードライバーの設定の内容を優先して機能します。したがって、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーを利用する場合は、操作パネルでの設定はほとんど必要ありません。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能	：	[印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く）。
メニューモード時のスイッチ機能	：	[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能	：	[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。
節電解除機能	：	節電モード2になっているプリンターを起動させるための機能です。

- アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については８章の「アラーム表示が出ているときは」（168ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、操作パネルによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能

[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

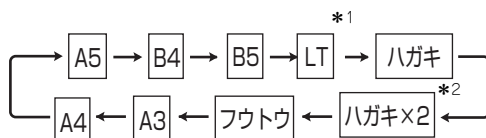
[手差しトレー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。

手差しトレー給紙にする。

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、手差しトレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

手差しトレー給紙の用紙サイズを変更する。

手差しトレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

✔チェック

- 手差しトレーに用紙をセットしたら、[手差しトレー] スイッチで用紙サイズを設定してください。
- プリンタードライバーによって印刷した場合、プリンタードライバーで設定したサイズが有効になります。

＊1「LT」は「レター」を意味します。
＊2「ハガキ×2」は「往復はがき」を意味します。

[両面] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。両面印刷オプション装着時にのみ機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

ディスプレイに“リョウメン”が表示されていない状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合両面印刷モードを設定していても、印刷は片面で行われます。

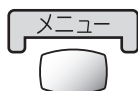
- 用紙種別として［指定しない］、［普通紙］、［再生紙］、［やや厚紙］以外を指定した場合
- 用紙サイズとして「ハガキ」、［往復はがき］、［封筒］、［定形外用紙］を指定した場合

プリンタードライバーによって印刷した場合、プリンタードライバーの設定が有効になります。

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、〔印刷可〕スイッチを押します。

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。

ホッパー給紙に切り替える。

手差しトレーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパーを選択する（オプションの増設ホッパーを装着しているとき）。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーの設定が変わります。選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。

プリンタードライバーによって印刷した場合、プリンタードライバーの設定が有効になります。

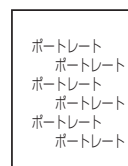
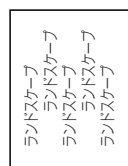
印刷方向

[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

プリンタードライバーによって印刷した場合、プリンタードライバーの設定が有効になります。

[縮小] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとアラームランプが消灯し、プリンターに印刷データが残っていないときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小/拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小/拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、以下の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 →(繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 *1 → A3→A4 → A4×2 *2 → B5→A4 → A4 →(繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 *1 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 →(繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 *3 → B5 →(繰り返し)

*1 LP は帳票サイズ(136 桁× 66 桁)を意味します。
*2 A4 × 2 は A4 サイズの 2 ページ分のデータを A4 用紙 1 枚に印刷します。
*3 B5 × 2 は B5 サイズの 2 ページ分のデータを B5 用紙 1 枚に印刷します。

チェック

- プリンタードライバーによって印刷した場合、プリンタードライバーで設定したサイズが有効になります。
- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c 1 c2 c3)によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL(Level2)リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

メニューモード時のスイッチ機能

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

[設定変更] スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、「メニューツリー」（108 ～111ページ）を参考にしてください。

手差しトレー

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。

ホッパ

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

両面

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。

縮小

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」（108 ～111ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

[シフト] スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面] スイッチ、[印刷可] スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

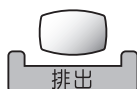
このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

[リセット] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに "リセットジッコウ" と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は活用マニュアル「2章 メニューモード」の「NPDLの初期状態」をご覧ください。

[排出] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが点灯している（ディスプレイに "データガノコッテイマス" と表示されている）ときに機能します。アラーム中、および用紙がない状態では機能しません。本スイッチは添付のWindowsドライバーを使って印刷中は機能しません。MS-DOS環境などでNPDLをお使いの場合のみ有効です。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

節電解除機能

[節電解除] スイッチ

節電モード2の状態となっているときには、操作パネルのディスプレイには何も表示されず、節電解除スイッチ横のランプが点灯します。この状態では操作パネルの操作は一切できません。
節電解除スイッチを押すとプリンターが起動し、通常状態に戻り、ランプも消灯します。

✔チェック

- 本プリンターには、省エネルギー対応として以下の2つの節電モードがあります。
  - 節電モード1： 省電力と高速起動を両立したモード。
    本モード時は、ディスプレイに「セツデン1 チュウ」と表示されます。初期設定では30分間印刷データを受信しない場合このモードに入ります。
  - 節電モード2： 省電力を追求したモード。（12W以下）
    起動時間は約30秒。このモードに入るとディスプレイの表示は消え、節電解除スイッチ横のランプが点灯します。初期設定では60分間印刷データを受信しない場合このモードに入ります。

  どちらのモードもコンピューターからの印刷データを受信すると自動で復帰し、印刷を実行します。
- 節電モード1、節電モード2への移行時間は操作パネルで変更できます。
- 移行時間を短くすると、クリーニング動作の途中で節電モードに入ったように見えることがあります。本プリンターは必ずクリーニング動作を終了してから 節電モードに移行しますので異常ではありません。また、この動作でプリンターが故障することはありません。

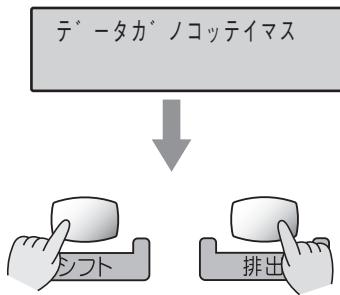
メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。プリンタードライバーから印刷を行う場合、印刷設定に関する多くの項目をプリンタードライバーから設定できます。この場合プリンタードライバーの設定が優先されます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

設定変更の方法

❶ データが残っていないことを確認する。

データが残っている場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❷ オンライン状態の場合は［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。

○印刷可

❸ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”を表示します。

テストメニュー　　→

❹ メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は108～111ページの「メニューツリー」、および活用マニュアル2章の「メニューモード設定項目一覧表」を参照してください。メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

スイッチ	説明
［◀］、［▼］、［▶］、［▲］スイッチ	このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
［設定変更］スイッチ	押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

○印刷可

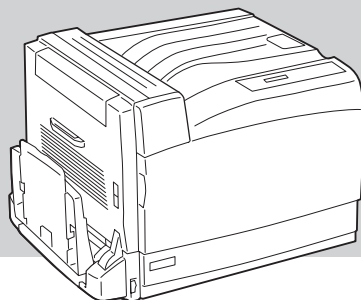
メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は111ページにあります。

A
インジイチセッテイメニュー
ホッパ　ビチョウセイ *5
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
ホッパ1　ビチョウセイ *6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
ホッパ2　ビチョウセイ *6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
ホッパ3　ビチョウセイ *6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
ホッパ4　ビチョウセイ *6
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
トレー　ビチョウセイ
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
オモテメン　ビチョウセイ *7
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
ウラメン　ビチョウセイ *7
TM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm *8
LM：+3.9mm ～ 0mm ～ –3.9mm
リョウメンインサツメニュー *7
初期設定：OFF／ON
綴じ代　：ロング1、ショート1、
ロング2、ショート2
余白　：0mm ～ 20mm
クリップ：OFF／ON
奇数ページ：片面／両面
ウンヨウメニュー
セツデンキノウ
節電機能1 移行時間
：5分、10分、30分、60分、120分
節電機能2 移行時間
：5分、10分、30分、60分、120分
ジドウハイシュツ
無効、5秒、15秒、30秒
インジマイスウ
総印字枚数
ドラムジュミョウドウサ
交換まで待つ、スイッチで解除
トナーセッテイ
標準モード、カスタムモード *3
チョウセイメニュー
スキューケンシュツ0 *9
スキューケンシュツ1 *9
スキューケンシュツ2 *9
スキューケンシュツ3 *9
イロズレチャート
Yイロズレホセイ
LEFT：+750 ～ 000 ～ –750
CENTER：+750 ～ 000 ～ –750
RIGHT：+750 ～ 000 ～ –750
Mイロズレホセイ
LEFT：+750 ～ 000 ～ –750
CENTER：+750 ～ 000 ～ –750
RIGHT：+750 ～ 000 ～ –750
Cイロズレホセイ
LEFT：+750 ～ 000 ～ –750
CENTER：+750 ～ 000 ～ –750
RIGHT：+750 ～ 000 ～ –750
イロズレホセイジッコウ
クリーニング
クリーニング1実行
クリーニング2実行
B

B
フォントメニュー
1バイト系ゼロ：0、0̸
2バイト系ゼロ：0、0̸
ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
漢字：明朝、ゴシック
文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
国別：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン
NPDLセッテイメニュー
A4ポートレートケタスウ
78桁／80桁
エミュレーション
201エミュレーション／ページプリンタモード
136ケタモード　セッテイ *10
136桁モード：無効／有効
用紙位置*11：左／中央
微調整*11：0 ～ 左15 ～ 右15
I/Fセッテイメニュー
インターフェース1セッテイ
双方向設定*12：ニブル、ECP、なし
IPアドレス*13：011.022.033.044
サブネットマスク*13：255.000.000.000
インターフェース2セッテイ *14
DHCP：OFF／ON
DHCP IPアドレス*15：000.000.000.000
DHCPサブネットマスク*15：000.000.000.000
IPアドレス*16：011.022.033.044
サブネットマスク*16：255.000.000.000
ゲートウェイアドレス*17：000.000.000.000
イーサネットセッテイ
：自動、100BASEフル、100BASEハーフ、10BASEフル、10BASEハーフ
アクセス制限：OFF／ON
インターフェース3セッテイ *18
DHCP：OFF／ON
DHCP IPアドレス*15：000.000.000.000
DHCPサブネットマスク*15：000.000.000.000
IPアドレス*16：011.022.033.044
サブネットマスク*16：255.000.000.000
ゲートウェイアドレス*17：000.000.000.000
ネットワーク名：NECPRWRGRP
ネットワークタイプ：ピアツーピアグループ、アクセスポイント、レジデンシャルG/W
アクセス制限：OFF／ON
セッテイショキカメニュー
初期化実行、LAN初期化実行、初期化オール実行、呼び出し実行、記憶実行
メモリスイッチメニュー
MSW1：00000000
MSW2：00000000
MSW3：00000001
MSW4：00000000
MSW5：00000000
MSW6：00000000
MSW7：00000000
MSW8：00000000
MSW9：00000000
MSW10：00000000
ニンショウメニュー *19
パスワードセッテイ
パスワードシテイ
ジョブインサツ*20
ジョブサクジョ*20

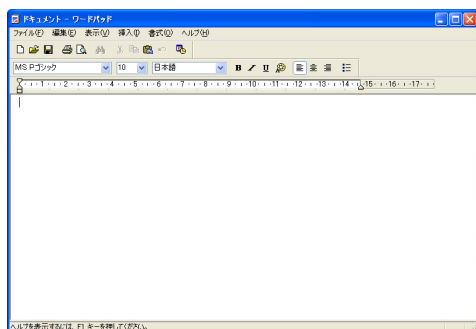
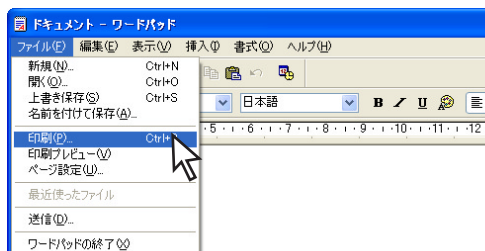
＊1　設定されている用紙が A4のときのみ表示されます。
＊2　装着されているホッパーのみ表示されます。“ホッパ”はホッパーが 1 段のときのみ表示されます。
＊3　通常は使用しません。選択しないでください。
＊4　“ホッパ”はホッパーが 1 段のときのみ表示されます。ホッパ1 ～4 は増設ホッパー（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊5　ホッパーが 1 段のときのみ表示されます。
＊6　ホッパ 1 ～ 4 は増設ホッパー（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊7　両面印刷ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。
＊8　［ビチョウセイ］により印刷領域を移動させた結果、印刷領域が用紙からはみ出すような設定はできません。用紙からはみ出す設定を行っても移動量は用紙の内側で制限されます。
＊9　通常は使用しません。
＊10　201 エミュレーションモード時のみ表示されます。
＊11　136 ケタモードが有効のときのみ表示されます。
＊12　双方向設定の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊13　オプションの LAN アダプター PR-NP-03TR2 が装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
＊14　インターフェース 3 に無線 LAN ボードが装着されていない場合に表示されます。
＊15　DHCP がON に設定されているときのみ表示されます。
＊16　DHCP がOFF に設定されているときのみ表示されます。
＊17　DHCP がON の場合には DHCP で取得した値が表示されます。
＊18　インターフェース 3 に無線 LAN ボードが装着された場合に表示されます。このとき、インターフェース2 は使用できません。
＊19　オプションのハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
＊20　パスワードの一致した印刷ジョブがハードディスクにある場合のみ表示されます。下段は任意の印刷ジョブ名です。
＊21　フェイスアップ排出ユニット（オプション）が装着されているときのみ表示されます。

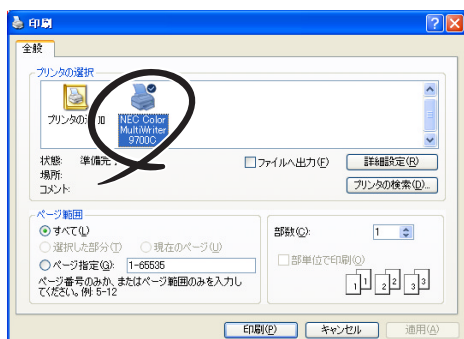
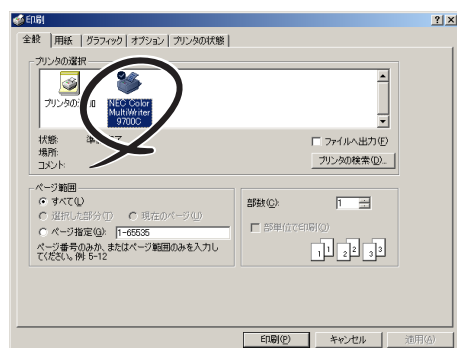
5章
印刷するには

この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。

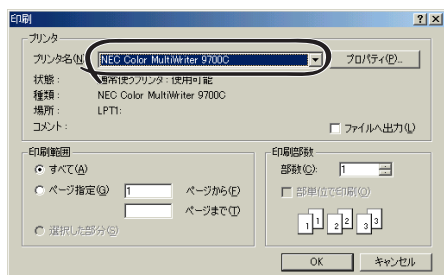
印刷手順

アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、およびWindows NT 4.0の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ [スタート] メニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

❸ [印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC Color MultiWriter 9700C]が選択されていることを確認する。

選択されていなければ、[プリンタの選択]から[NEC Color MultiWriter 9700C] を選択してください。

Windows XP、Windows Server 2003

Windows 2000

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合は、[プリンタ名]から[NEC Color MultiWriter 9700C]を選択してください。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0

❹ 必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。

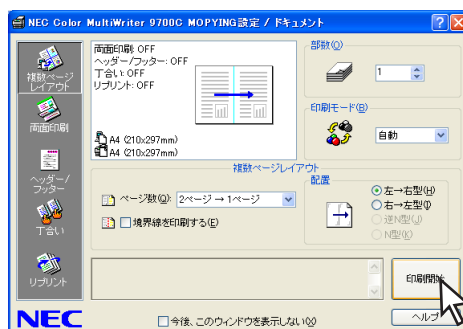
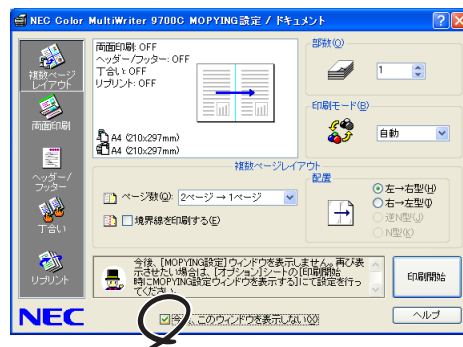
プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

❺ ページ範囲と印刷部数を指定して、[印刷]をクリックする。

[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する] が設定されている場合は、この後MOPYING設定ウィンドウが表示されます。次の手順に進んでください。

設定されていない場合は、印刷が開始されます。

❻ 複数ページレイアウト印刷、両面印刷などを設定し、[印刷開始]をクリックする。

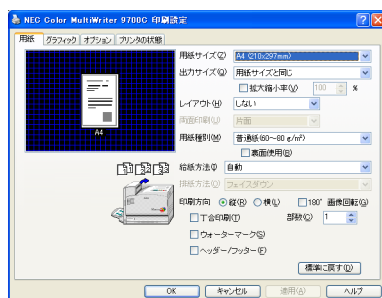
印刷が開始されます。

MOPYING設定ウィンドウは、アプリケーションから印刷を行うごとに表示されます。表示する必要がない場合は、「今後このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）

印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションのメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

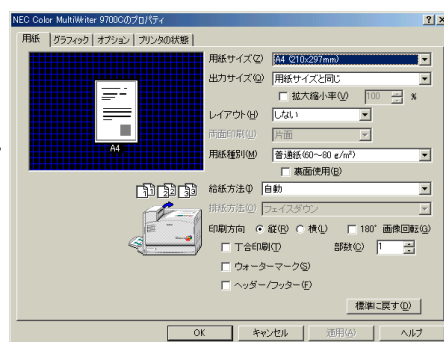
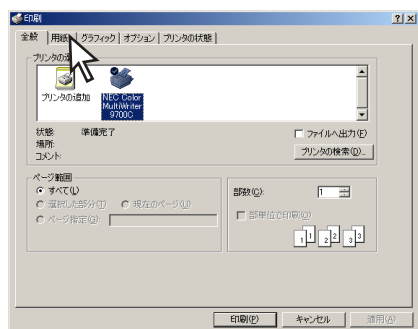
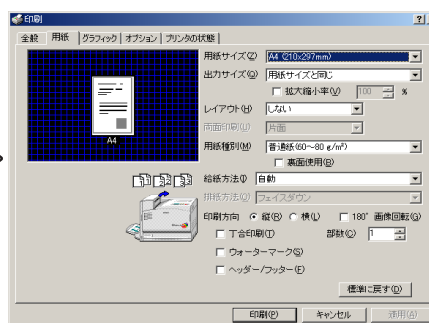
各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー*から開く方法があります。

アプリケーションのメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー*から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

* Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、[プリンタ]フォルダー

[詳細設定]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows XP、Windows Server 2003の場合

5 印刷するには

［プロパティ］をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合

各シートをクリックして設定します。

Windows 2000、Windows NT 4.0*の場合

* Windows NT 4.0の場合は印刷のダイアログ画面イメージが多少異なります。

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGするために、MOPYING設定ウィンドウがあります。MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥CMW9700C¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

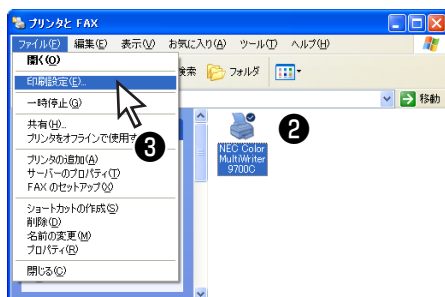
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

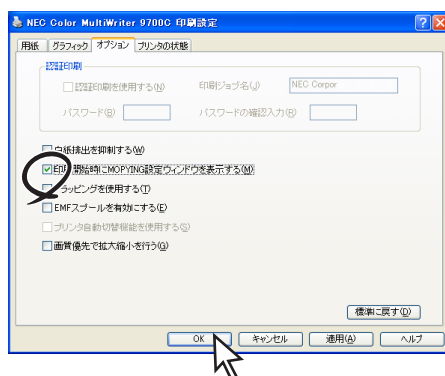
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ **[NEC Color MultiWriter 9700C]アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[印刷設定]*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

＊　Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は[プロパティ]
Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントの既定値]

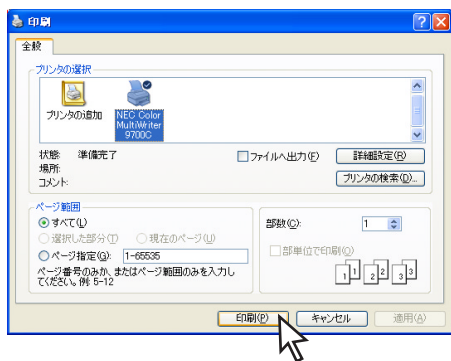
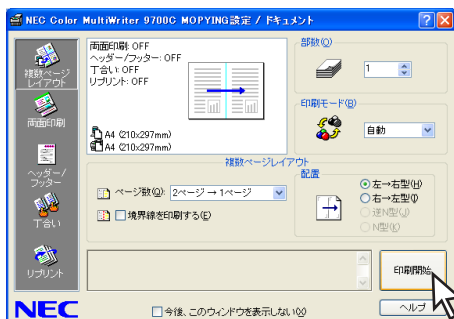
❹ **MOPYING設定を有効にする。**

[オプション]シートをクリックします。
[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックし、[OK]をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[印刷]ダイアログボックスの[印刷]をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

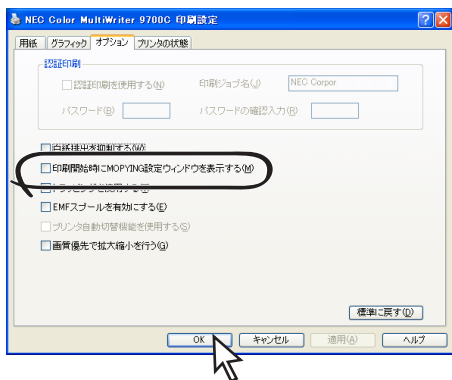
❸ **複数ページレイアウト印刷、両面印刷などの設定をし、[印刷開始]をクリックする。**

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ **117 ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。**

❷ **MOPYING設定を解除する。**

［オプション］シートをクリックします。
［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、[今後、このウィンドウを表示しない]をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

定形外用紙に印刷する

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

用紙カセット、トレーに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「使用できる用紙」（238ページ）をご覧ください。）
各給紙口ごとにセットできる用紙のサイズについては3章の「用紙のサイズと可能な給紙・排紙方法」（82ページ）参照してください。

Step 1　定形外用紙をセットする

<用紙カセットにセットする場合>

❶ **用紙カセットに用紙をセットする。**

3章の「用紙カセットから給紙する」（88ページ）を参照してください。

❷ **メニューモードでホッパーの用紙サイズを「テイケイガイ　コテイ」に設定する。**

メニューモードの［ヨウシメニュー］－［ヨウシサイズ　セッテイ］で、当該ホッパーの設定を「テイケイガイコテイ」にしてください。

<手差しトレーにセットする場合>

❶ **手差しトレーに用紙をセットする。**

手順は、3章の「手差しトレーから給紙する」（91ページ）を参照してください。

Step 2　ユーザー定義サイズを設定する

定形外の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、プリンタードライバーで複数のユーザー定義サイズを次の手順で設定します。設定できる用紙サイズは幅90～304.8mm、長さは98.4～1,200mmです。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー*から開く方法がありますが、ユーザー定義サイズを設定できるのは、[プリンタとFAX]フォルダー*から開いた場合のみです。

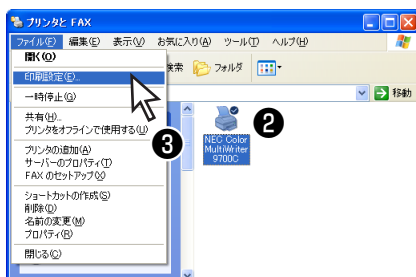
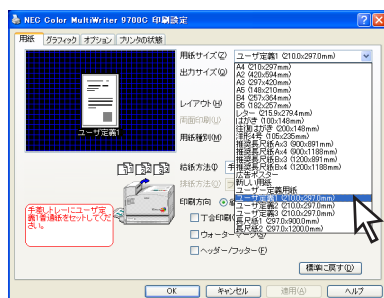
＊　Windows XP、Windows server 2003以外の場合は、[プリンタ]フォルダー

❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

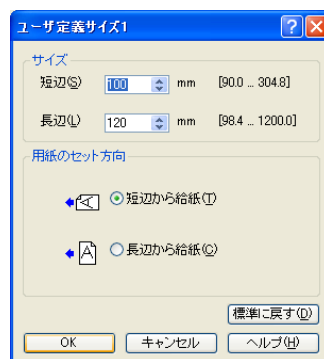
❷ **使用するプリンターのアイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル]メニューの[印刷設定]をクリックする。**

[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

❹ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]または[長尺紙]を選択する。**

ユーザ定義1～3／長尺紙1、2を使用して最大5つのユーザー定義サイズを設定できます。

ユーザ定義1～3／長尺紙1、2は設定できるサイズはどれも同じですが、初期設定値として、ユーザ定義1～3はA4サイズ、長尺紙1、2は推奨用紙として用意している長尺紙の用紙サイズが登録されています。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0の場合、複数の用紙サイズ(ユーザー定義サイズ)をOS上で追加することもできます。OS上に設定できる用紙サイズは幅148～597mm、長さは100～840mmです。この方法では、設定した用紙サイズは、他の機種のプリンタードライバーでも選択可能です。ただし、そのプリンターで印刷できない場合もあります。詳しくはOSヘルプを参照してください。

❺ **用紙の[短辺]と[長辺]を入力し、[OK]をクリックする。**

❻ **[OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。**

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

上記の操作を繰り返せば、最大5つのユーザー定義サイズを登録できます。

Step 3　ユーザー定義サイズで印刷する

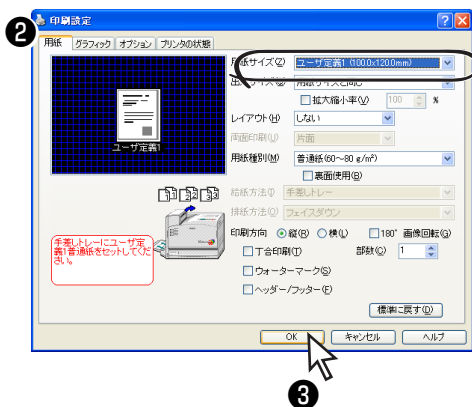
＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

アプリケーションによっては、この手順の後に[印刷]ダイアログボックスの[詳細設定]または、[プロパティ]をクリックします。

❷ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、印刷したいユーザー定義サイズを選択する。**

使用している用紙の種類に応じて用紙種別を設定してください。

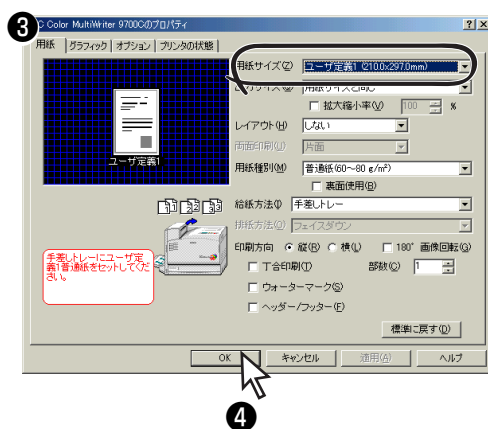
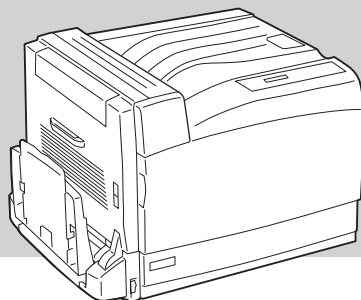
❸ **印刷部数を指定し、[印刷]（または[OK]）をクリックする。**

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、印刷したいユーザー定義サイズを選択する。**

使用している用紙の種類に応じて用紙種別を設定してください。

❹ **印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。**

本プリンターにおいて定形外用紙に印刷する場合には、印刷しようとしている用紙サイズと、前回印刷した用紙サイズとを比較してサイズが異なる場合には“ホッパ　XX　テイケイガイ　ホキュウ”の警告を出して一度印刷を停止します。設定条件が正しい場合には、[印刷可]スイッチを押すことで印刷を実行します。比較したサイズが同じ場合には警告を出さずに印刷します。

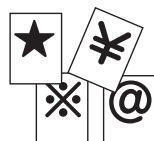
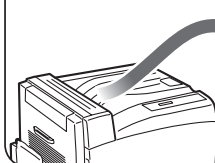
6章
より進んだ使い方

この章では、本プリンターの便利な機能および使い方について説明しています。

高度な機能が手間をかけずに利用できるばかりでなく、印刷コストの削減も図ることができます。この章をよくお読みになり、本プリンターを使いこなしてください。

機能の紹介

ここでは、本プリンターの便利な機能を紹介します。各機能の設定方法については記載のページをご覧ください。また、129ページ以降に機能の概要説明がありますので、参照してください。

機能	使用するには	設定する箇所
再印刷する 	**PrintAgent リプリント2** 概要 130ページ	**PrintAgentツールバー** 詳細 活用マニュアル 4章「リプリント機能」
手間とコストを削減して印刷する 	**MOPYING設定 ウィンドウ** 複数ページ印刷や両面印刷の設定を簡単に行うことができます。	**「オプション」シート** 詳細 117ページ
文書を結合する 	**PrintAgent リプリント2** **DocuWorks** 概要 131ページ	**PrintAgentツールバー** 詳細 活用マニュアル 4章「ジョブ結合」 **DocuWorks** 詳細 DocuWorks オンライン マニュアル
仕分け印刷する 	**丁合い、電子ソート** 概要 133ページ	**「用紙」シート** 詳細 141ページ

機能	使用するには	設定する箇所

両面印刷・製本印刷する

両面印刷

用紙が自動的に裏返るので、裏面にも印刷できます。

製本印刷

概要 138ページ

「用紙」シート

詳細 142ページ

給紙先を自動で切り換える

リレー給紙

大量に印刷するときに、途中で用紙がなくなっても自動的に同じ種類の用紙がセットされている給紙先に切り換わります。

操作パネル

詳細 97ページ

「用紙」シート

詳細 活用マニュアル 3章「プロパティダイアログボックス」

拡大・縮小印刷する

拡大・縮小印刷

概要 135ページ

「用紙」シート

詳細 144ページ

複数ページ印刷する

複数ページ印刷

概要 136ページ

「用紙」シート

詳細 145ページ

分割拡大印刷する

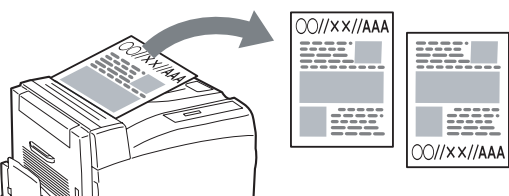
分割拡大印刷

概要 136ページ

「用紙」シート

詳細 活用マニュアル 4章「分割拡大印刷」

機能 / 使用するには / 設定する箇所

長尺紙を使ってポスターを印刷する

使用するには： 長尺紙ポスター印刷

概要 137ページ

設定する箇所： 「用紙」シート

詳細 活用マニュアル 4章「長尺紙を使ったポスター印刷」

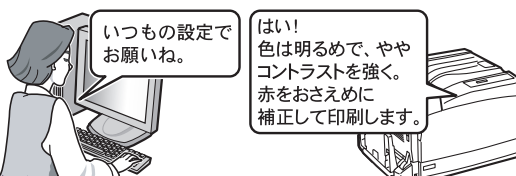
ヘッダー・フッターをつける

使用するには： ヘッダー／フッター印刷

ページ番号や、印刷した日付などを各ページの上端または下端に入れることができます。

設定する箇所： 「用紙」シート

詳細 活用マニュアル 4章「ヘッダー／フッター」

ウォーターマークを印刷する

使用するには： ウォーターマーク印刷

概要 137ページ

設定する箇所： 「用紙」シート

詳細 活用マニュアル 4章「ウォーターマーク印刷」

印刷の設定を登録する

使用するには： プリセットメニュー

印刷のきめ細かさや色調など、印刷の品質設定を登録できます。

設定する箇所： 「グラフィック」シート

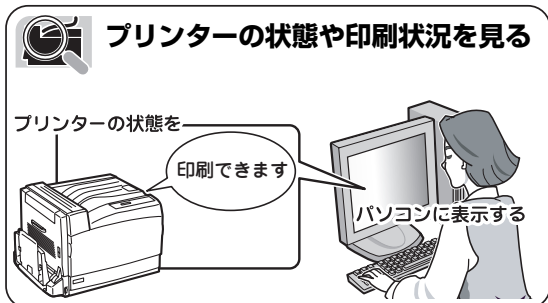
詳細 146ページ

パスワードを入力して印刷する

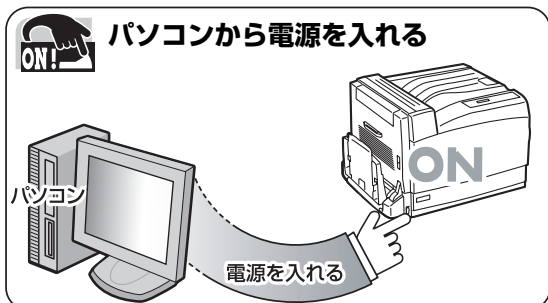
使用するには： 認証印刷

印刷した文書を第三者に見られないように、操作パネルでパスワードを入れることで印刷を開始します。

設定する箇所： 「オプション」シート

詳細 活用マニュアル 4章「認証印刷」

機能	使用するには	設定する箇所

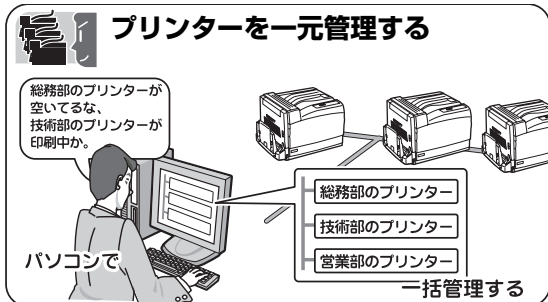
プリンターの状態や印刷状況を見る

プリンターの状態を
印刷できます
パソコンに表示する

使用するには：プリンタステータスウィンドウ

概要　139ページ

設定する箇所：PrintAgentツールバー

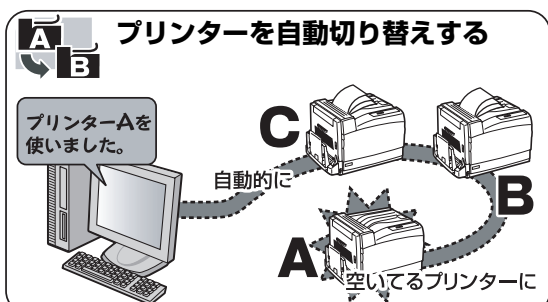
詳細　活用マニュアル
4章「プリンタステータスウィンドウ」

パソコンから電源を入れる

使用するには：リモート電源制御

オプションのLANアダプタを使って、パソコンからプリンターの電源を入れたり、切ったりすることができます。

設定する箇所：PrintAgentツールバー

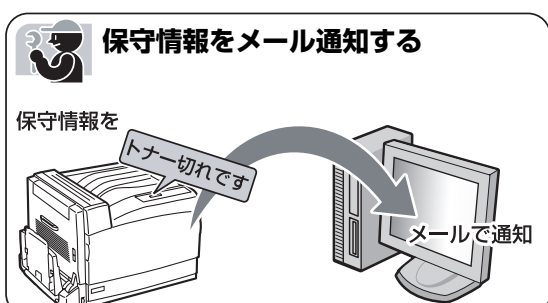
詳細　活用マニュアル
4章「リモート電源制御」

プリンターを一元管理する

使用するには：プリンタ管理ユーティリティ

管理者用としてソフトウエアをインストールしたパソコンから、ネットワーク内に接続されているプリンターを設定・管理することができます。

設定する箇所：PrintAgentツールバー

詳細　活用マニュアル
4章「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」

プリンターを自動切り替えする

使用するには：プリンターの自動切替

概要　140ページ

設定する箇所：PrintAgentツールバー

詳細　活用マニュアル
4章「プリンターの自動切り替え」

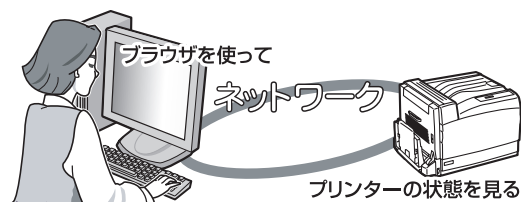
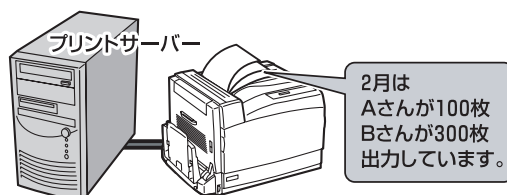
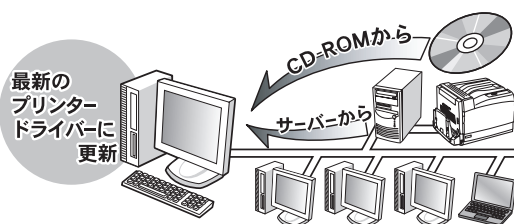
保守情報をメール通知する

使用するには：保守情報のメール通知

「消耗品確認」、「消耗品寿命」、「定期交換」の保守情報がメールで通知されます。

設定する箇所：PrintAgentツールバー

詳細　活用マニュアル
4章「保守情報のメール通知」

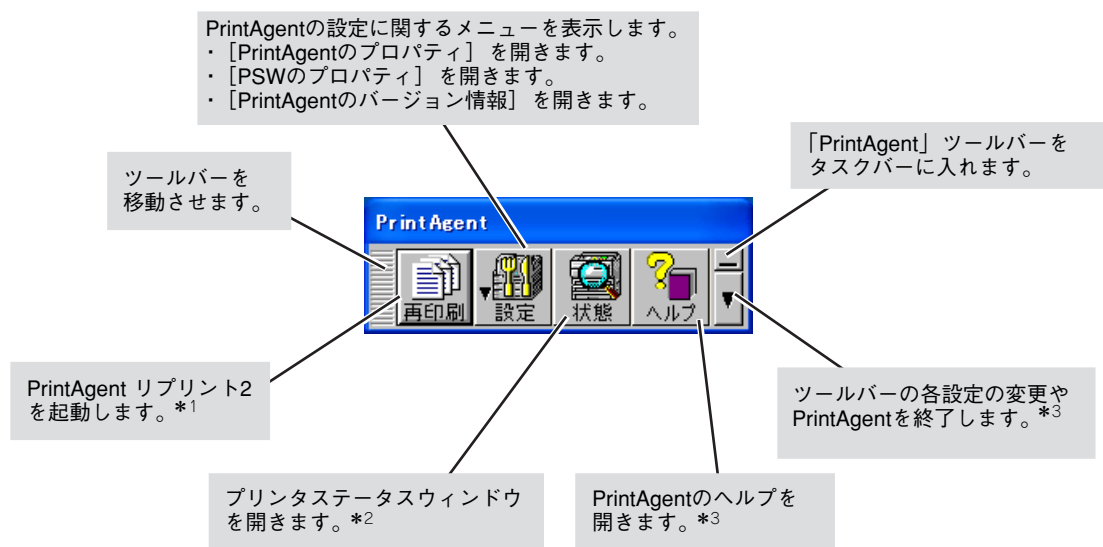
機能	使用するには	設定する箇所
ブラウザでプリンターの状況を見る	**Web PrintAgent** ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。	**PrintAgentツールバー** 詳細 活用マニュアル 4章「Web PrintAgent」
印刷履歴状況を出力する	**・印刷ログ出力** プリントサーバーで管理されているプリンターの印刷履歴を残すことができます。 **・プリンター利用情報通知** FTPサーバーに蓄積されたプリンター利用情報を集計することにより、管理者が各部門や個人の印刷量を管理するのに役立てられます。	**PrintAgentツールバー** 詳細 活用マニュアル 4章「印刷ログ出力」、「印刷利用情報通知」
プリンタードライバーをバージョンアップする	**MultiWriterドライバ配信機能** サーバーからネットワーク上のクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能です。これにより、プリンタードライバーを更新する手間を大幅に軽減します。	**MultiWriterドライバ配信** 詳細 活用マニュアル 4章「プリンタードライバーのバージョンアップ」

ブラウザを使って
ネットワーク
プリンターの状態を見る

「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーを使うためにはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールしてください。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左、または右クリックし、[ツールバーを表示] をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、活用マニュアル4章の「PrintAgent」ツールバーをご覧ください。

＊1　PrintAgent リプリント 2 がインストールされていない場合、［再印刷］ボタンは利用できません。
＊2　PrintAgent 対応プリンターのプリンタステータスウィンドウがインストールされていない場合、［状態］ボタンは利用できません。
＊3　ヘルプがインストールされていない場合、［ヘルプ］ボタンと［ツールバー設定］ボタンメニューの［ヘルプ］は利用できません。

リプリント

リプリント（再印刷）は、「PrintAgent リプリント2」を操作することで、一度印刷した文書を再印刷する機能です。

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされていて、［プリンタの状態］シートで「リプリント機能を使用する」にチェックをすることが必要です。（PrintAgentの追加については2章の「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）を参照してください）。これを使えば、「PrintAgent」ツールバーからPrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

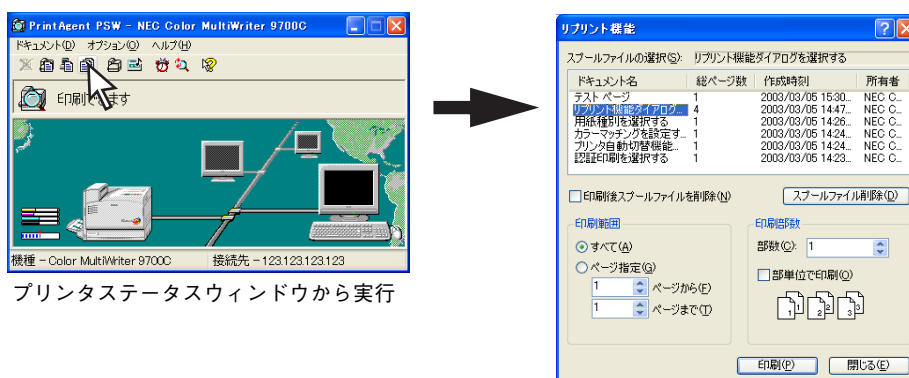
PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード　　　　：再印刷する文書に対して丁合い機能を選択して仕分け印刷する。
- ジョブ結合モード　：一度印刷された文書を結合し、一文書として再印刷する。（ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。）

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。

「PrintAgent」ツールバーから実行

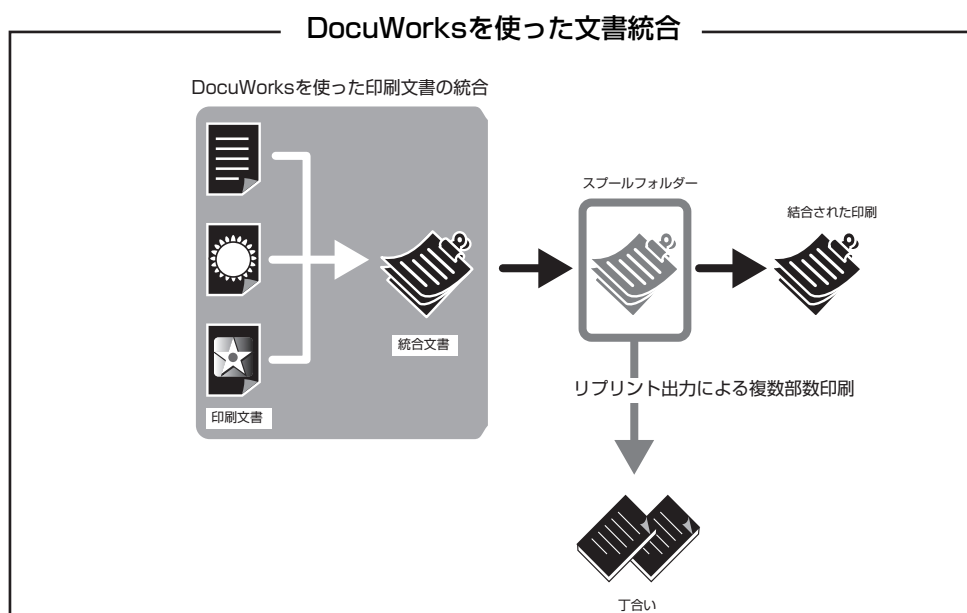
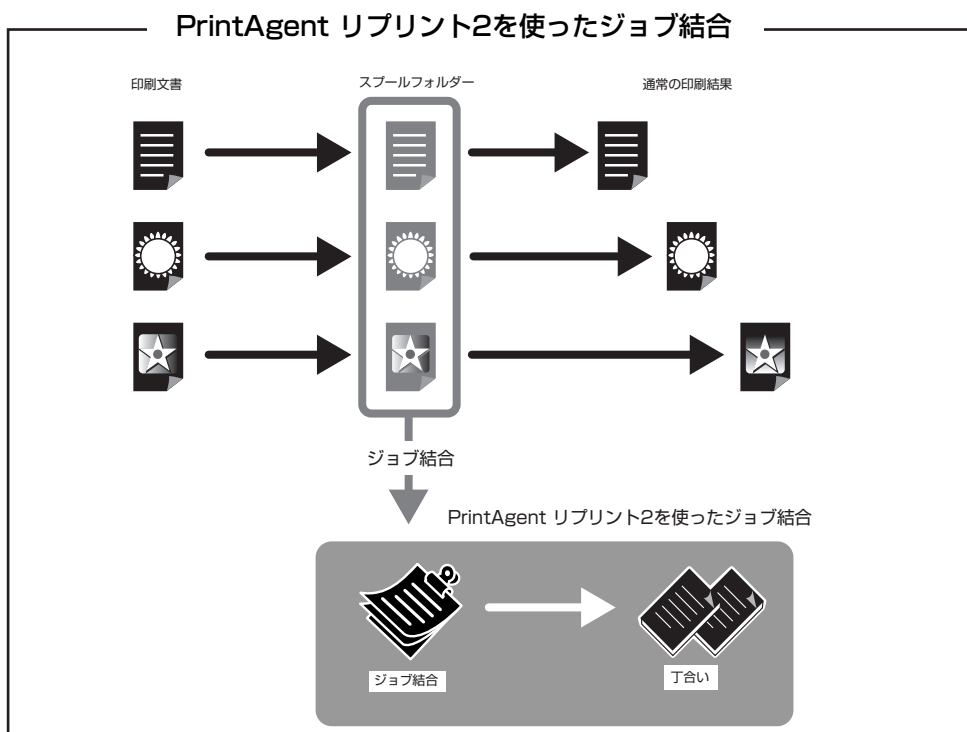
単に再印刷するだけなら、プリンタステータスウィンドウの［リプリント］ボタンをクリックすれば、［リプリント機能］ダイアログボックスが開き、リプリントが実行できます。＊

プリンタステータスウィンドウから実行

＊　両面印刷の設定はできません。

文書を結合する

文章を結合する方法は、次の2つがあります。

- 一度印刷した複数の文書を結合する（ジョブ結合）
- 異なるアプリケーションで作成した文書をページ単位に編集して統合する（文書統合）

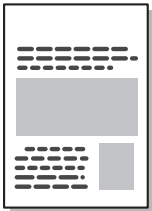
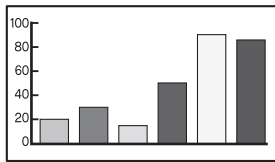
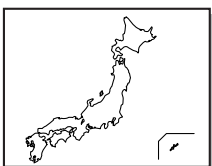
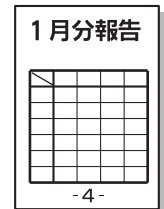
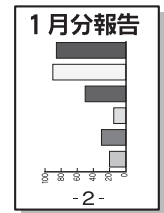
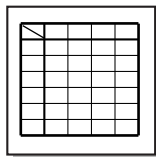
6
より進んだ使い方

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を自由に組み合わせ、選択した順番でひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しては丁合い出力による仕分け印刷ができます。

コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿は並び替えられ、しかもオリジナルでの出力（MOPYING）が可能です。
設定はPrintAgent リプリント2の［ジョブ結合］シートで行います。

文書統合（DocuWorks）

ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks Ver.5.0」は、文書作りをさらに便利にします。

PrintAgent リプリント2は一度印刷した文書を自由に組み合わせる機能ですが、DocuWorksはパソコン上の文書ファイルをページ単位で組み合わせるアプリケーションです。組み合わせる文書はアプリケーションの種類を問いません。文書の内容がわかっていれば、いちいちアプリケーションを立ち上げなくても希望のページを抜き出してページ単位で編集することができます。

仕分け印刷

本プリンターでは印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。

丁合い機能

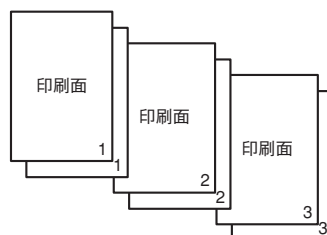
丁合い機能とは、部単位に印刷する機能です。本プリンターのプリンタードライバーは標準では丁合い機能が無効になっています。

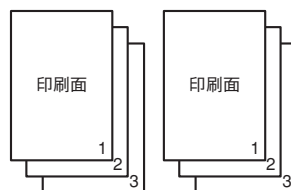
3ページからなる文書を2部印刷する場合を例に挙げて説明します。

排紙方法：フェイスダウン、またはフェイスアップ*（最終ページから）

- ［丁合印刷］を選択しない場合

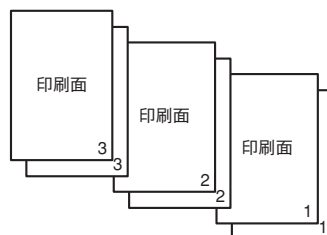
  印刷したいデータが複数ページ分ある場合には、右図のような順番で印刷された用紙が排出されます。

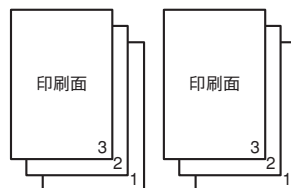
  フェイスアップの場合、最後のページから順にページの逆順で印刷された用紙が排出されていきます。すべてのページが印刷されると、右図のように最初のページが一番上になってフェイスアップトレイに排出された状態になります。

- ［丁合印刷］を選択した場合

  ［丁合印刷］をチェックすると部数ごとに印刷を行います。印刷する部数が多い場合は、丁合印刷を選択すると便利です。ただし、通常の印刷よりも印刷時間が長くなることがあります。

排紙方法：フェイスアップ*（先頭ページから）

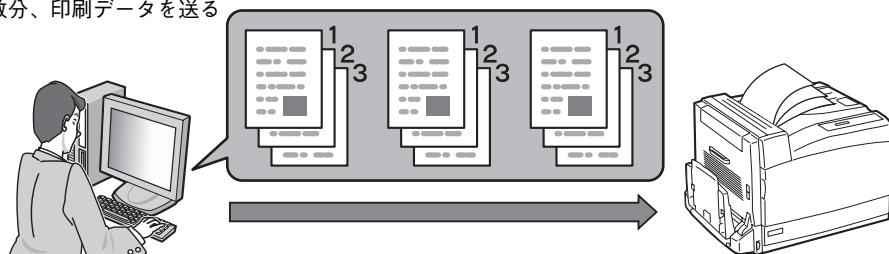
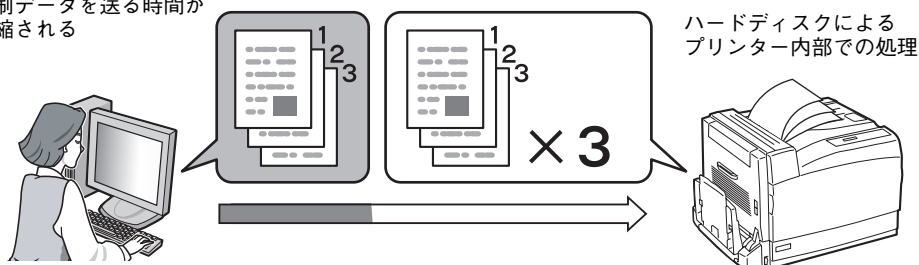
- ［丁合印刷］を選択しない場合 （通常）

  印刷したいデータが複数ページ分ある場合には、右図のような順番で印刷された用紙が排出されます。

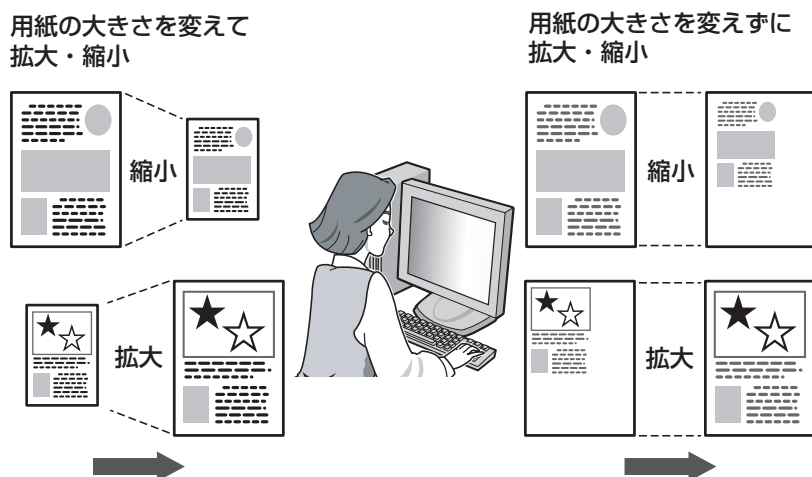
  最初のページが用紙に印刷されて排出されると、次のページが順次、その上に排出され、最後のページが一番上になって排出されることになります。

- ［丁合印刷］を選択した場合

  ［丁合印刷］をチェックすると部数ごとに印刷を行います。印刷する部数が多い場合は、丁合印刷を選択すると便利です。ただし、通常の印刷よりも印刷時間が長くなることがあります。

* フェイスアップ排出ユニットはオプションです。

電子ソート機能

電子ソート機能は、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能です。これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができます。また2部目以降は本プリンターの最高速度で印刷できます。丁合い機能と組み合わせてお使いになると、複数部数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。オプションのハードディスクをプリンターに取り付けることにより実現できる機能です。

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

電子ソート機能を使った丁合い印刷での印刷データの送り方

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。

用紙の大きさを変えて拡大・縮小..144ページ

アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。

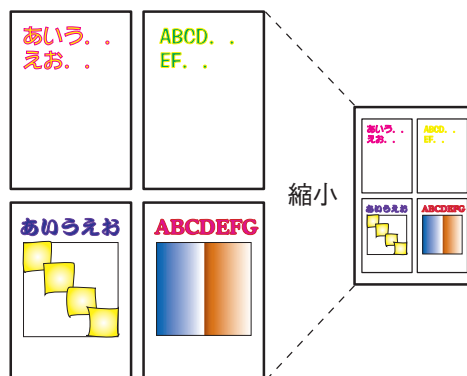
用紙の大きさを変えないで拡大・縮小..144ページ

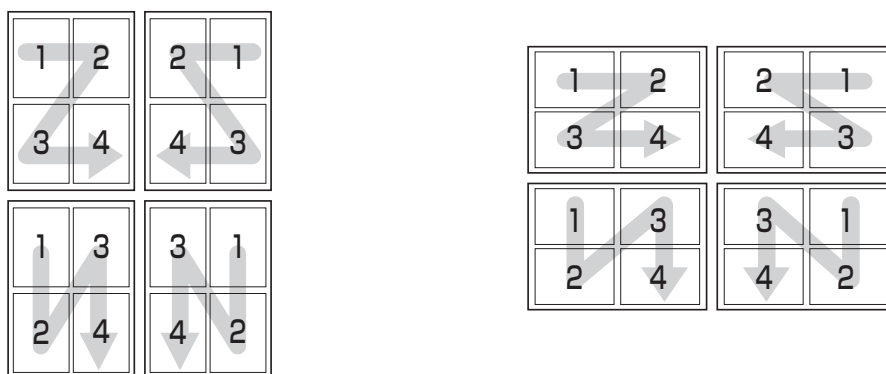
任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%〜400%の範囲で設定可能です。

前述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

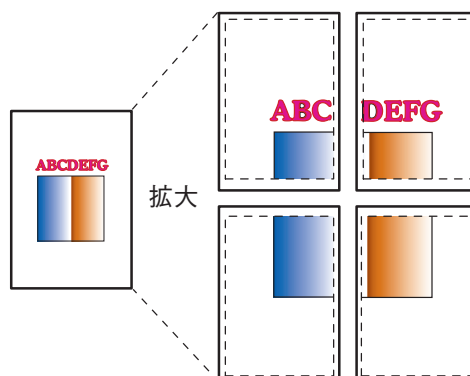
複数ページ印刷

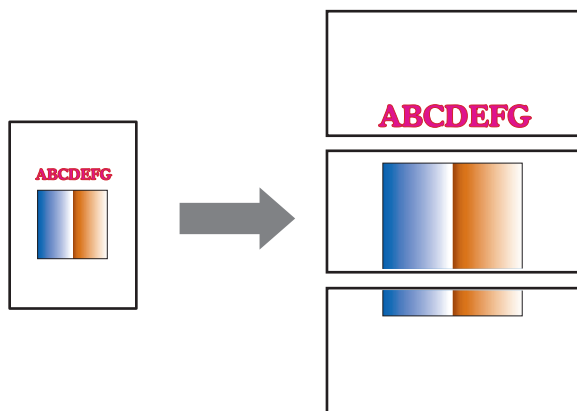
［レイアウト］を選択すると連続した複数ページのデータを1枚の用紙に縮小配置して印刷します。

［2アップ］、［4アップ］、［8アップ］ が選べます。右のイラストは ［4アップ］ を選択したときの例です。

ページ配置・ページレイアウト

以下のようなページレイアウトの順序や境界線の印刷が選択できます。

分割拡大印刷

［分割拡大印刷］ を選択すると1枚の印刷データを何枚かの用紙に拡大配置して印刷します。［2×2］、［3×3］、［4×4］ が選べます。以下のイラストは ［2×2］ を選択したときの例です。

また、さらに印刷ページの指定や境界線の印刷も選択できます。

長尺紙ポスター印刷

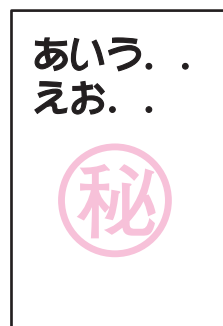
推奨長尺紙の用紙サイズの297mm×1,200mm、297mm×900mm用紙を使用して手軽にポスターを作成できます。

ウォーターマーク印刷

用紙のある部分に透かしのようなマークの形を印刷する機能です。
マークの種類、位置、角度、サイズ、濃度、色の設定ができます。

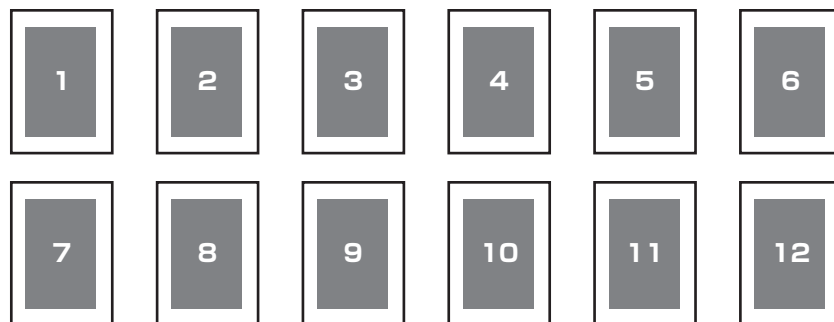
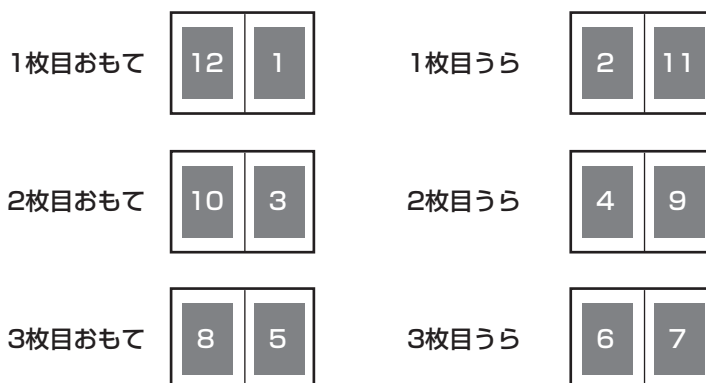
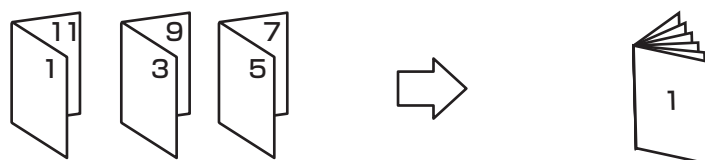
標準で登録されているウォーターマーク：

マル秘、お知らせ、コピー禁止、マル仮、回覧、至急、持出禁止、

社外秘、取扱注意、重要、CONFIDENTIAL、SECRET

この他、自分でマークを登録することができます。

- ウォーターマークに使用できるビットマップファイルは1bpp（bits per pixel）、4bpp、8bpp、24bppの非圧縮Windows DIB形式（拡張子：BMP）のファイルだけです。
- 登録できるウォーターマークは標準のウォーターマークを含めて50種類までです。また、ウォーターマーク名と印刷する文字列の長さは半角で32文字、全角で16文字までです。

製本印刷

2つ折りの本になるようにページを振り分けて印刷する機能です。2ページ分のデータを1ページに配置し、両面に印刷します。以下は12ページの文書を印刷したときの例です。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

* 音声は標準ではインストールされません。

通常プリンターが印刷を開始したり印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー＆ツールバー
送信中ドキュメントを中止したり、リプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

プリンター名
プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは「プリンタ」フォルダーで設定した名前です。

ステータス情報エリア
アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ビジュアル情報エリア
プリンターの構成、接続状態、印刷状況、障害の状況などを表示します。

バルーンメッセージ
プリンターの状態やエラー時の対処方法をより詳細に表示します。

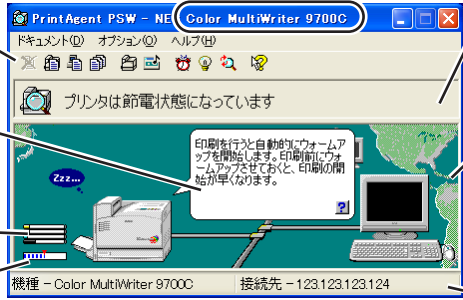
トナー残量表示

用紙残量表示

ステータスバー
プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。メニューを選択しているときはメニューの情報が表示されます。

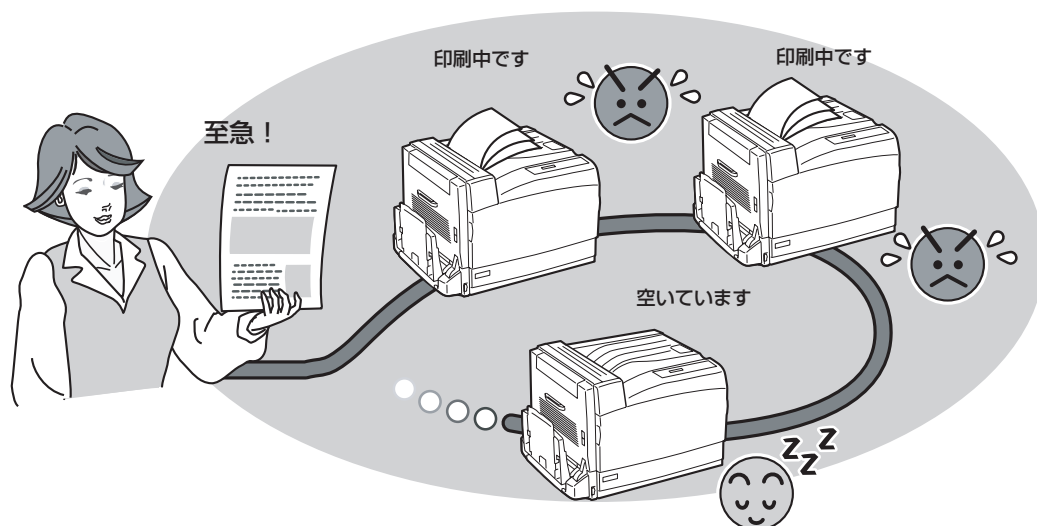
PrintAgent PSW － NE Color MultiWriter 9700C
ドキュメント(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
プリンタは節電状態になっています
印刷を行うと自動的にウォームアップを開始します。印刷前にウォームアップさせておくと、印刷の開始が早くなります。
Zzz...
機種 － Color MultiWriter 9700C　接続先 － 123.123.123.124

［ツールバー］

印刷中止ボタン
印刷詳細ボタン
送信詳細ボタン
リプリントボタン
構成情報ボタン
通知形式ボタン
ウォームアップボタン
電源をONにするボタン*2
最新のステータスに更新ボタン*1
ヘルプボタン

*1　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには活用マニュアル 4 章の「プリンタステータスウィンドウ」をご覧ください。

*2　プリンターがリモート電源制御対応 LAN アダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ表示されるアイコンです。

プリンターの自動切替

複数のColor MultiWriter 9700Cをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。使用条件は以下のとおりです。

使用条件

- プリンター管理者が複数のColor MultiWriter 9700Cをグループプリンタとして登録することが必要です。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- Color MultiWriter 9700Cをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

主な機能の設定方法

ここでは、主な機能の設定方法をWindows XP日本語版を例に取り、説明します。

丁合い機能

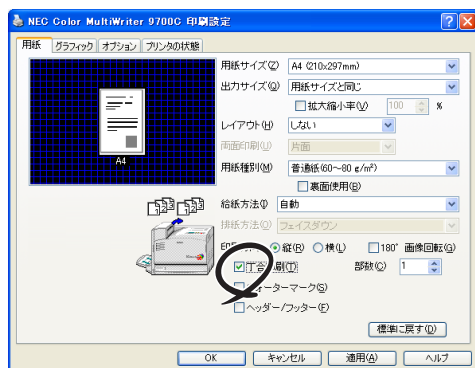
丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ）に印刷する機能です。オプションのハードディスクを取り付けて、この機能を使用することにより、電子ソート機能を使用して高速丁合い印刷を行うことができます。オプションのハードディスクを取り付けなくても丁合い印刷を行うことができますが、印刷速度は低下することがあります。

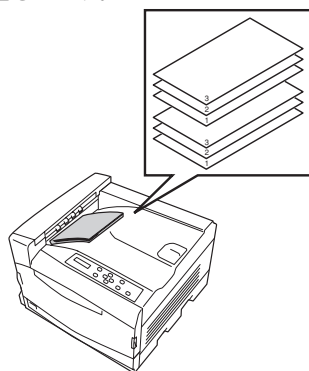
双方向通信に設定していて、PrintAgentをインストールしている場合、ハードディスクは自動的に検出されます。オプションのハードディスクを取り付けていて、双方向通信の設定をしていない場合には、［プリンタの構成］シートでハードディスク「あり」を選択してください。*

アプリケーションによっては、プリンターのプロパティから「丁合印刷」を選択しただけでは丁合い印刷が有効にならない場合があります。アプリケーションの印刷設定で「丁合い」、もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合は、アプリケーションの方で丁合印刷を指定してください。また、一部のアプリケーションにおいてはアプリケーション自身が丁合い処理を行うため、丁合い印刷を高速に行う「電子ソート」の機能が有効にならない場合があります。

❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ 丁合い機能を有効にする。

［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［丁合印刷］をチェックします。

❸ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

排出方法について

排出方法を変えると、それに合わせて丁合い印刷のアイコンが変化します。

＊　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、設定に管理者権限（Windows XPの場合は［コンピュータの管理者］）が必要です。

両面印刷・製本印刷

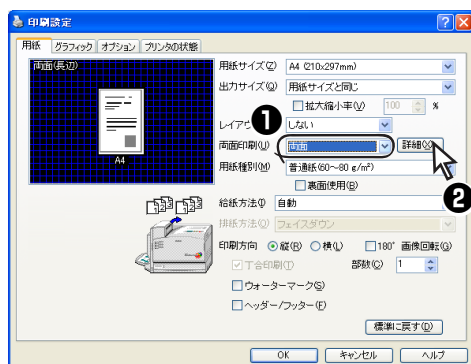
Color MultiWriter 9700Cはオプションの両面印刷ユニットを装着することにより、両面印刷が可能になります。この機能は、ユーザー定義、はがき、往復はがき、封筒以外の「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」を選択しているときに可能です。用紙に関しては付録の「使用できる用紙」(238ページ) を参照してください。

ただし、メモリーの容量、印刷品質、片面印刷／両面印刷の条件によっては印刷できない場合があります。詳細については、10章の「増設メモリー」(229ページ) をご覧ください。

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

両面印刷

❶ **両面印刷機能を有効にする。**

プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［両面印刷］で「両面」を選択します。

❷ **［詳細］をクリックする。**

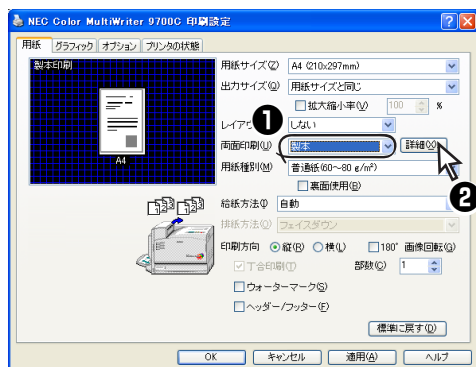
❸ **プレビューを見ながら必要に応じて、綴じ方向、印刷位置を設定する。**

❹ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

製本印刷

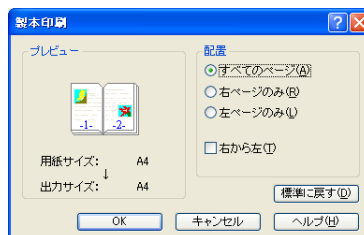
❶ **製本印刷機能を有効にする。**

プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［両面印刷］で「製本」を選択します。

❷ **［詳細］をクリックする。**

❸ **プレビューを見ながら必要に応じて製本したときの印刷面、印刷の順序を設定する。**

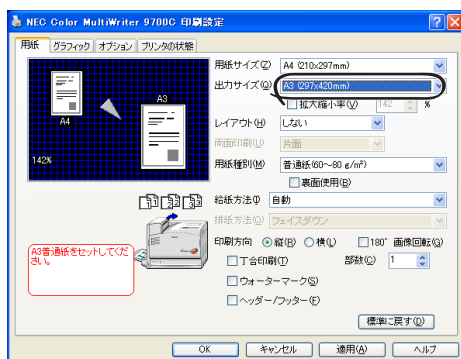
［右から左］をチェックするとページの送り方が右から左になり和書の製本形式に仕上がります。

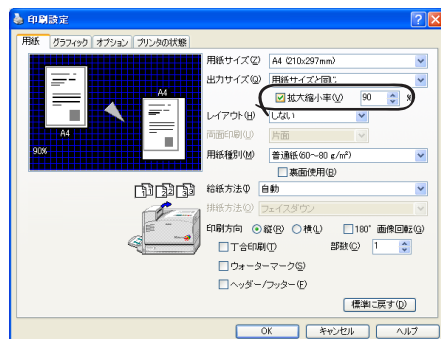
❹ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

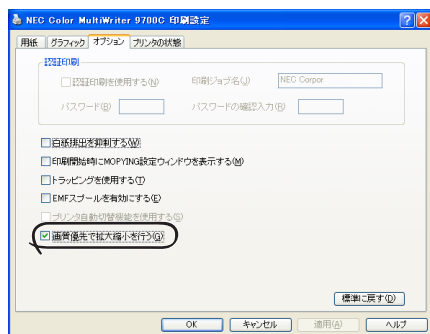
拡大・縮小印刷

❶ プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ 用紙サイズのリストボックスから原稿の用紙サイズを選択する。

❸ 出力サイズのリストボックスから印刷したい用紙のサイズを選択する。

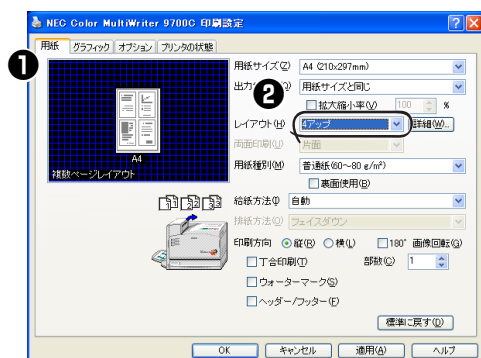
用紙サイズと出力サイズに対応した拡大縮小率が自動で計算されます。

❹ 用紙プレビューを確認して［OK］をクリックする。

❺ 拡大縮小率を手動で設定したい場合には、［拡大縮小率］のチェックボックスにチェックを入れて、希望の拡大縮小率を直接入力する。

❻ 用紙プレビューを確認して［OK］をクリックする。

拡大縮小時に文字などの印刷品質が気になる場合には、［オプション］シートの［画質優先で拡大縮小を行う］チェックボックスをチェックしてください。

複数ページ印刷

複数ページ印刷では縮小されて印刷されるため、ドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

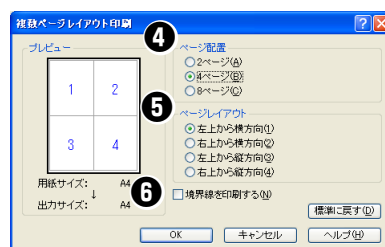
❶ **プロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［レイアウト］のリストボックスから１ページに配置したいページ数を選択する。**

左上から横方向レイアウトしたい場合（Z 型）はこのまま［OK］をクリックします。別のレイアウトにしたり、境界線を印刷したい場合は❸に進みます。

❸ **［詳細］をクリックする。**

❹ **［ページ配置］のページ数を確認（選択）する。**

❺ **［ページレイアウト］から配置方法を選択する。**

❻ **必要に応じて［境界線を印刷する］をチェックする。**

❼ **[OK]をクリックする。**

❽ **用紙プレビューを確認して[OK]をクリックする。**

プリセットメニュー

「プリセットメニュー」は設定内容を登録できる機能です。（13個まで追加登録することができます。）
ここではプリセットの登録と削除方法について説明します。

あらかじめ登録されているプリセットの内容は以下のとおりです。設定されている内容は左下の設定情報表示エリアに表示されます。

- 文書標準　：一般的な文書を高速に印刷する場合に適した設定です。
- 文書高画質：一般的な文書を高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 写真　　　：写真画像を多く含んだ文書を印刷する場合に適した設定です。
- 文書高精細：テキストやグラフィックを高品質で印刷する場合に適した設定です。
- 白黒文書　：カラー文書をモノクロモードで印刷するときの設定です。
- OHP　　　：プレゼンテーション資料などイラストを含んだデータをOHPに印刷する場合の設定です。

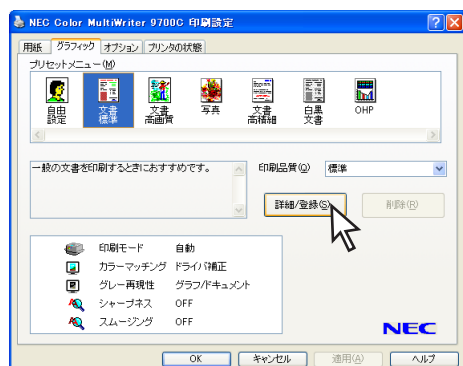
初期設定では［文書標準］が選択されています。写真画像が混在した文書を印刷する際に、写真の印刷品質を優先したい場合や、グラデーションをなめらかに印刷したい場合には、［写真］を選択してください。

プリセットの登録

❶ **プロパティダイアログボックスの［グラフィック］シートを開く。**

ベースにしたいプリセットがあればそのアイコンをクリックします。

❷ **［詳細/登録］をクリックする。**

［プリセット詳細/登録］ダイアログボックスが表示されます。

❸ **ダイアログボックス内の設定を変更し［プリセットへ登録］をクリックする。**

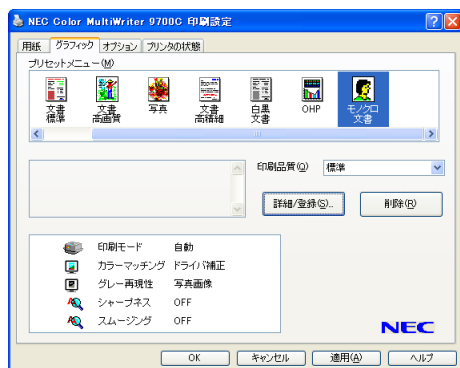
［プリセットへ登録］ダイアログボックスが表示されます。

設定内容の詳細については活用マニュアル3章の「カラー印刷の調整」を参照してください。

❹ **タイトルを入力し、任意のアイコンを選択する。**

タイトルは必ず入力してください。タイトルの入力文字数は半角で16文字（全角で8文字）までです。また、登録する設定の簡単な説明を半角で256文字（全角で128文字）まで［コメント］ボックスに入力することができます。

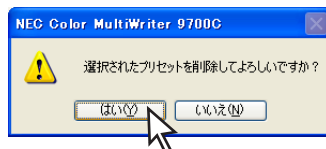
❺ **［OK］をクリックする。**

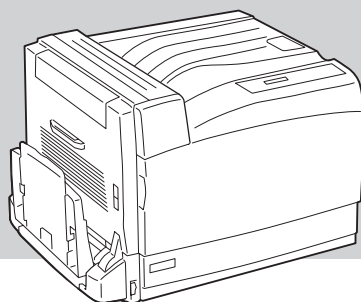
❻ **「プリセットメニュー」にユーザー設定のアイコンが追加されたことを確認する。**

ユーザー設定の削除

❶ **プロパティダイアログボックスの［グラフィック］シートを開く。**

❷ **削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。**

あらかじめ登録されているアイコンは削除できません。

❸ **［はい］をクリックする。**

❹ **「プリセットメニュー」のボックスからユーザー設定のアイコンが削除されたことを確認する。**

7章
日常の保守

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン ＊＊＊トナー”（＊＊＊は各色を表します）のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいトナーカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ ＊＊＊トナー”を表示して印刷が完全に停止します。

お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙でブラックは約7,500枚（大容量トナーカートリッジは約15,000枚）、シアン・マゼンタ・イエローは約6,000枚（大容量トナーカートリッジは約12,000枚）です。

```
76　ショウモウヒンカクニン
イエロートナー
```

```
85　ショウモウヒンジ゛ュミョウ
イエロートナー
```

✔チェック

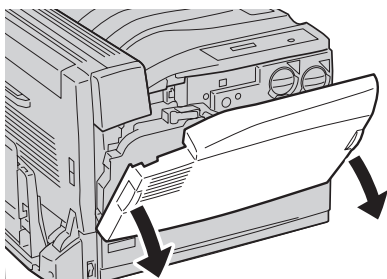
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が劣化しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 必ずNEC純正品を使用してください。 NEC純正品以外を使用するとプリンターが故障するおそれがあります。

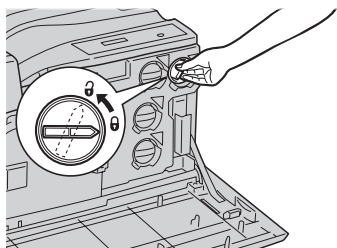
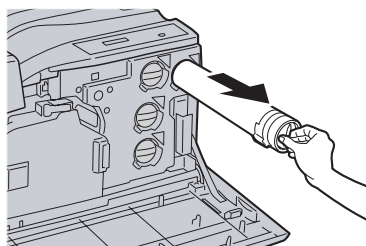
7 日常の保守

トナーカートリッジの交換手順

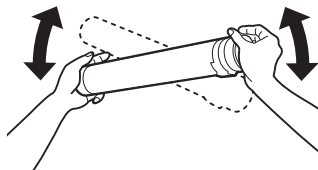
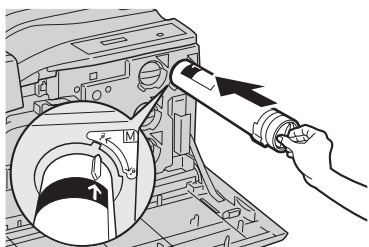
トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて、床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ 本プリンターが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける。

❷ メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、カギ印（ 印）の位置まで左方向に回す。

Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

❸ トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出す。

チェック

- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、回収を行っております。

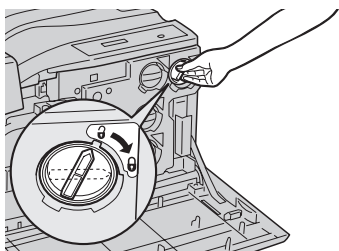
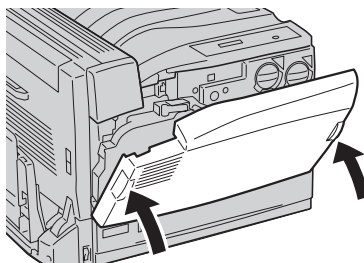
❹ 取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように、軽く3、4回上下左右によく振る。

❺ **トナーカートリッジの矢印をカギ印（🔓印）の位置に合わせて、奥に突き当たるまで差し込む。**

❻ **トナーカートリッジを、カギ印（🔒印）まで右方向に突き当たるまで回して固定する。**

✔チェック

トナーカートリッジは、正しい位置まで差し込まないと回りません。

❼ **フロントカバーを閉じる。**

印刷可能な状態になります。

7 日常の保守

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジの交換の目安

ドラムカートリッジの寿命残量が少なくなると操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン ドラムカートリッジ”のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいドラムカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ ドラムカートリッジ”を表示して印刷を停止します。ドラムカートリッジの交換と同時に、トナー回収カートリッジを交換してください。

ドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約30,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3ページずつ）の枚数です。印刷内容、用紙サイズ・種類、温度などの使用環境、本体の電源ON/OFF、間隔をあけた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入るため、実際の印刷可能枚数は少なくなります。例えば、1枚ずつ印刷する場合には、ドラムカートリッジの寿命は30,000枚より短くなります。また、A4より大きな用紙で印刷した場合もドラムカートリッジの寿命は短くなります。

76　ショウモウヒンカクニン
ト゛ラムカートリッジ

85　ショウモウヒンシ゛ュミョウ
ト゛ラムカートリッシ゛

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が劣化しますので、新しいドラムカートリッジを準備してください。
- 必ずNEC純正品をお使いください。NEC純正品以外を使用すると、プリンターが故障するおそれがあります。

重要

ドラムカートリッジの寿命時の動作について

本プリンターの初期設定においては、“85　ショウモウヒンジュミョウ　ドラムカートリッジ”表示時には、印刷が停止して、新しいドラムカートリッジと交換するまでは印刷ができなくなっています。

操作パネルより設定するメニューモードの［ウンヨウメニュー］から、［ドラムジュミョウドウサ］の設定を［コウカンマデマツ］（初期設定）から［スイッチデカイジョ］に変更する（109ページ参照）ことにより、動作が変化します。この場合、“85　ショウモウヒンジュミョウ　ドラムカートリッジ”表示時に、一度動作が停止しますが、［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができます。

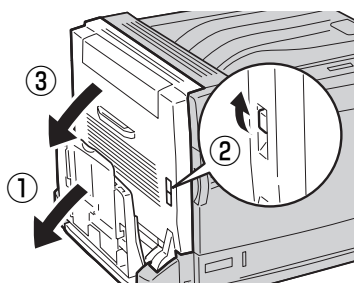
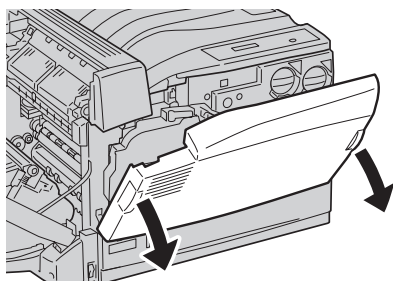
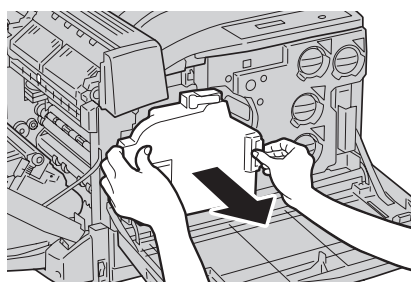
ただし、この場合には、印刷を続けることはできますが、印刷品質などは保証されませんので、早めにドラムカートリッジを新品のものと交換してください。なお、この場合、プリンタステータスウィンドウ（139ページ参照）、プリンタ管理ユーティリティ（活用マニュアル4章の「Print Agent プリンタ管理ユーティリティ」参照）、保守情報のメール通知（活用マニュアル4章の「保守情報のメール通知」参照）などについては、“76　ショウモウヒンカクニン　ドラムカートリッジ”と同様のステータスとなりますが、実際には寿命状態であり、品質は保証されるものではありません。

ドラムカートリッジの交換手順

✔チェック

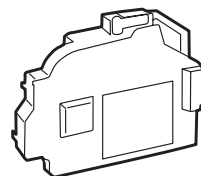
トナー回収カートリッジを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

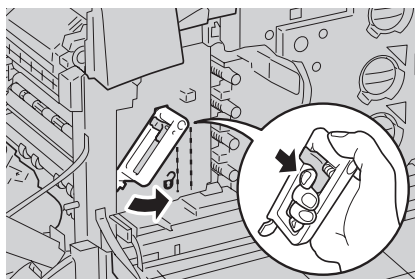
- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ 本プリンターが印刷中でないことを確認し、手差しトレーを下げ（①）、リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。

❷ フロントカバーを開ける。

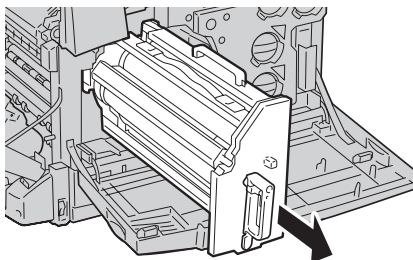
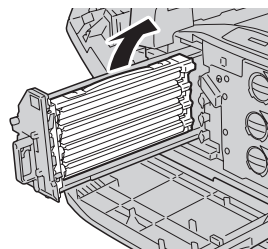
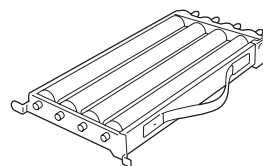
❸ トナー回収カートリッジを、図の位置を持って手前に引いて取り外す。

✔チェック

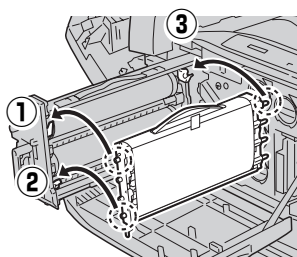
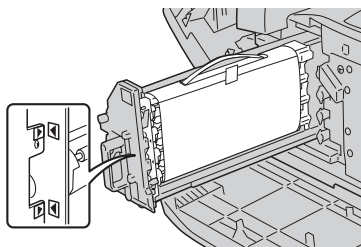
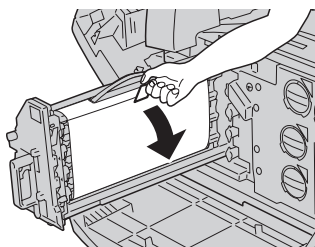
- 取り外したトナー回収カートリッジを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように図のように立てておいてください。

- 一度外したトナー回収カートリッジは、再使用できません。
- 使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っています。

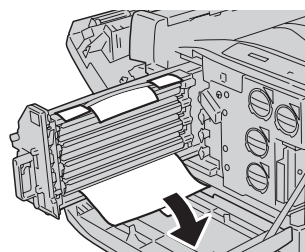
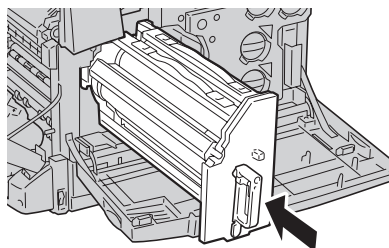
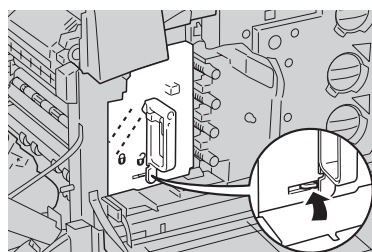
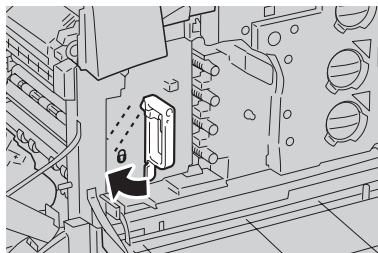
❹ ハンドルの内側のレバーを手前に引きながら、ハンドルをカギ印（🔓印）のガイドラインの位置まで回す。

レバーは引きにくいときは、ハンドルを少し左に持ち上げてからレバーを引いてください。

❺ 中間転写ユニットのハンドルを持って、ゆっくりと確実に止まるまで引き出す。

中間転写ユニットの転写ロールに触れないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。

❻ ドラムカートリッジの取っ手を持って、持ち上げるようにして取り外す。

- ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。
- ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、汚れ防止のため図のような向きで置いてください。

- 使用済みのドラムカートリッジは、回収を行っております。

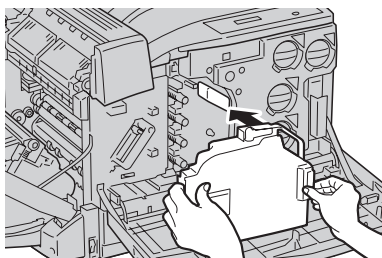
❼ 新しいドラムカートリッジを、梱包箱から取り出し、梱包材を取り除く。

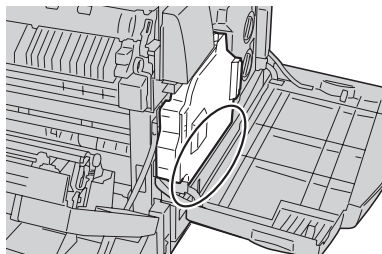
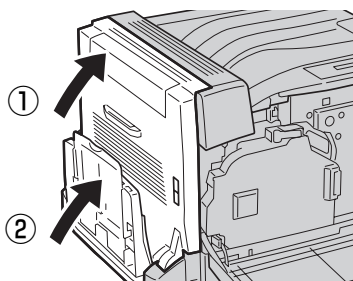
❽ 保護紙を付けたままドラムカートリッジの取っ手を持って、手前の突起（①、②）を載せてから、奥側の突起（③）を載せる。

❾ 中間転写ユニットの矢印とドラムカートリッジの2か所の矢印の位置が合っていることを確認する。

❿ ドラムカートリッジの保護紙のテープをはがす。

保護紙を外した後は、長い時間（3分以上）そのままにしたり、強い光を当てないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。

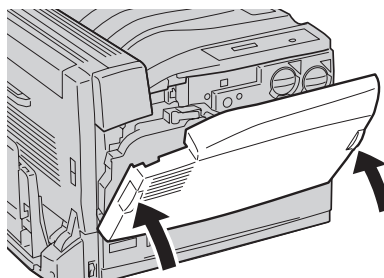
⓫ 保護紙を下方向に引き抜く。

⓬ 中間転写ユニットを、まっすぐゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む。

- 中間転写ユニットの転写ロールに触れないでください。ロール表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと印刷品質が低下します。
- 中間転写ユニットが正しい位置まで戻ると、図の突起も元に戻ります。

⓭ 中間転写ユニットのハンドルを、カギ印（🔒印）のガイドラインの位置まで回す。

チェック

- ハンドルが回りにくいときは、もう一度中間転写ユニットを引き出し、本プリンターの奥までしっかりと押し込んでください。
- ハンドルを正しい位置まで戻すと、ハンドルが固定されます。

⓮ ドラムカートリッジに添付されている新しいトナー回収カートリッジを袋から取り出す。

⓯ トナー回収カートリッジを、図の位置を持って取り付ける。

チェック

トナー回収カートリッジが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、操作パネルにメッセージが表示されたりします。図のようにトナー回収カートリッジは本プリンターのフレーム内に正しくセットしてください。

⓰ 左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。必要に応じて、手差しトレーを上げる（②）。

⓱ フロントカバーを閉じる。

印刷可能な状態になります。

トナー回収カートリッジの交換

トナー回収カートリッジの交換の目安

トナー回収カートリッジの交換時期が近くなると、操作パネルのディスプレイに“76　ショウモウヒンカクニン　トナーカイシュウカートリッジ”のメッセージが表示され、一度印刷が停止します。［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を続けることができますが、お早めに新しいトナー回収カートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けると“85　ショウモウヒンジュミョウ　トナーカイシュウカートリッジ”を表示して印刷を停止します。トナー回収カートリッジ交換の目安は約24,000ページです。ただし、これはA4用紙で各色5%の印刷密度の場合です。

```
76　ショウモウヒンカクニン
トナーカイシュウカートリッジ
```

```
85　ショウモウヒンジュミョウ
トナーカイシュウカートリッジ
```

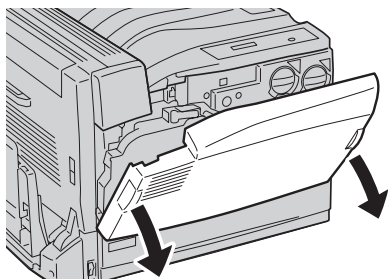
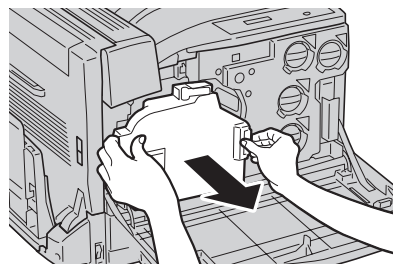
使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っております。

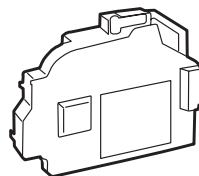
トナー回収カートリッジの交換手順

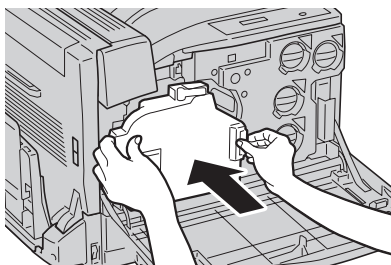
トナー回収カートリッジを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

警告

- トナー、トナー回収カートリッジ、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

1 本プリンターが印刷中でないことを確認し、フロントカバーを開ける。

2 トナー回収カートリッジを、図の位置を持って手前に引いて取り外す。

チェック

- 取り外したトナー回収カートリッジを傾けると、トナーがこぼれます。トナーがこぼれないように図のように立てておいてください。

- 一度外したトナー回収カートリッジは、再使用できません。
- 使用済みのトナー回収カートリッジは、回収を行っています。

3 新しいトナー回収カートリッジを袋から取り出す。

❹ トナー回収カートリッジを、図の位置を持って取り付ける。

トナー回収カートリッジが正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まらなかったり、操作パネルにメッセージが表示されたりします。図のようにトナー回収カートリッジは本プリンターのフレーム内に正しくセットしてください。

❺ フロントカバーを閉じる。

印刷可能な状態になります。

カラーレジの補正

カラーレジの補正は、プリンターを初めて設置したときや、移動などで再設置したときに行ってください。そのほかに次のような場合にカラーレジの補正を行うことお勧めします。

- ドラムカートリッジを交換したとき
- 印刷結果がぼやけて見えるとき

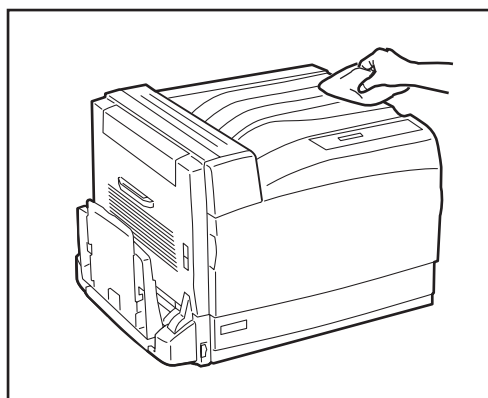
カラーレジの補正方法は1章の「9 カラーレジを補正する」(31ページ)を参照してください。

プリンターの清掃・点検

プリンターを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように約1か月に1回、清掃および点検を行ってください。

1. **プリンターの電源をOFFにする。**
2. **プリンターの表面を水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布でふく。**
3. **柔らかい乾いた布でふく。**

✔チェック

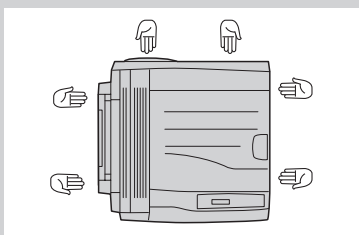
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンターは油をさす必要はありません。注油しないでください。

4. **以下の点検を行う。**
   - 電源プラグに異常な発熱、サビ、および曲がりなどはありませんか?
   - 電源プラグやコンセントに細かいほこりがついていませんか?
   - 電源コードに亀裂や擦り傷などがありませんか?
   - 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか?

点検を行って異常がある場合は、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧」に記載のサービス窓口までご連絡ください。

プリンターを輸送するとき

プリンターは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

⚠注意

- プリンターの質量は60kg（オプションを除く）です。必ず3人以上で持ち運んでください。なお、プリンターを持ち運ぶときは、必ずオプションの増設ホッパーをプリンターから取り外してください。
- プリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右と背面に向かって、左右両側、背面側の下方にある取っ手部を両手でしっかりと持ってください。それ以外の場所を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。

- プリンターを移動する場合は、プリンターを10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

❶ **電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

❷ **電源コードおよびインターフェースケーブルなどの、すべての接続コードを外す。**

⚠警告

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

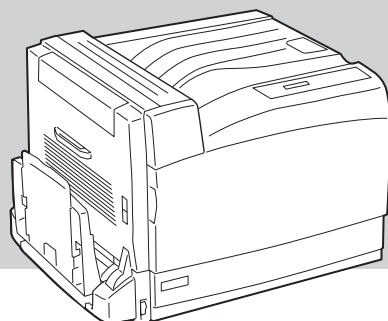
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

❸ **用紙カセットから用紙を取り出し、湿気やホコリがない場所に保管する。**

❹ **オプションのフェイスアップ排出ユニットが取り付けられている場合は、フェイスアップトレイを取り外す。**

❺ **オプションの増設ホッパーを取り付けている場合は、取り外す。****（222ページ参照）**

❻ **本プリンターを傷つけないように梱包し、輸送する。**

8章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。下記以外の症状については活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 用紙送りがおかしいときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- PrintAgentシステムが立ち上がらない/機能の一部が使用できないときは
- プリンタステータスウィンドウが正しく動作しないときは
- e-mailメンテナンスができないときは
- リプリントできないときは
- PrintAgentを正しく動作させるためには
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体および、消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」（Readme.txt）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またトナーカートリッジなどの消耗品の交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の165 ～194ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。
また、プリンターをお持ち込みいただくときは、7章の「プリンターを輸送するとき」（161ページ）や梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

次の表に、印刷できないときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
印刷可ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。 **節電モード2になっている。** →　節電解除スイッチを押してください。
頻繁に電源が切れる	**プリンターが故障している。** →　電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までご連絡ください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルが正しく選択されていない、または正しく接続されていない（印刷可ランプが点滅しない）。** →　活用マニュアル付録を参照して、プリンターケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページ、または排出コードがない（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示される）。** →　［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなった、または指定されたサイズの用紙がない（アラームランプ（赤）点灯）。プリンターの規格に合っていない。** →　「3章 用紙のセット」（81ページ）を参照して、用紙を補給してください。

症状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**アラームランプ（赤）が点灯している。** → 「アラーム表示が出ているときは」（168ページ）をご覧ください。 **「通常使うプリンタ」として選択されていない。** → 「通常使うプリンタ」として選択してください。 **データ送信中** → 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。もう少しお待ちください。さらに、多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 また他のインターフェースからのデータを処理しているため、その処理が終了するまで待たされることがあります。 **ドラムカートリッジがクリーニング動作を行っている。** → 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。 **定着器ユニットの温度を調整している。** → 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。 **プリンターが節電モードになっている。** → ウォームアップには最大で約30秒必要です。もうしばらくお待ちください。節電モードに移行する時間は最長120分まで変更できます。なお、節電モードに入らないようにすることはできません。 **印刷途中でメモリーやハードディスクの容量の不足を知らせるメッセージが表示され、印刷が中止される。また、何もメッセージが表示されないで印刷されずに終わってしまう。** → お使いのコンピューター上で動いているアプリケーションが使用しているメモリーの状況や印刷データが大きい場合など、プリンタードライバーが必要とするメモリーやハードディスク容量が得られない場合があります。このような場合、不要なアプリケーションを終了してください。 また、仮想メモリーサイズの変更やハードディスクの空き容量を増やすことで改善される場合があります。仮想メモリーのサイズを変更する場合は、お使いのWindowsのヘルプを参照してください。
手差しトレーから印刷ができない	**給紙方法が［自動］または［ホッパ］になっている。** → プリンタードライバーの給紙方法を［手差しトレー］に設定し直してください。 **手差しトレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** → ［手差しトレー］スイッチで用紙サイズを設定してください。（「4章 操作パネルについて」を参照）
プリンタードライバーの給紙方法を［手差しトレー］として印刷したのに「トレー　XX　セット」が表示される	**用紙をセットし直してください。** → 「手差しトレーから給紙する」（91ページ）を参照して用紙をセットし直してください。 **手差しトレーにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** → ［手差しトレー］スイッチで用紙サイズを設定してください。（「4章 操作パネルについて」を参照）
異常音がする	**プリンターが傾いています。** → 安定した水平な場所に設置してください。 **プリンター内部に用紙くずや異物があります。** → プリンター内部を点検し、取り除いてください。

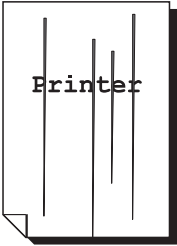
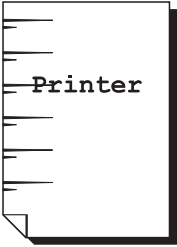
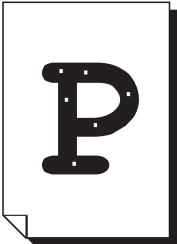
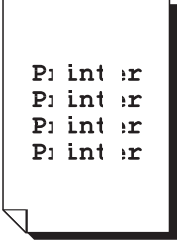
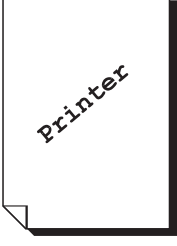
用紙送りがおかしいときは

次の表に、用紙送りがおかしいときの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
紙づまりがよく起きる 複数枚同時に引き込まれる 斜めに引き込まれる	**プリンターが傾いています。** →　安定した水平な場所に設置してください。 **用紙が薄すぎるか厚すぎます。** →　プリンターに適した用紙を使用してください。 **用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。** →　適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 **用紙に折り目やしわや反りがあります。** →　プリンターに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。 **裏面が印刷された用紙を使用しています。** →　本プリンター以外で印刷された用紙は使用できません。 **用紙がそろっていません。** →　用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。 **用紙カセットに用紙を1枚だけセットしています。** →　用紙は複数枚でセットしてください。 **用紙カセット、手差しトレーに用紙が入ったまま用紙を継ぎ足しています。** →　先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。 **用紙がまっすぐにセットされていません。** →　用紙カセットの用紙ガイドを用紙に合わせてください。 →　手差しトレーのサイドガイドを用紙に合わせてください。 **はがきや封筒などのセット方向が間違っています。** →　正しくセットしてください。 **封筒、ラベル紙、はがき、OHPを用紙カセットにセットしています。** →　封筒、ラベル紙、はがき、OHPは用紙カセットから印刷できません。手差しトレーにセットしてください。
用紙が送られない	**プリンタードライバーの[給紙方法]の選択が間違っています。** →　用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
つまった用紙を取り除いても復旧しない	**用紙を取り除くだけでは復旧しません。** →　左カバーを開閉してください。
用紙が丸まってしまう	**用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。** →　適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、アラームのランプが点滅し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ﾎｯﾊﾟ1　A4ﾖｺ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ ﾄﾚｰ　　A4ﾖｺ　ｾｯﾄ ﾌﾂｳｼ	**用紙がなくなった。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　表示されているサイズの用紙をホッパーまたは手差しトレーに補給してください。
72　ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ	**カバーが開いている。** →　下段に表示されているカバーをきちんと閉じてください。
73　ﾐｿｳﾁｬｸ ｲｴﾛｰﾄﾅｰ	**消耗品が取り付けられていない。** →　下段に表示されている消耗品を取り付けてください。
74　ｶﾐﾂﾞﾏﾘ ﾎﾝﾀｲﾊｲｼ　　　XXX	**紙づまりが発生している。** →　下段に表示されている箇所から、つまった用紙を取り除いてください（「紙づまりのときは」（194ページ）参照）。
75　ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ 　　　　　ﾎｯﾊﾟ1	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　下段右側に表示されているホッパー、または手差しトレーに指定サイズの用紙をセットして、［印刷可］スイッチを押してください。
76　ｼｮｳﾓｳﾋﾝｶｸﾆﾝ ｲｴﾛｰﾄﾅｰ	**消耗品の残量があとわずかです。** →　［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができます。目的の印刷が終了したら、下段に表示されている消耗品をすみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても、この表示は解除できません。
77　ﾃｲｷｺｳｶﾝ XXX	**定期保守(定期交換部品の交換)の必要な時期です。** →　販売店にお問い合わせください。 「XXX」は寿命になった定期交換部品を表します。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても、この表示は解除できません。
78　ﾊｲｼｽﾀｯｶﾌﾙ	**スタッカーに許容量以上の用紙が入っています。** →　スタッカーの用紙を取り除いて、［印刷可］スイッチを押してください。
79　ｷｭｼｲｼﾞｮｳ ﾎｯﾊﾟ2　ﾊ　ﾂｶｴﾏｾﾝ	**給紙機構部に異常が発生しました。** →　販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。下段に表示されている給紙口以外からは印刷可能です。電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
81 タイプ゜チガ゛イ ト゛ラムカートリッシ゛ コウカン	**消耗品が異常です。** → 下段に表示された消耗品を正しくセットしても解除できない場合には、消耗品を交換してください。
83 インサツフカ メモリヲソ゛ウセツシテクタ゛サイ	**メモリー不足のために印刷できない。** → メモリーを増設してください。または印刷品質を変更してください。
84 フォーム オーハ゛ー	**フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。** → [印刷可] スイッチを押してください。フォームデータが読み捨てられます。メモリーの増設により、フォーム登録用メモリーが増加します。
85 ショウモウヒンシ゛ュミョウ イエロートナー	**消耗品が寿命に達した。** → 下段に表示されている消耗品を交換するまで印刷できません。ただし、設定により印刷を継続できます。(ドラムカートリッジ：152ページ参照、トナーカートリッジ：206ページ参照)
87 セツソ゛クエラー インタフェース3	**インターフェース3のボードが異常です。** → 装着したオプションが本プリンターでサポートされているか確認してください。または電源投入後に無線LANボードのカードを抜かないでください。
88 OHPセットエラー タタ゛シクセットシテクタ゛サイ	**使用できないOHPフィルムがセットされている。** → 正しいOHPフィルムをセットしてください。 **OHP以外の用紙が大きく斜行して給紙された。** → 縦横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。「3章 用紙のセット」(81ページ) を参照してセットし直してください。
89 ヨウシサ゛ンリョウカクニン ホッハ゜1 ヨウシサ゛ンリョウ	**用紙が残り少なくなりました。** → 下段に表示されているホッパーに用紙を補給してください。
91 ヨウシシュヘ゛ツフイッチ ホッハ゜ フツウシセット	**プリンタードライバーで指定された用紙種別とメニューで設定されている用紙種別が一致していません。** → 表示されているホッパーに表示されている用紙をセットし、印刷可スイッチを押してください。詳細については「用紙種別の設定」(85ページ) を参照してください。
ホッハ゜1 インサツフカヨウシ	**このプリンターではサポートされていない用紙がセットされました。** → 表示されているホッパーまたは手差しトレーから用紙を取り除いてください。
ホッハ゜1 A4 セットチガ゛イ	**用紙のセット方向（縦/横）が間違っています。** → 表示されているホッパーに表示されている用紙を取り除いて正しい方向に再セットしてください。
15 コール15	**メモリーの異常です。** → 電源をOFFにして、メモリーを取り付け直してください。(10章の「増設メモリー」(229ページ) を参照) それでもアラームが表示される場合はプリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
46 コール46	**画質調整センサーの異常です。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、再度電源をOFFにしてもう一度ONにしてください。これを数回繰り返してもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
52 コール52	**増設ホッパーの接続不良です。** → 増設ホッパーを設置し直してください。それでもアラームが表示される場合はプリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
表記以外の表示	**障害が発生しています。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、上記以外のアラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止するようにしてください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
印刷がうすい （かすれる、不鮮明） Printer	**用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。** →　新しいトナーカートリッジと交換してください。
色点が印刷される Printer	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
色線が印刷される Printer	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
等間隔に汚れが起きる Printer	**用紙搬送路に汚れが付着しています。** →　数枚印刷してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
色でぬりつぶされた部分に白点が現れる	**使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる Printer	**用紙カセットにセットした用紙とプリンタードライバーで設定した[用紙種別]が合っていません。** →　用紙カセットにセットした用紙に適する［用紙種別］をプリンタードライバーで設定してください（3章の「用紙種別の設定」（85ページ）参照）。 **用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。
用紙全体がぬりつぶされて印刷される	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **高圧電源の故障が考えられます。** →　お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧」に記載の『サービス窓口』と記載されているサービス窓口へ連絡してください。
何も印刷されない	**一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。** →　用紙をよくさばいてからセットし直してください。 **ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
白抜けや白筋が出る	**用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。 **使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **高圧電源の故障が考えられます。** →　お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧」に記載の『サービス窓口』と記載されているサービス窓口へ連絡してください。
用紙にシワが付く 文字がにじむ	**使用している用紙が適切ではありません。** →　適切な用紙をセットしてください。 **用紙の継ぎ足しをしています。** →　用紙カセットや手差しトレーにセットしてある用紙を使いきる前に、用紙を継ぎ足すと起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。 **用紙が湿気を含んでいます。** →　新しい用紙と交換してください。
縦長に白抜けする	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。** →　新しいドラムカートリッジと交換してください。 **トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。** →　新しいトナーカートリッジと交換してください。
斜めに印刷される	**用紙カセットの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。** →　縦横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。

症　状	原因と処理方法
全体がうっすらと印刷される	**手差しトレーを使用して印刷した場合で、プリンタードライバーで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なります。または、一度に複数枚の用紙が搬送されています。** →　手差しトレーに、正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。 **トナーセーブモードになっていませんか。** →　プリンタードライバーの［グラフィック］シートの［印刷品質］を［トナーセーブ］以外に設定してください。
離れた位置にうっすらと影が印刷される	**クリーニング機能が自動で働かない。** →　メニューモードにある［クリーニング1］を行ってください。 **用紙種別の選択が最適でない。** →　「厚紙」、「ごく厚紙」を使用した場合に、この症状が現れるときは、次のように用紙種別の設定を変更してください。 ●「厚紙」→「コート紙1」 ●「ごく厚紙」→「コート紙2」
OHPフィルムにきれいに印刷されない	**適切なOHPフィルムを使用していますか。** →　本プリンターで使用できるOHPフィルムは、PR-L9200C-TPです。白い枠付きのOHPフィルム、カラー用OHPフィルムは、使用できません。 **用紙種別を［OHP］に設定していますか。** →　プリンタードライバーのプロパティで、用紙の種別を［OHP］に設定してください。
はがきにきれいに印刷されない	**適切なはがきを使用していますか。** →　使用できるはがきをセットしてください。 **手動両面で印刷していますか。** →　はじめに本文面を印刷し、その後で宛名面を印刷すると、よりきれいに印刷できます。
カラーの文字がかすれたように印刷される	**中間色を表現するために網点を使用しているためです。** →　プリンターの故障ではありません。濃い目の色を使用するかゴシックなどの太めの字体を使用してください。
カラーの細い線が点線のように印刷される	**中間色を表現するために網点を使用しているためです。** →　濃い目の色を使用するかゴシックなどの太めの字体を使用してください。 →　［グラフィック］シートにある［印刷品質］を「標準」から「高画質」または「高精細」モードにしてください。
封筒にきれいに印刷されない	**適切なサイズの封筒を使用していますか。** →　本プリンターで使用できる封筒のサイズは、洋形4号です。使用できる封筒をセットしてください。
きれいに印刷されない	**プリンタードライバーで、トナーセーブ機能や、解像度を低く設定していませんか。** →　プリンタードライバーの［グラフィック］シートで、設定を変更してください。

思うように印刷できないときは

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンターまたはアプリケーションの設定を変更すれば、ほとんどの場合は改善できます。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と処理方法</th></tr>
<tr><td>正常に印刷できない</td><td>他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。
→　プリンタードライバーによっては利用先のポート（LPT1:、COM1:など）に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。

お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定が異なる。
→　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのセントロ設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>斜線の太さが均一でない
（線の角度によって線の太さが違っている）
写真などの絵やグラデーションがおかしい</td><td>トナーセーブモードになっていませんか。
→　プリンタードライバーの［グラフィック］シートの［印刷品質］を［トナーセーブ］以外に設定してください。

トナーセーブとはトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。</td></tr>
<tr><td>印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない</td><td>アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。
→　アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウエアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。

プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。
→　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。
A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。

使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。
→　付録の「使用できる用紙」（238ページ）を参照して、確認してください。
Color MultiWriter 9700Cのようなページプリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のページプリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。

以前使用していたプリンターとColor MultiWriter 9700Cとの間に印刷位置の互換性がない。
→　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。</td></tr>
</table>

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません（NPDL時）。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている（NPDL時）。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている（NPDL時）。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリッピング機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。クリッピング機能を使用するには、プリンターの操作パネルのメニューの「リョウメンインサツメニュー」から、クリップの設定をONにしてください。（4章の「メニューツリー」（108ページ）および活用マニュアル2章の「両面印刷メニュー」を参照） **一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合があります。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合があります（NPDL時）。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。

症　状	原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 5 6 1 2 3 4 E F A B C D e f a b c d 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なってる。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンター、またはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがあります。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　2章の「プリンターソフトウエアの動作環境」（53ページ）を参照してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切替器を使用している。** →　プリンターバッファーや切替器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモード、またはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。
プリンタードライバーで指定したホッパーから印刷できない	**プリンタードライバーの指定と、操作パネルの設定が合っていない。** →　プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定とプリンタードライバーの設定があっているか確認してください。プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定が自動（初期設定）の状態で、プリンタードライバーで定形外用紙以外を指定してください。定形外用紙を使用する場合、プリンターの操作パネルのメニューで、該当ホッパーの用紙サイズ設定を「テイケイガイコテイ」に設定し、プリンタードライバーで定形外用紙を選択してください。

症　状	原因と処理方法
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモード、メモリースイッチが合っていない。** →　設定し直してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　自動両面印刷は「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」のA3、A4、B4、B5、A5、レターでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **手差しトレーの用紙種別を「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」以外に設定している。** →　手差しトレーから両面印刷を行う場合、用紙種別を「普通紙」、「再生紙」、「やや厚紙」に設定してください。 **手差しトレーの定形外用紙がONになっている。** →　メニューモードで定形外用紙をOFFにしてください。 **メモリーが足りない。** →　A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要な場合があります。10章 の「増設メモリー」（229ページ）をご覧になり、メモリーを増設してください。 **両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。** →　両面印刷ユニットの取り付けが正しく行われているか確認してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切替器などを介して印刷している。** →　切替器などを介さずにプリンターを接続してください。 →　イーサネットコネクター接続に変更してください。
思ったような色で印刷されない	**トナーが残り少なくなっている。** →　トナーカートリッジを交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「使用できる用紙」（238 ページ）を参照して正しい用紙をセットしてください。 **用紙種別が正しく設定されていない。** →　4章の「メニューモード」（107ページ）を参照して、用紙種別を正しく設定してください。 **カラーの調整が適切でない。** →　[プリセット詳細/登録] ダイアログボックスの設定を見直してください。詳細は活用マニュアル3章の「カラー印刷の調整」を参照してください。
ウォーターマークやヘッダー /フッターがきれいに印刷できない	**ウォーターマークやヘッダー /フッターの色と文書の色が混合されて印刷される。** →　ウォーターマークやヘッダー /フッターと文書の色が重ならないようウォーターマークやヘッダー /フッターのサイズ、位置を調整してください。
「リレー給紙」設定をONにしてもリレー給紙されない	**用紙種別の設定が正しくない。** →　4章の「メニューモード」（107ページ）を参照して、用紙種別の設定を行ってください。リレー給紙は用紙サイズ、用紙種別両方の設定が同じホッパー /手差しトレーでのみ動作します。ただし用紙種別が「指定しない」の設定ではリレー給紙は行われません。

症　状	原因と処理方法
プリンターの構成が自動取得されない	**［プリンタの状態］シートでプリンターの情報が自動取得されない。** →　［プリンタの状態］シートでプリンターの状態を自動取得するにはPrintAgentがインストールされている必要があります。また、ネットワーク共有プリンターを使用する場合は、サーバー・クライアントの両方にPrintAgentがインストールされている必要があります。［プリンタの状態］シートに情報が表示されていない場合、［最新の状態に更新］をクリックすると、情報が表示される場合があります。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（191ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（191ページ）を参照してください。 **OSがMicrosoft Windowsのターミナルサービスのコンピューターで印刷している。** →　本章の「その他の注意事項」（192ページ）を参照してください。
製本印刷ができない フェイスアップ*（最終ページから）を指定すると印刷できない 丁合い印刷ができない	**Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0を使用し、ハードディスクをNTFS形式でフォーマットしている。** →　Windows ディレクトリーのあるハードディスクドライブを NTFS 形式でフォーマットしている場合で、Windowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられている場合、添付CD-ROMの¥TEMPSetフォルダーに格納されている TEMPSet ユーティリティーによる設定を行う必要があります。 特に、Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionをNTFSでご使用になられている場合、デフォルトでWindowsディレクトリーにアクセス制限が掛けられているため、TEMPSetユーティリティーによる設定が必須となります。詳細については、添付CD-ROMの¥TEMPSetフォルダーのreadme.txtをご参照ください。 **コンピューターのハードディスクの空き容量が少ない** →　プリンタードライバーは文書データを一時的にコンピューターのハードディスクに書き出す場合があり、ハードディスクの空き容量が少ないと、印刷できないことがあります。Windowsディレクトリーのあるハードディスクドライブの空き容量を増やして印刷を行ってください。

*　フェイスアップ排出ユニットはオプションです。

PrintAgentシステムが立ち上がらない/機能の一部が使用できないときは

症　状	原因と処理方法
タスクバーのトレイに［PrintAgent］アイコンが表示されていない	**PrintAgentシステムが自動的に起動する設定になっていない。** →　［PrintAgent のプロパティ］ダイアログボックスで［システムを自動的に起動する］をチェックしてください。Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0は次回ログオン時から自動的に起動します。 **PrintAgentシステムを終了している。** →　［スタート］-［プログラム］*-［Color MultiWriter 9700C］-［PrintAgentシステム起動］を実行してください。 **PrintAgentをアンインストールした、またはPrintAgentのインストールに失敗した。** →　「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）を参照してPrintAgentをインストールしてください。
PrintAgentの機能が一部使用できない	**MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールした。** →　PrintAgent対応機種が複数インストールしている場合、MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールすると他のPrintAgent対応機種のPrintAgentが使用できなくなります。次の手順を行ってください。 ① 他の機種のPrintAgentをアンインストールする。 ② MultiWriter 2000X/2200XのPrintAgentをアンインストールする。 ③ 必要な機種のPrintAgentをインストールする。 **PrintAgentをアンインストールせずにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードした。** →　PrintAgentをそのままにしてOSをアップグレードしてもPrintAgentが正しく動作しないことがあります。すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合は「PrintAgent Eraser」を使用して、いったんプリンターソフトウエアを削除してから再インストールしてください。詳細は「PrintAgentを正しく動作させるためには」（188ページ）を参照してください。 **双方向通信機能が無効になっている。** →　双方向通信機能が無効になっているとプリンタステータスウィンドウなどの機能が使用できません。各OSのプロパティダイアログボックスで設定を有効にしてください。 ＜Windows Me＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows 98、Windows 95＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

*　Windows XP、Windows Server 2003は［すべてのプログラム］

症　状	原因と処理方法
PrintAgentの機能が一部使用できない（続き）	**ネットワークの設定を変更した。** →　PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPのみです。またネットワーク環境でColor MultiWriter 9700Cを共有プリンターとしてお使いになる場合は次のソフトウエアを組み込んでおく必要があります。各OSのマニュアルまたはヘルプを参照してネットワークの環境を設定してください。 ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［Microsoft ネットワーク共有サービス］ ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］ ＜Windows NT 4.0＞ ［サーバ］ **プリンターとコンピューターとの接続が適切でない。** →　プリンターとコンピューターとの接続は当社指定のケーブルをご利用ください（詳細は活用マニュアルの「付録」を参照）。 指定以外のケーブルを使ったり市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器などを使用するとPrintAgentの機能が正常に動作しないことがあります。 **コンピューターの処理能力が十分でない。** →　コンピューターの性能があまり高くないと PrintAgent のご利用により他の作業の処理速度に影響することがあります。その場合はコンピューターのメモリーを増設するかプリンターをローカルに接続してご利用になることをお勧めします。
Web PrintAgentがうまく動作しない	**適切なブラウザーソフトウエアで表示していない。** →　Web PrintAgentの動作を保証しているのはMicrosoft Internet Explorer 3.0以上またはNetscape Navigator 3.0以上です。 **プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentがインストールされていない。** →　Web PrintAgentをインストールできるのはプリンター管理者だけです。活用マニュアル 4章の「プリンター管理者向けインストール」を参照して、Web PrintAgentをインストールしてください。 **ブラウザーの設定で、JavaScriptが有効になっていない。** →　JavaScriptを有効にする、もしくはスクリプトを有効にしてください。
印刷ログ出力ができない	**PrintAgentのプロパティが正しく設定されていない。** →　［PrintAgentのプロパティ］の［LANボード使用時のPSW表示］で［印刷終了まで表示］をチェックしてください。 **プリントサーバーが印刷ログ機能を利用できない。** →　印刷ログ機能を利用できるOSはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0です。

プリンタステータスウィンドウが正しく動作しないときは

次の表にプリンタステータスウィンドウが正しく動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC Color MultiWriter 9700C」のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよびプリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **パラレルポートの設定が正しくない。** →　コンピューターのパラレルポートの設定を変更してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピュータをプリントサーバーとしてクライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が［Guest］となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **最新のステータスを取得していない。** →　プリンタステータスウインドウの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができずプリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続き）	**プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　＜Windows Me＞ [詳細]シートの[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 ＜Windows 98、Windows 95＞ [詳細]シートの[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選んでください。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 **節電モード2による節電中である。** →　節電モード 2 を解除してください。操作パネルの［節電解除］ボタンを押すか、印刷データを送信すると解除できます。 **プリンターが直接つながっているコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンターの［プリンタのプロパティ］-［ポート］-［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。 **お使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのセントロ設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（193ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準設定では音声はインストールされません。「アプリケーションの追加と削除」で音声を選択してインストールしてください。 **音声を通知しない設定となっている。** →　［通知形式のプロパティ］の設定を確認してください。 **[PSWのプロパティ]の[自分のドキュメントを印刷していないときの設定]が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンドの設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対して、削除はできません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSをログオフ→ログオンしてください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない／自動起動してしまう	**［PSWのプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。 **LANプリンターに直接接続して使用している。** →　LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は［PSWのプロパティ］で［自分のドキュメントを印刷していないとき］の起動条件として［印刷中にアイコンで自動起動する］を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただしこの場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示が実際の構成と食い違っている	**プリンターが、双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファー等を経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことができません。双方向通信できない時は、初期状態として、最大構成が入っています。この場合の構成は、プリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できていない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により正しくプリンターの情報がとれなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

e-mailメンテナンスができないときは

e-mailメンテナンスがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
メール送信されない	**メールサーバー名が間違っている。** →　［メール通知の設定］ダイアログボックスでメールサーバー名が正しく入力されているかを確認してください。
紙づまり、OHPセットエラー、保守員コールが記録されない。	**監視を行っているコンピューターから印刷していないときに紙づまり、OHPセットエラーや保守員コールが発生した。** →　通常の設定では印刷時のみ監視を行っているため、他ポートやLAN接続で他のコンピューターからの印刷時に発生した紙づまり、OHPセットエラーや保守員コールは記録されません。常に監視したい場合は、プリンタステータスウィンドウの［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得］をチェックしてください。

リプリントできないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**［リプリント機能を提供する］が無効になっている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［リプリント機能を提供する］をチェックしてください。 **［リプリント機能を使用する］が無効になっている。** →　＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの構成］シートの［リプリント機能を使用する］をチェックする。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［印刷設定］ダイアログボックスの［プリンタの状態］シートの［リプリント］を選び、［リプリント機能を使用する］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの状態］シートの［リプリント機能を使用する］をチェックする。 **双方向通信機能が無効になっている。** →　双方向通信機能が無効になっているとプリンタステータスウィンドウなどの機能が使用できません。各OSのプロパティダイアログボックスで設定を有効にしてください。 ＜Windows Me＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows 98、Windows95＞ ［詳細］シートの［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 ＜Windows NT 4.0＞ ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートにある［双方向サポートを有効にする］をチェックする。 **プリンターとコンピューターとの接続が適切でない。** →　プリンターとコンピューターとの接続は当社指定のケーブルをご利用ください（詳細は活用マニュアルの「付録」を参照）。指定以外のケーブルを使ったり市販のプリンターバッファー、プリンター切替器、プリンター共有器などを使用するとPrintAgentの機能が正常に動作しないことがあります。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピュータをプリントサーバーとしてクライアントから印刷を行った場合、リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
PrintAgent リプリント2が使用できない	**PrintAgent リプリント2がインストールされていない。** →　「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）を参照して「PrintAgent リプリント2」を追加インストールしてください。

症　状	原因と処理方法
リプリントするファイルが見当たらない	**スプールファイルの制限（ドキュメント数、有効期限、ディスク領域）を超えている。** →　スプールされているファイルは古い順から消去されます。［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定を確認してください。詳細は「リプリント」（130ページ）を参照してください。 →　接続先をFILEに変更した場合、リプリント用に保存されていた印刷データは削除されます。

PrintAgentを正しく動作させるためには

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびColor MultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XPで、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。

- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentのオプションを追加すると、セットアップに必要なファイルを要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

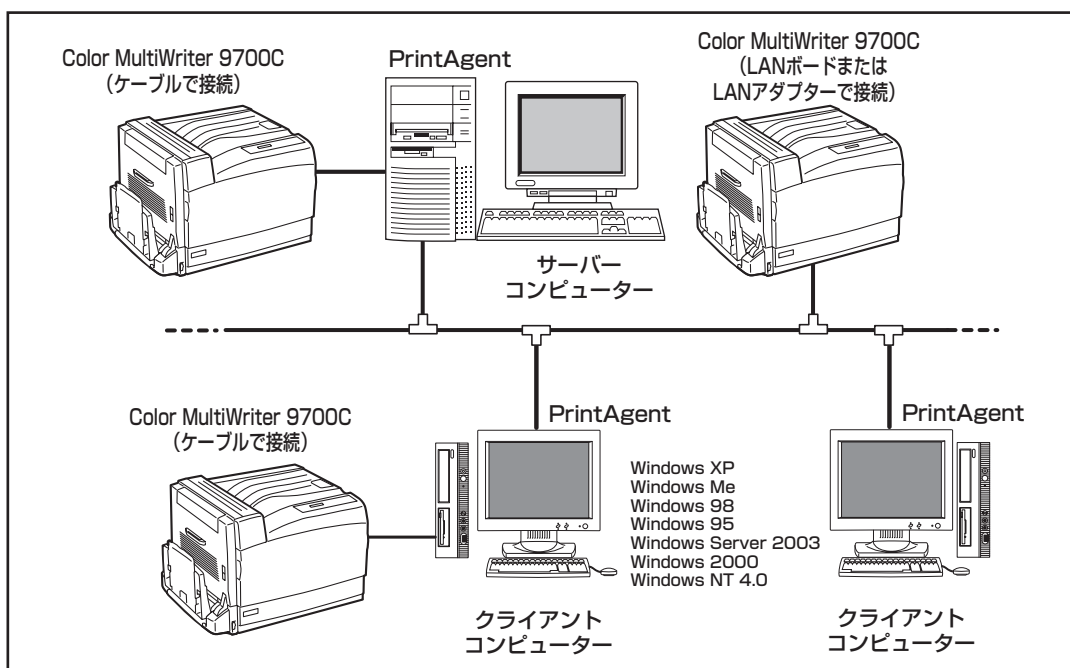
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響するおそれがあります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Meの場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows 98、Windows 95の場合は、プリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、[SNMPステータスを有効にする]のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me Windows 98 Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	-	NEC Network Port

*Windows 95には対応していません。

- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgent の機能はご利用になれません。
- マルチプロトコルLANアダプタ「PR-NPX-05」はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

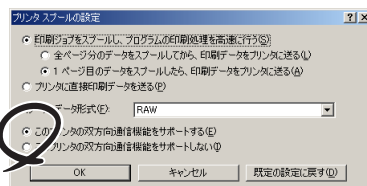
＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合＞

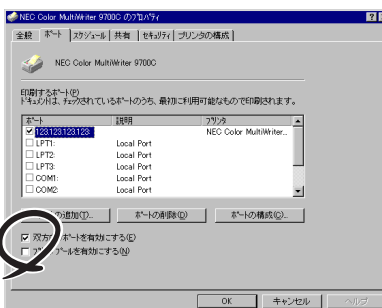
［プロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

＜Windows Meの場合＞

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。

＜Windows 98、Windows 95の場合＞

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。

＜Windows NT 4.0の場合＞

［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANボード/LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003,Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Service（Windows Server 2003 リモートデスクトップによる接続を含む）を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。 双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  － Windows Server 2003、Windows 2000対応ドライバー: ¥CMW9700C¥WIN2KTS
  － Windows NT 4.0対応ドライバー: ¥CMW9700C¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行なうこともできます。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、 Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプ等を参照してください。

- PrintAgent はプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには4章の「メニューモード」（107ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（74ページ）、「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- PrintAgentをご利用になっているコンピューターのOSを他のOSにアップグレードする際には、あらかじめPrintAgentをアンインストールする必要があります。OSアップグレード後、そのOS用のPrintAgentをインストールしてください。

  以下のOSのアップグレードを行う場合、アップグレード対象のOSに対応したプリンタソフトウエアをご使用のときは、PrintAgentはそのままご利用になれます。

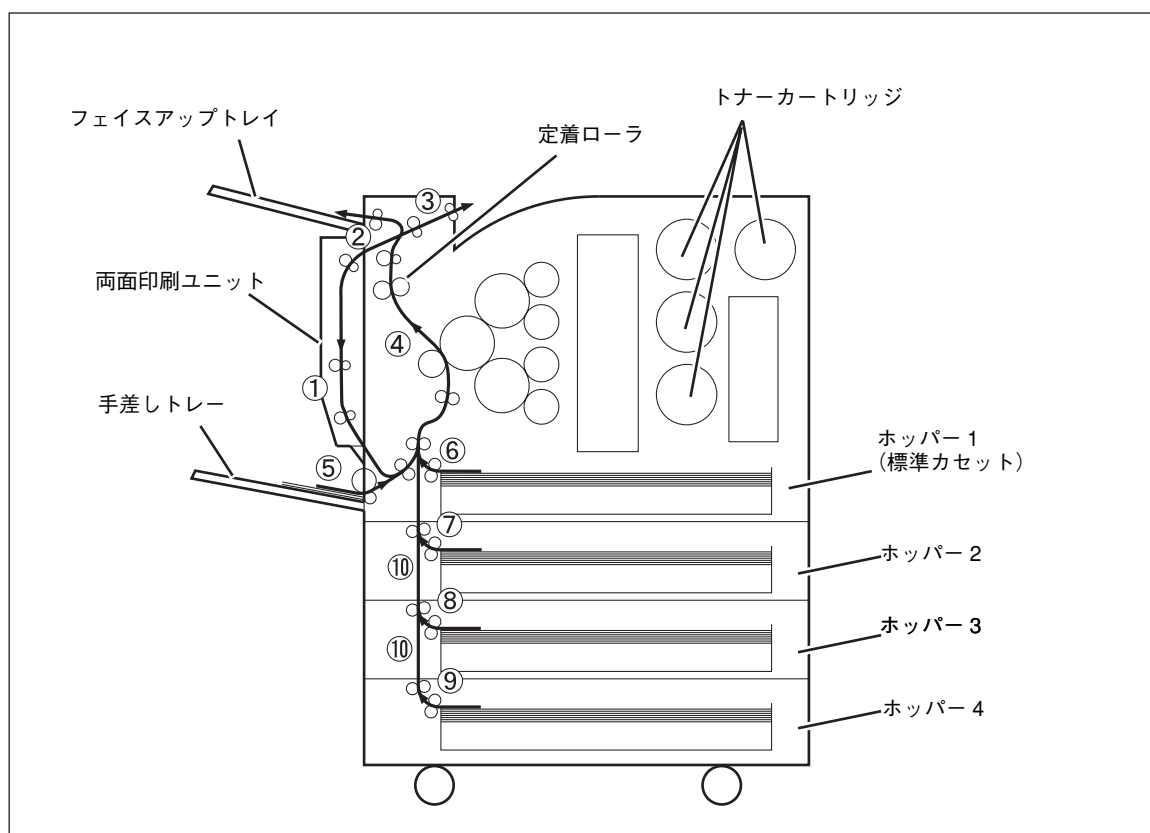
  - Windows 98からWindows Me
  - Windows 95からWindows Me
  - Windows 95からWindows 98
  - Windows 2000からWindows XP
  - Windows 2000からWindows Server 2003*

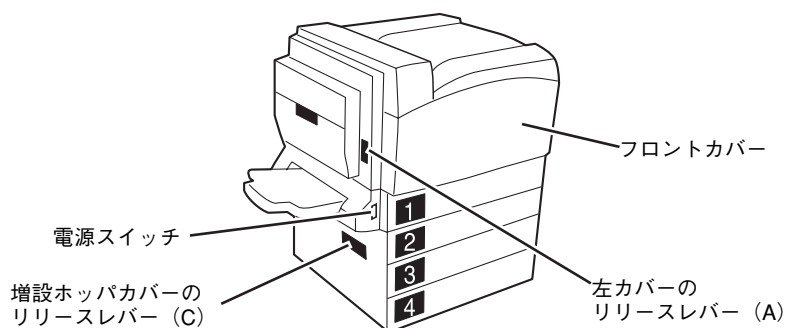
  * Web PrintAgentは、OSアップグレード時に停止されますので、インターネット インフォメーションサービス（IIS）のWebサイトを開始する必要があります。

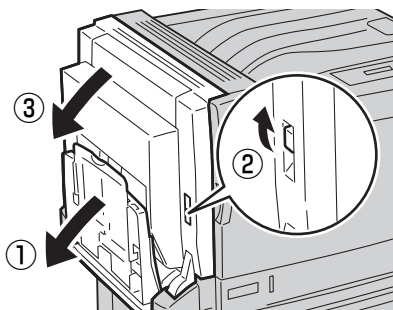
紙づまりのときは

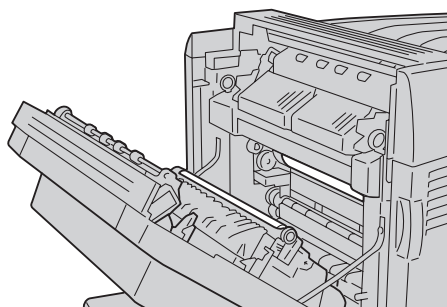
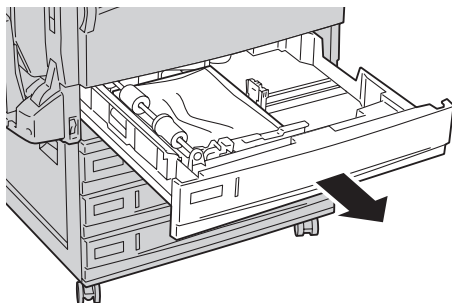
紙づまりが発生すると、操作パネルのアラームランプが点灯し、ディスプレイ上段に“74　カミヅマリ”が表示されます。ディスプレイ下段につまった箇所が表示されますので、それぞれつまった箇所に応じた手順で用紙を取り除いてください。

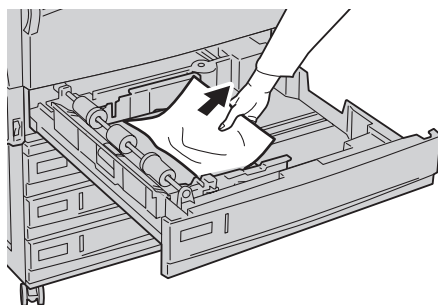
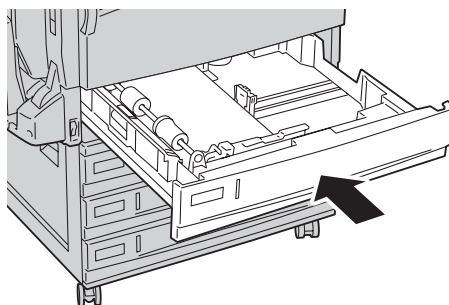
ディスプレイ表示	紙づまり発生箇所	処置方法
74　カミツ゛マリ リョウメン　シタ　　　＊＊	①	「4　両面印刷ユニット部での紙づまり」(200ページ)を参照。
74　カミツ゛マリ リョウメン　ウエ　　　＊＊	②	「5　左カバーでの紙づまり」（201ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホンタイ　ハイシ　　　＊＊	③	「5　左カバーでの紙づまり」（201ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホンタイ　キュウシ　　＊＊	④	「5　左カバーでの紙づまり」（201ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ トレー　キュウシ　　　＊＊	⑤	「2　手差しトレーでの紙づまり」（197ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜1　キュウシ　＊＊	⑥	「1　用紙カセットでの紙づまり」（196ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜2　キュウシ　＊＊	⑦	「1　用紙カセットでの紙づまり」（196ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜3　キュウシ　＊＊	⑧	「1　用紙カセットでの紙づまり」（196ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ホッハ゜4　キュウシ　＊＊	⑨	「1　用紙カセットでの紙づまり」（196ページ）を参照。
74　カミツ゛マリ ゾウセツホッパ　　　　＊＊	⑩	「3　増設ホッパカバーでの紙づまり」（198ページ）を参照。

フェイスアップトレイ
定着ローラ
トナーカートリッジ
両面印刷ユニット
手差しトレー
ホッパー 1
(標準カセット)
ホッパー 2
ホッパー 3
ホッパー 4
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

紙づまり、ピックミスの発生箇所

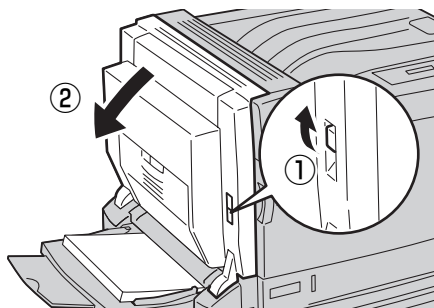
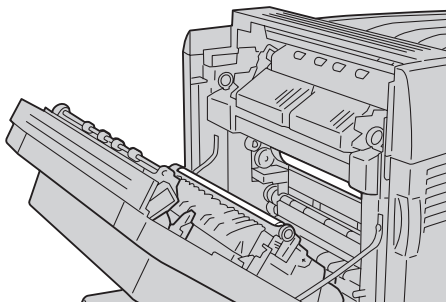
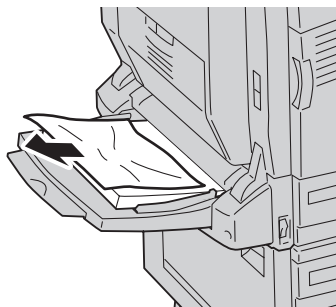
連続印刷中に紙づまりが発生した場合は、操作パネルに表示されている場所以外にも紙が残っている場合があります。操作パネルに表示されている箇所の用紙を取り除きカバーを閉めると、自動的に用紙を排出するか改めて残っている紙づまりの箇所を表示します。再度操作パネルの表示に従って用紙を取り除いてください。
何度も用紙を取り除くのが面倒な場合には①〜⑩の紙づまりの処理を順番に行うと、用紙の取り忘れ・紙づまりの再発がなく確実に処理が行えます。

1 用紙カセットでの紙づまり

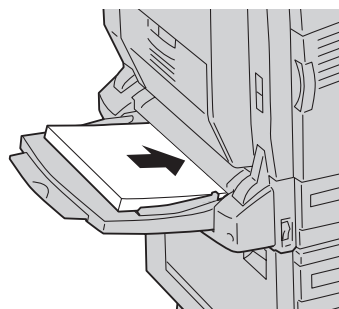
用紙カセット1～4で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

❶ **手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。**

❷ **つまっている用紙がないことを確認し、左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5 左カバーでの紙づまり」に進む。**

❸ **ディスプレイに表示されている、紙がつまっている用紙カセットを引き出す。**

❹ **つまっている用紙を取り除く。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないことを確認してください。

❺ **奥に突き当たるところまで、用紙カセットをゆっくりと押し込む。**

2 手差しトレーでの紙づまり

手差しトレーで用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

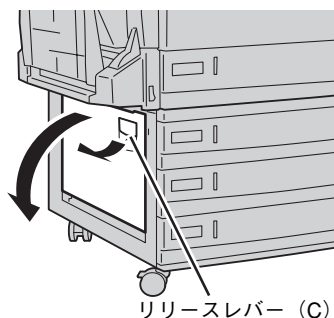
❶ リリースレバー（A）を上げながら（①）、左カバーをゆっくりと開く（②）。

❷ つまっている用紙がないことを確認し、左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5 左カバーでの紙づまり」に進む。

❸ 手差しトレーの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、つまった用紙がある場合には取り除く。

用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

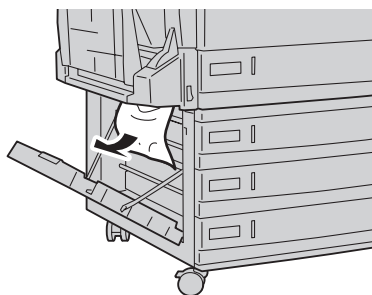
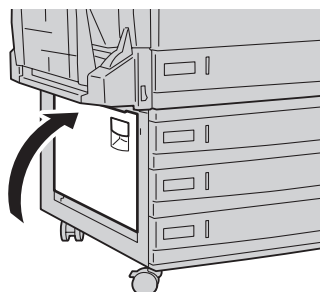
❹ 取り出した用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。

3 増設ホッパカバーでの紙づまり

増設ホッパーの左側の増設ホッパーカバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

増設ホッパカバーでの紙づまりメッセージは、オプションの増設ホッパ（500×3）、または増設ホッパ（500）を装着している場合に表示されます。

増設ホッパ（500×3）

❶ **リリースレバー（C）を引きながら、増設ホッパカバーをゆっくりと開く。**

❷ **つまっている用紙を取り除く。**

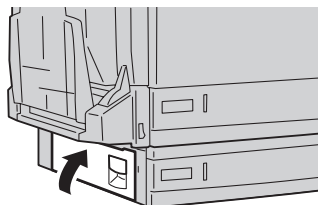
用紙が破れた場合、紙片が残っていないことを確認してください。

❸ **増設ホッパカバーをゆっくりと閉じる。**

増設ホッパ（500）

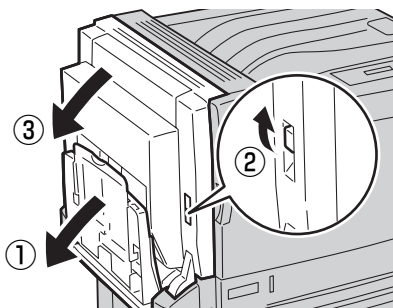
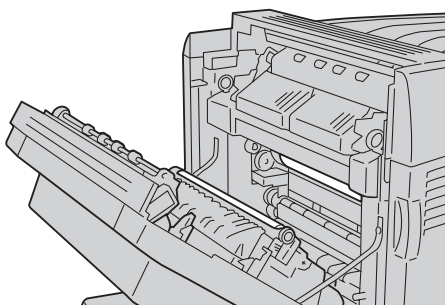
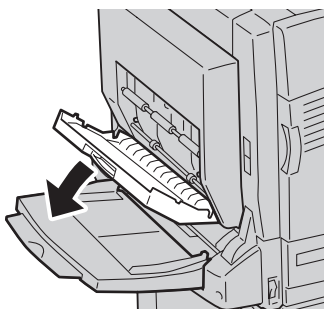
❶ **リリースレバー（C）を引きながら、増設ホッパカバーをゆっくりと開く。**

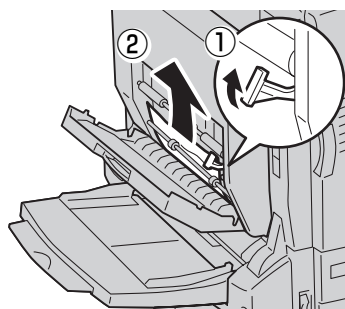
❷ **つまっている用紙を取り除く。**

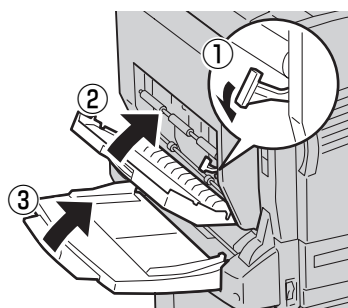
用紙が破れた場合、紙片が残っていないことを確認してください。

❸ **増設ホッパカバーをゆっくりと閉じる。**

4 両面印刷ユニット部での紙づまり

両面印刷ユニットカバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

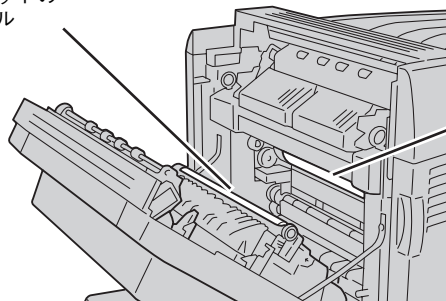
❶ **手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。**

❷ **つまっている用紙がないことを確認し、左カバーをしっかり閉じ、❸の手順に進む。つまっている場合には「5 左カバーでの紙づまり」に進む。**

❸ **両面印刷ユニットカバーをゆっくりと開く。**

❹ **図のレバーを上げて（①）、つまった用紙を取り除く（②）。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないことを確認してください。

❺ **レバーを戻し（①）、両面印刷ユニットカバーを閉じる（②）。**

必要に応じて、手差しトレーを上げます（③）。

5 左カバーでの紙づまり

カバー内で用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。
なお、長尺サイズ用紙の紙づまりの場合は、用紙やプリンターの損傷およびけがを防ぐため、「長尺サイズの用紙の場合」（203ページ）の手順に従って用紙を取り除いてください。

重要

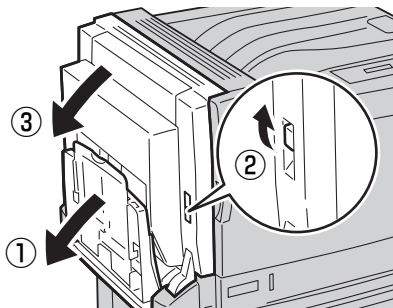
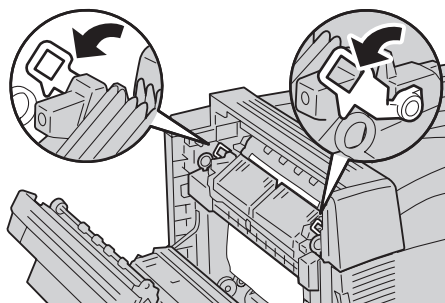
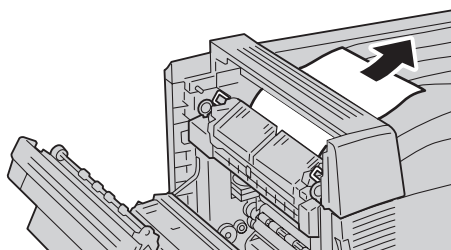
転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。

フェイスアップ排出ユニット（オプション）に出力された用紙がある場合は、取り除いてから作業してください。

定形サイズの用紙の場合

❶ 手差しトレーを下げる（①）。リリースレバー（A）を上げながら（②）、左カバーをゆっくりと開く（③）。

❷ 緑色のレバーを手前に倒す。

緑色以外のレバーは、動かさないでください。

8 故障かな?と思ったら

❸ **つまっている用紙の先端がスタッカーの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除く。**

重要

つまっている用紙を取り除いたあとの印刷物が、数枚汚れることがあります。

⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

❹ **つまっている用紙を取り除く。**

❺ **緑色のレバーを元の位置に戻す。**

❻ **左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。**

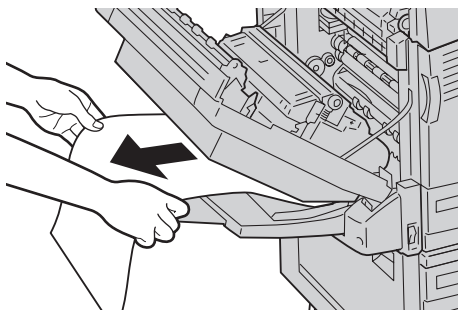
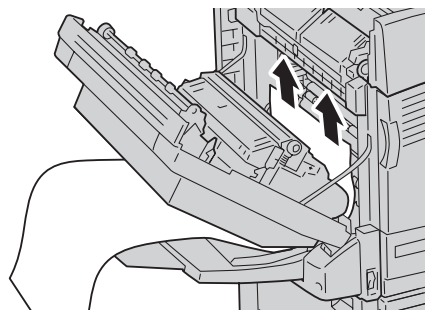
必要に応じて、手差しトレーを上げます（❷）。

長尺サイズの用紙の場合

長尺サイズの用紙がつまったときは、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

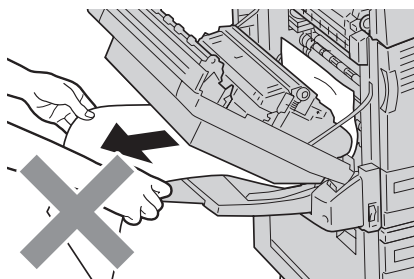
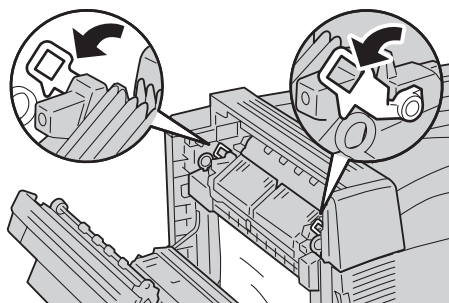
転写ユニットの転写ロール（黒いゴム状のローラー）、および中間転写ユニットの転写ロールに画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、これらの転写ロールに触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ロールが損傷して交換が必要になることがあります。

❶ リリースレバー（A）を上げながら（①）、左カバーをゆっくりと開く（②）。

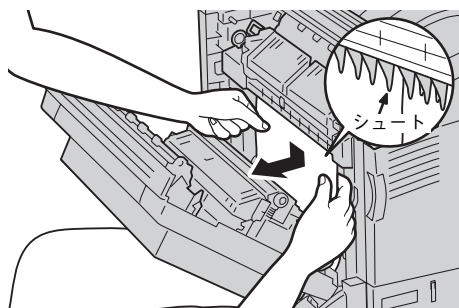
❷ 左カバーを開けたときに、用紙の先端が見えない場合、または、用紙の先端をつかむことができない場合は、用紙を図のように矢印の方向へ引き抜く。手順❿へ進む。

❸ 用紙が定着部（定着ユニット）に送られていない場合は、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜く。手順⓫へ進む。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、また添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

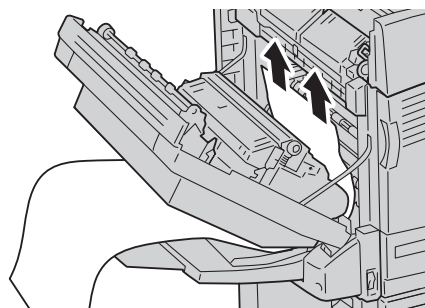
重要

このとき、用紙を手差しトレー側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

❹ **用紙の先端が定着部（定着ユニット）の中で止まっている場合は、緑色のレバーを解除する。**

チェック

緑色以外のレバーは、動かさないでください。

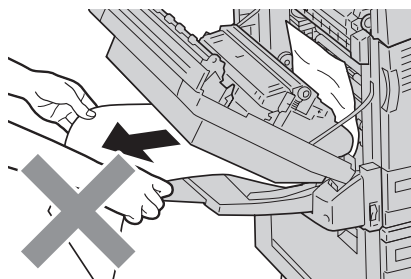
❺ **用紙を両手で持ち、矢印方向に引いて、用紙の先端を引き出す。**

重要

用紙は、シュートに当たらないように引き出してください。

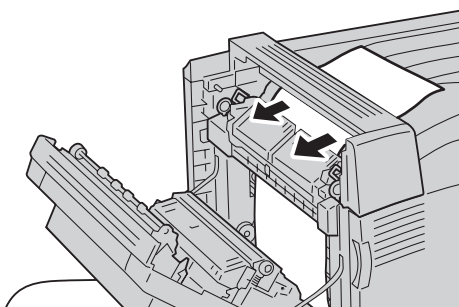
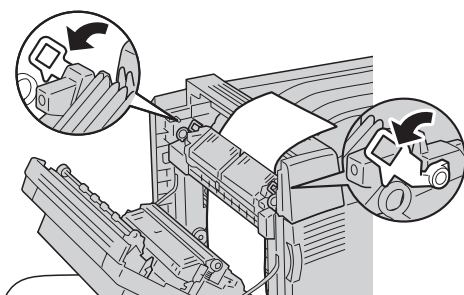
❻ **手順❺で引き出した用紙を、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜く。手順❿へ進む。**

⚠ **注意**

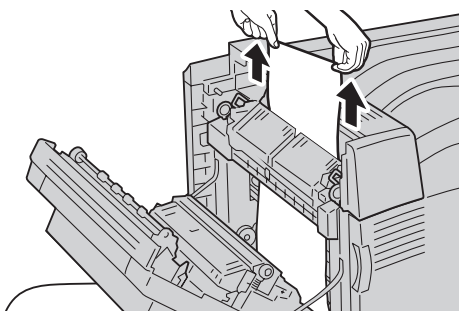
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、また添付の「NECサービス網一覧」に記載の「サービス窓口」と記載されているサービス窓口へ連絡してください。

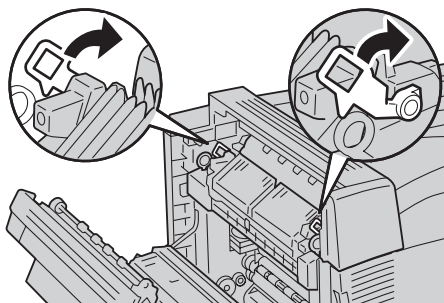
重要

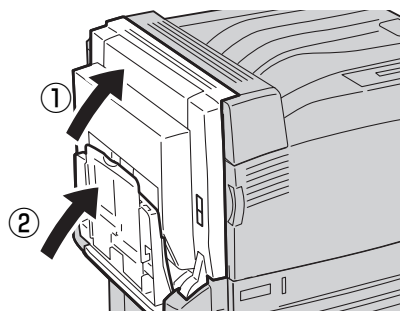
このとき、用紙を手差しトレー側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

❼ 用紙の先端がスタッカー側に出ている場合は、用紙の両端を両手で持ち、矢印方向にまっすぐに引いて、用紙の先端を引き出す。

❽ 緑色のレバーを解除する。

チェック

緑色以外のレバーは、動かさないでください。

❾ 手順❼で引き出した用紙を両手で真上（矢印方向）に、まっすぐに引き抜く。

- 引き抜くときに、少し重く感じられることがあります。
- 矢印方向にまっすぐに引き抜かないと、用紙が途中で切れ、本プリンターの中に残り、トラブルになるおそれがあります。

❿ レバーを元の位置に戻す。

⓫ 左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる（①）。

必要に応じて、手差しトレーを上げます（②）。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

プリンターまたは消耗品を廃棄する場合は、以下の内容を参照してください。

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジを取り外してお出しください。

- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジおよびトナー回収カートリッジは捨てずに、回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するWebページ

  「ECOLOGY & TECHNOLOGY」
  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

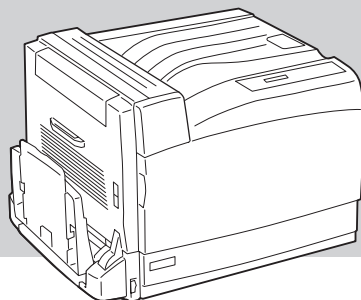
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収・リサイクルにお出しください。

トナーカートリッジを継続して使用するときは

お客様の都合により、やむを得ず印刷を継続する場合、操作パネルの「ウンヨウメニュー」の「トナーセッテイ」で、「カスタムモード」*を選択すると継続して印刷可能な状態になります。（109ページ参照）

カスタムモードは品証保証外のモードであり、所定の機能、性能が保たれないことがあります。そのまま使い続けるとプリンターが故障する原因となる場合がありますので、新しいカートリッジに交換してください。

* 既に「ショウモウヒンジュミョウ」のアラームが発生している場合には、操作パネルのメニューに入ることができませんので、「シフト」スイッチを押しながら「▲」スイッチを押して「カスタムモード」に入ってください。

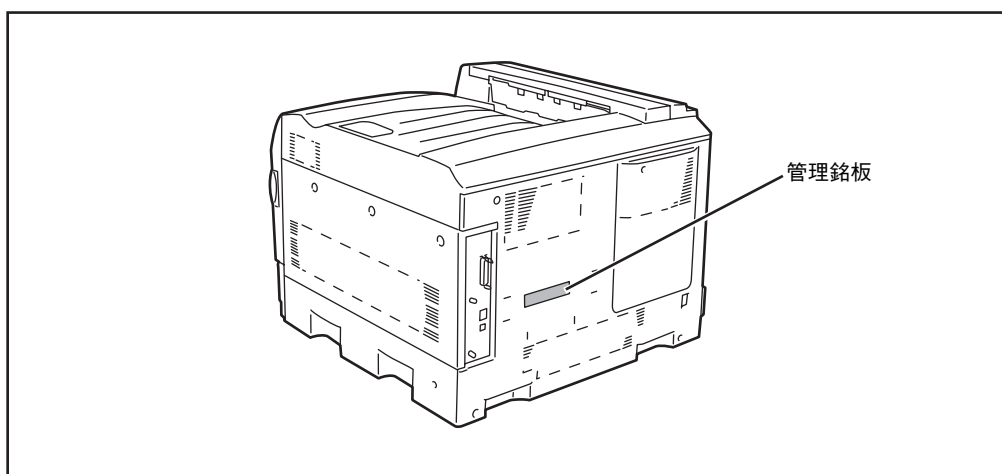
9章
ユーザーサービス

NECはColor MultiWriter 9700Cの「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをお受けになる前に、ここでは保証およびユーザーサービスの内容について説明します。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守............年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理............サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持ち込み修理.....お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口＊[1]
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング（株）
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料＊[2]	修理料＋出張料	そのつど清算	
持ち込み修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		

＊[1]　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

＊[2]　本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

Color MultiWriter 9700Cの製品寿命は、印刷枚数が150万枚、または使用年数5年のいずれか早い方です。Color MultiWriter 9700Cは、定期交換部品の交換が必要です。定期交換部品の交換については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

品名：Color MultiWriter 9700C　ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

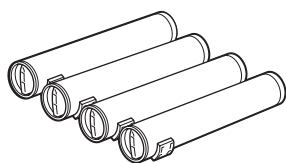
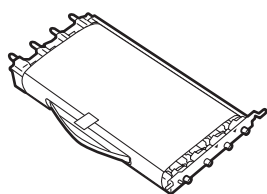
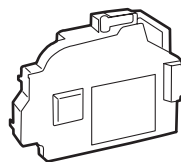
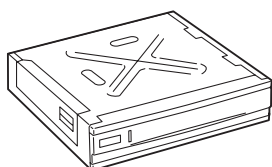
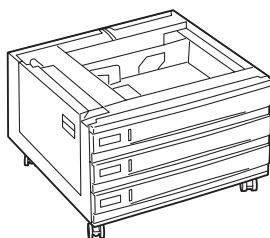
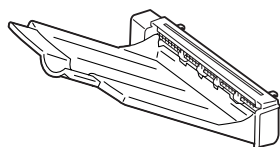
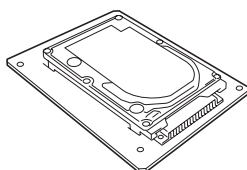
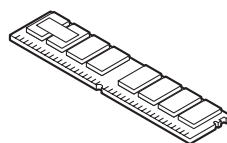
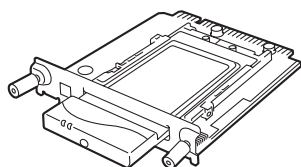
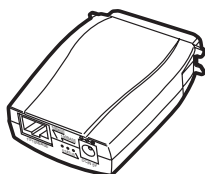
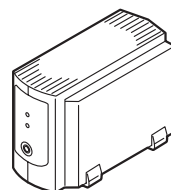
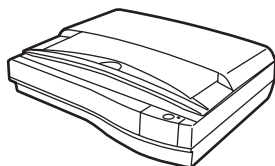
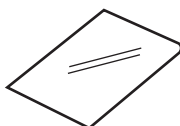
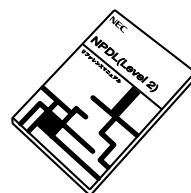
NEC PCマニュアルセンター
URL： http://pcm.mepros.com/
電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX： 03-5471-3996
24時間受付。ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。

※　製造終了後7年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
※　一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット 「NEC8番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

10章
消耗品・オプション

この章では、Color MultiWriter 9700C用として提供される別売品（消耗品・オプション）を紹介し、以下の取り付け、取り外し、ステータス印刷の方法などについて説明します。

トナーカートリッジ
ドラムカートリッジ
トナー回収カートリッジ
増設ホッパ（500）
増設ホッパ（500×3）
両面印刷ユニット
フェイスアップ排出ユニット
ハードディスク
増設メモリー
無線LANボード
マルチプロトコルLANアダプタ
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
スキャナユニット
OHPフィルムセット
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル

消耗品・オプション一覧

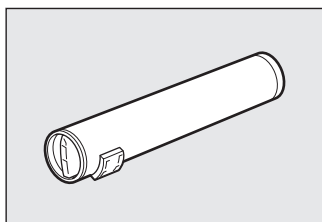
消耗品・オプション品の紹介

消耗品・オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

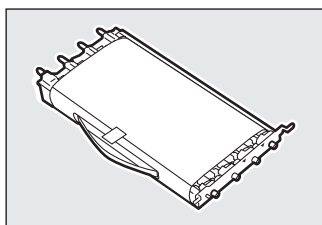
消耗品

消耗品は純正品のご使用をおすすめします

マルチライタは純正品の消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ性能がもっとも安定するように設計しております。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合や、仕様外の消耗品が原因で故障したときに、保証期間中でも有償修理となることがあります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。

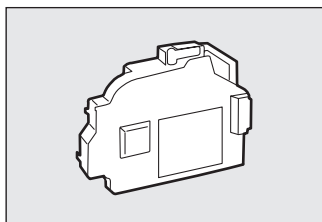
トナーカートリッジ

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの4種類があります。標準のトナーカートリッジ1本でA4サイズの画像（印刷比率5%）を約7,500枚（ブラック）、約6,000枚（イエロー、マゼンタ、シアン）、大容量のトナーカートリッジでは約15,000枚（ブラック）、約12,000枚（イエロー、マゼンタ、シアン）に印刷することができます。

品名	型番
トナーカートリッジ（イエロー）	PR-L9700C-11
トナーカートリッジ（マゼンタ）	PR-L9700C-12
トナーカートリッジ（シアン）	PR-L9700C-13
トナーカートリッジ（ブラック）	PR-L9700C-14
大容量トナーカートリッジ（イエロー）	PR-L9700C-16
大容量トナーカートリッジ（マゼンタ）	PR-L9700C-17
大容量トナーカートリッジ（シアン）	PR-L9700C-18
大容量トナーカートリッジ（ブラック）	PR-L9700C-19

ドラムカートリッジ （型番 PR-L9700C-31）

ドラムカートリッジはA4サイズの画像（印刷比率各色5%）を約30,000枚に印刷することができます。

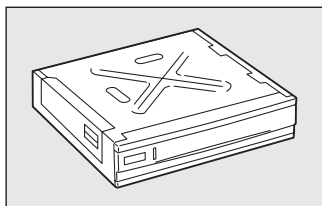
ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3枚ずつ）です。印刷内容、用紙サイズ・種類、温度などの使用環境、本体の電源ON/OFF、間隔をあけた印刷などにより、印刷品質を保持する調整動作が入るため、実際の印刷可能枚数は少なくなります。例えば、1枚ずつ印刷する場合は寿命が短くなります。また、A4より大きい用紙に印刷した場合も寿命が短かくなります。

本品には、トナー回収カートリッジが1個添付されています。

トナー回収カートリッジ （型番 PR-L9700C-33）

トナー回収カートリッジはA4サイズの画像（印刷比率各色5%）を約24,000枚印刷することができます。

なお、本品はドラムカートリッジに1個添付されています。

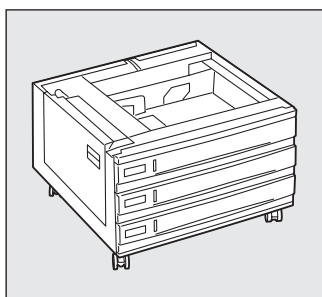
給紙オプション

増設ホッパ（500）(型番 PR-L9700C-02)

プリンターにセットできる用紙量を増やす給紙ユニットです。約560枚*セットでき、標準の用紙カセット、手差しトレーと合わせて約1,300枚*を連続して使用できるようになります。

なお、増設ホッパ（500x3）との併用はできません。

サイズ：565（W）×591（D）×121（H）mm

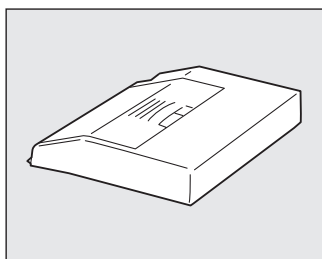
質量：約14kg

増設ホッパ（500×3）(型番 PR-L9700C-03)

プリンターにセットできる用紙量を増やす給紙ユニットです。増設ホッパ（500×3）には3段の用紙カセットがあります。各用紙カセットに約560枚*セットでき、標準の用紙カセット、手差しトレーと合わせて約2,420枚*を連続して使用できるようになります。

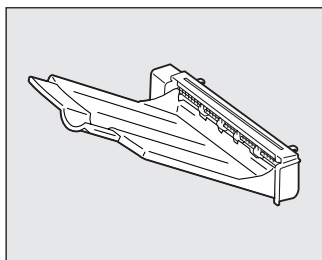
なお、増設ホッパ（500）との併用はできません。

サイズ：565（W）×591（D）×363（H）mm

質量：約32kg

両面印刷ユニット (型番 PR-L9700C-DL)

両面印刷を行うためのユニットです。印刷できる用紙については、付録「使用できる用紙」（238ページ）をご覧ください。

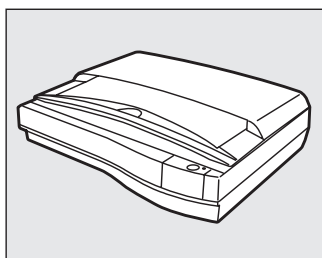
両面印刷時のメモリー不足を解消するため、メモリーの増設をお勧めします。

フェイスアップ排出ユニット (型番 PR-L9700C-FU)

フェイスアップ排出を可能にするユニットです。

---

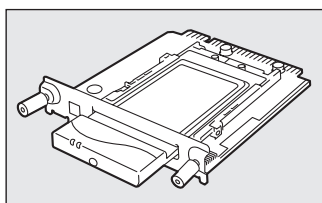
*　坪量64g/m^2の用紙の場合

スキャナ オプション

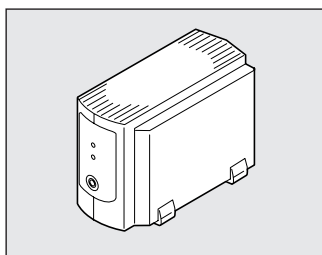
スキャナユニット (型番 PR-MW-SC21)

本プリンターに接続してネットワークスキャン機能や簡易コピー機能に対応するオプションです。
ADFユニット、スキャナテーブルのオプションを用意しております。
高解像度のスキャンやADF装着時のメモリー不足を解消するため、メモリーの増設をお勧めします。
詳細についてはスキャナユニットの取扱説明書をご参照ください。

なお、無線LANボードとの併用はできません。

ネットワークオプション

無線LANボード（型番 PR-WLX-13）

IEEE 802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、本プリンターと組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

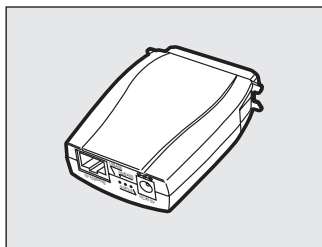
なお、スキャナユニットとの併用はできません。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、本プリンターと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。（詳細は活用マニュアル4章の「プリンタステータスウィンドウ」をご覧ください。）

LANアダプタ（型番PR-NP-03TR2）が対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、メニューモードを使ってプリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。4章の「メニューツリー」（108ページ）を参照してください。

マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

10BASE-T/100BASE-TX対応マルチプロトコルLANアダプターです。コンパクトかつプリンター直結型ですので、設置スペースを必要としません。PR-NPX-05を本プリンターに接続すれば、Windows、UNIX、NetWare環境でネットワークプリンターとして共有することができます。

取り付けについてはPR-NPX-05に添付の セットアップガイドを参照してください。

LANボード/LANアダプターのOSサポート状況

ネットワーク OS	プロトコル	PR-WLX-13	PR-NP-03TR2	PR-NPX-05
NetWare 3.x、4.x、5.x	IPX/SPX	×	×	○
IntranetWare 4.11J	IPX/SPX	×	×	○
Windows NT 4.0	TCP/IP	○	○	○
	DLC	×	×	×
	NetBEUI	×	×	○
Windows XP	TCP/IP	○	○	○
Windows Server 2003	TCP/IP	○	○	○
Windows 2000	TCP/IP	○	○	○
	NetBEUI	×	×	○
Windows Me Windows 98 Windows 95	TCP/IP	○＊1	○＊1	○＊2
	NetBEUI	×	×	○
UNIX	TCP/IP	○	○	○

＊1　NEC TCP/IP Printing System により対応
＊2　NEC Network Printer Port により対応

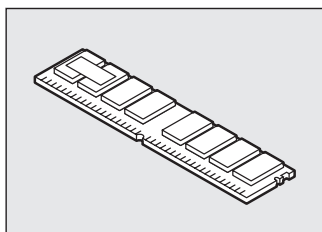
LANボード/LANアダプターのネットワーク対応環境

タイプ / ネットワーク環境		PR-WLX-13	PR-NP-03TR2	PR-NPX-05
設置状態		内蔵	外置き	外付け
マルチプロトコル対応		×	×	○
TCP/IPプロトコル対応		○	○	○
	リモート電源制御対応	×	○	×
100BASE-TX／10BASE-T		×	○	○
IEEE802.11b（Wireless LAN）		○	×	×
PrintAgent対応		○	○	×
SNMP PrinterMIB対応		○	○	×

ネットワーク関連オプションを装着した場合の印刷条件について
Color MultiWriter 9700Cでは複数のネットワークポートを同時に使用することはできません。以下のような条件で使用してください。

インターフェースコネクター	標準状態	無線 LAN ボード装着時	LAN アダプタ装着時
セントロニクス インターフェース	使用可	使用可	使用不可
イーサネット コネクター	使用可	無線LANボードと標準のイーサネットコネクターを同時に使用することはできません。	LANアダプタのイーサネットコネクターと標準のイーサネットコネクターを同時に使用することはできません。
USBインターフェース	使用可	使用可	使用可

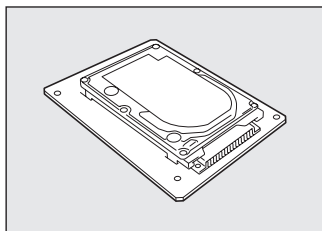
その他オプション

増設メモリー

本プリンターは2枚まで（最大1024MB）取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

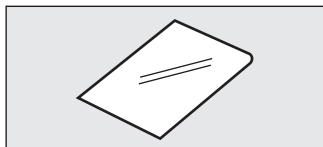
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷などの解消
- 受信バッファの拡大

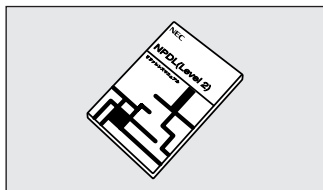
増設メモリーのメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M022	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M023	256MB
増設メモリ（512MB）	PR-MW-M024	512MB

ハードディスク（型番 PR-L4550-HD）

装備することにより電子ソート印刷、認証印刷を利用することができます。複数部数の印刷をする場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送れば2部目以降はハードディスクに蓄えられたデータを使って処理されるので、トータルの処理時間が短縮できます。

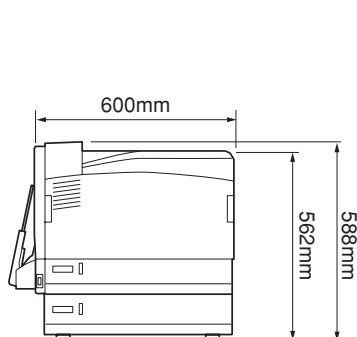
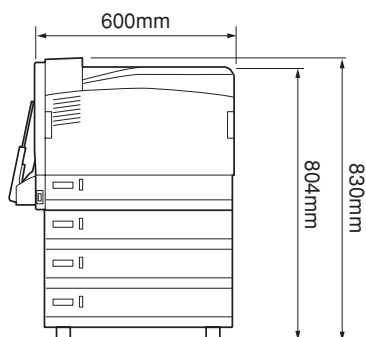
なお、本プリンターに取り付けるには、本品に同梱されている取扱説明書の設置手順とは異なります。「ハードディスク」（232ページ）を参照して取り付けてください。

OHPフィルムセット（A4）（型番 PR-L9200C-TP）

本プリンターでお使いいただけるOHPフィルムです。

日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル（型番PC-PRNPDL2-RM）

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパ（500）/増設ホッパ（500×3）

設置に必要な高さ

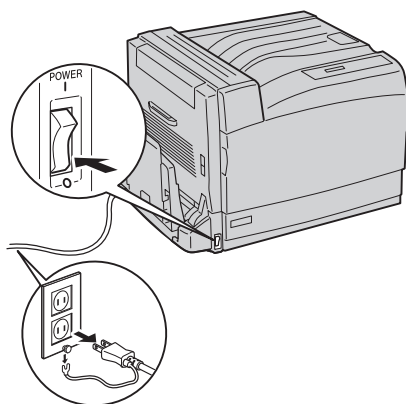
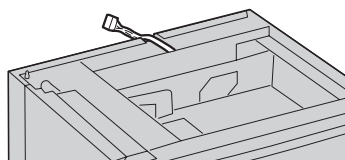
増設ホッパーを増設するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要なスペースについては「1 設置に必要なスペースを用意する」（17ページ）をご覧ください。

増設ホッパ（500）　増設ホッパ（500×3）

増設ホッパーの取り付け

次の手順に従って増設ホッパーを取り付けます。増設ホッパ（500）、増設ホッパ（500×3）ともに取り付け手順は同じです。ここでは、増設ホッパ（500×3）を例に説明します。

チェック

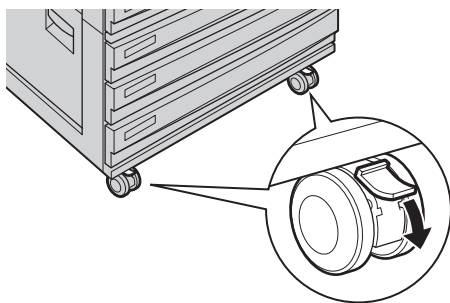
梱包材やテープを、すべて取り除いてから作業を始めてください。

1 プリンターの左側にある電源スイッチの[○]側を押して電源をOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜く。

2 コネクターケーブルが、増設ホッパーの外側に出ていることを確認する。

重要

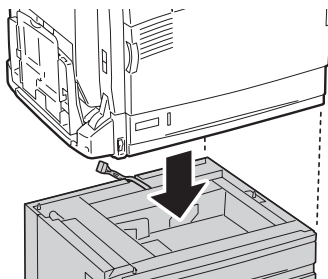
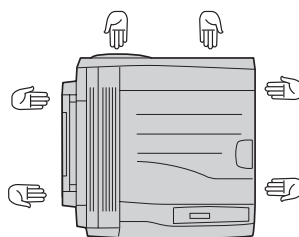
図のように、コネクターケーブルが増設ホッパーの切り欠き部分に収まっていることを確認してください。ケーブルが切り欠き部分に入っていないままプリンターを載せるとケーブルがはさまって断線するおそれがあります。

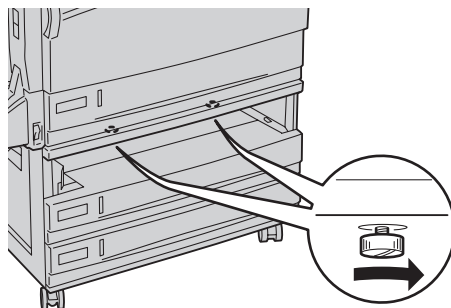
❸ 増設ホッパ（500×3）の場合は、キャスターをロックする。

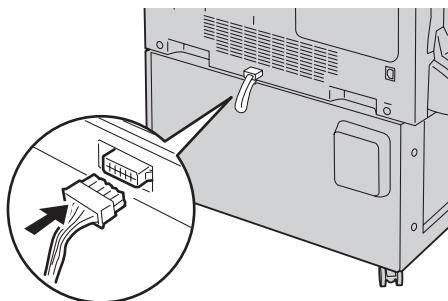
⚠ **注意**

増設ホッパ（500×3）を設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、増設ホッパーが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

❹ プリンターの右側、背面のくぼみと、左側を持って持ち上げ、増設ホッパーの突起が本体底部の穴に入るように位置を合わせ、プリンターを増設ホッパーの上に水平にゆっくり降ろす。

⚠ **注意**

- プリンターの重さは60kg（オプションを除く）です。必ず3人以上で持ち運んでください。なお、プリンターを持ち運ぶときは、必ずオプションをプリンターから取り外してください。
- プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右と背面に向かって、左右両側、背面側の下方にある取っ手部を両手でしっかりと持ってください。それ以外の場所を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。

❺ ホッパー2を引き出して、上側の手前に付いている2本のネジを締めて固定する。

このネジはホッパーから取り外せません。

❻ **増設ホッパー側のコネクターを、プリンター側のコネクターに接続する。**

コネクターを強い力で押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。

❼ **増設ホッパ（500）の場合は、ジョイントで増設ホッパ（500）とプリンターを接続する。**

⚠ 注意

- 増設ホッパ（500）を設置した後は、ジョイントを必ず取り付けてください。ジョイントを取り付けないと、増設ホッパ（500）をプリンター本体に取り付けたまま、誤って持ち上げた場合、ケガの原因になったり、装置が破損するおそれがあります。
- プリンターを持ち上げて移動を行う場合は、必ず増設ホッパ（500）を取り外してから、移動してください。

増設ホッパーの接続の確認

❶ **電源プラグをコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにする。**

❷ **ステータス印刷をする。**

印刷方法は1章の「8 テスト印刷をする」（29ページ）を参照してください。

❸ **「給紙構成」に「ホッパ2」などが表示されていることを確認する。**

＊＊　プリンタ設定環境　＊＊　　Color MultiWriter 9700C

00000000

H/W情報

Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 16
オプション	なし	

給紙構成	ホッパ1	A4
	ホッパ2	A4
	ホッパ3	A4
	ホッパ4	A4
	トレー	A4
メモリ容量	256MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	ホッパ2	指定し

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル

（以下省略）

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

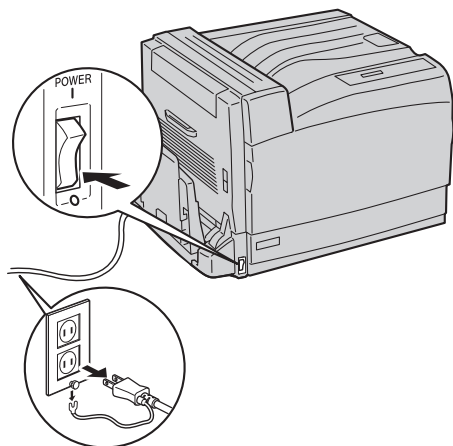
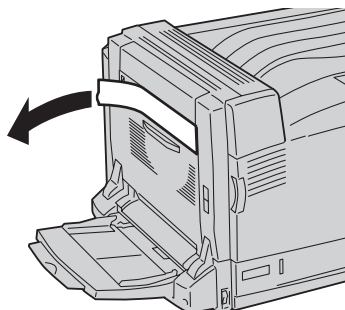
重要

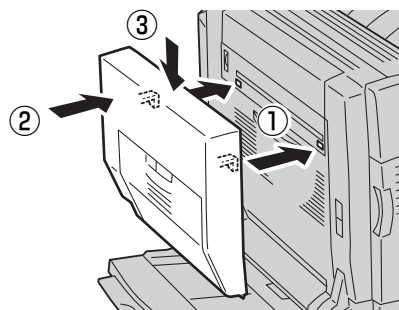
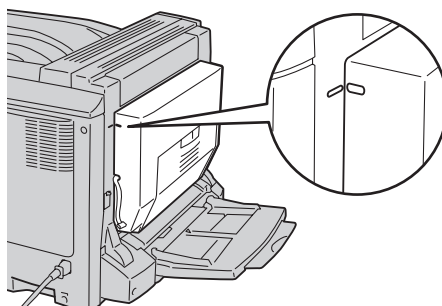
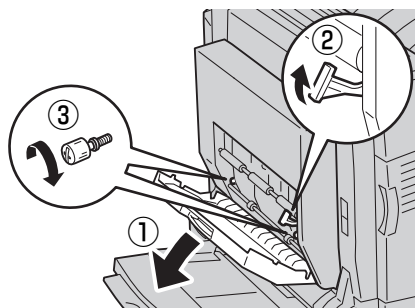
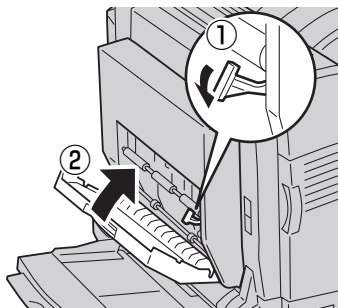
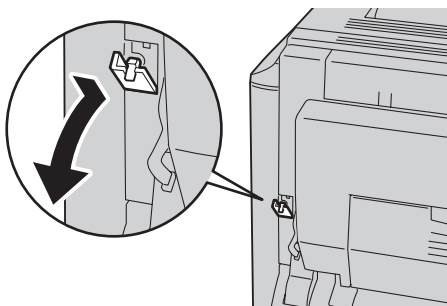
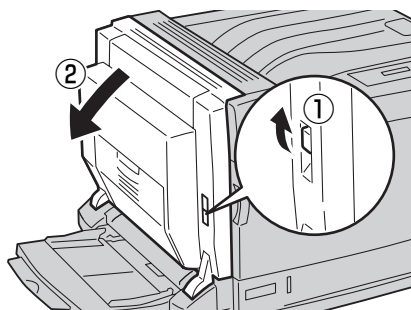
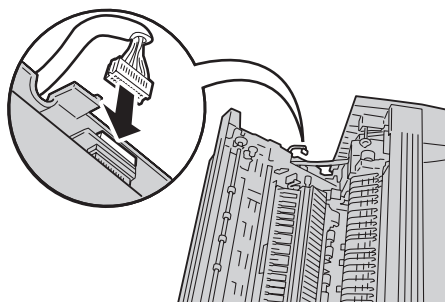
プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

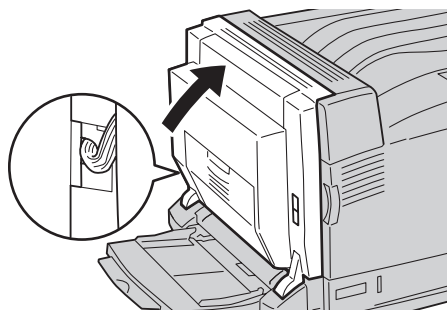
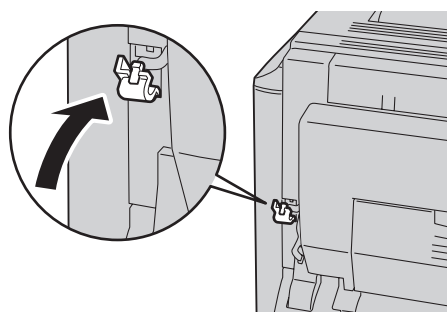
両面印刷ユニット

両面印刷ユニットの取り付けと接続確認

次の手順に従って両面印刷ユニットの取り付けと接続確認を行います。

❶ プリンターの左側にある電源スイッチの[○]側を押して電源をOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜く。

❷ 手差しトレーを下げて、プリンター左側の保護シールをはがす。

❸ 両面印刷ユニットの左右の突起を本体の穴に合わせて差し込み（①）、ユニットの奥側を押し込み（②）、すきまがないことを確認してから、上から押す（③）。

両面印刷ユニットの突起は、図のようにプリンター側に引っかかるようになっています。差し込んだ後、上から押して、確実に本体側に引っかけてください。

❹ 両面印刷ユニットとプリンター側のラインが合っていることを確認する。

❺ 両面印刷ユニットカバーを開ける（①）。図のレバーを上に上げて（②）、同梱されているネジ2本で（③）、両面印刷ユニットを固定する。

❻ 図のレバーを元に戻して（①）、両面印刷ユニットカバーを閉じる（②）。

❼ プリンター左側にある図のカバーを、上部のつめを押して手前に倒して外す。

❽ プリンターの左側面にあるリリースレバー（A）を押し上げて（①）、左カバーを開ける（②）。

❾ 両面印刷ユニットのコネクターを、プリンター側のコネクターに接続する。

❿ 左カバーの中央部を押してゆっくりと閉じる。

左カバーを閉じるとき、両面印刷ユニットのケーブルを挟まないようにしてください。

⓫ 同梱されているカバーを取り付ける。

⓬ 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンターの電源スイッチをONにする。

⓭ ステータス印刷をする。

印刷方法は1章の「8 テスト印刷をする」（29ページ）を参照してください。

⓮ 「オプション」に「両面印刷ユニット」が表示されていることを確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　Color MultiWriter 9700C
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 16
オプション	両面印刷ユニット	
給紙構成	ホッパ1	A4
	トレー	A4
メモリ容量	256MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	リレー給紙設定	
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	DHCP	ON
	IPアドレス	123.123.123.123
	サブネットマスク	255.255.255.0

（以下省略）

両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

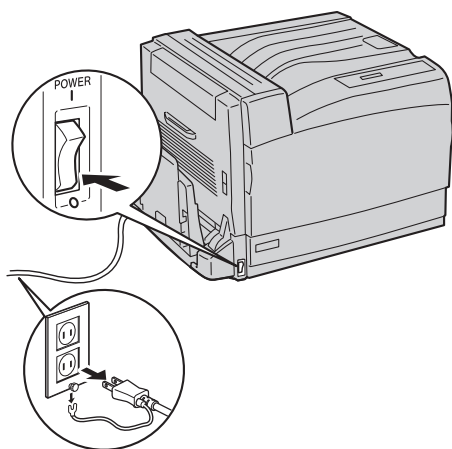
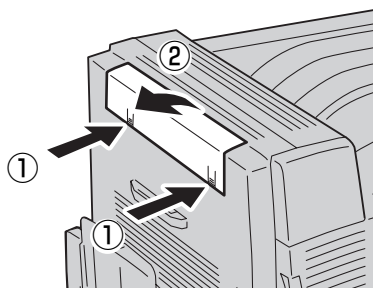
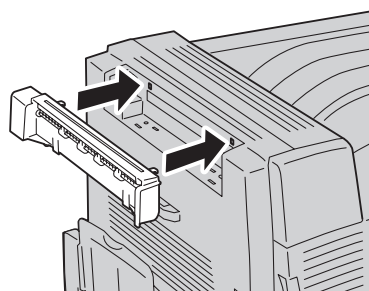
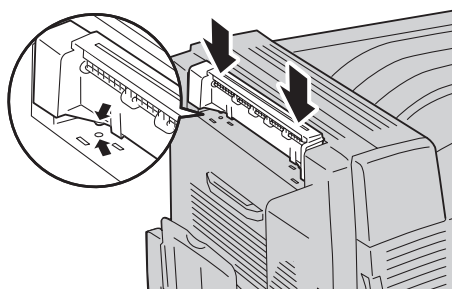
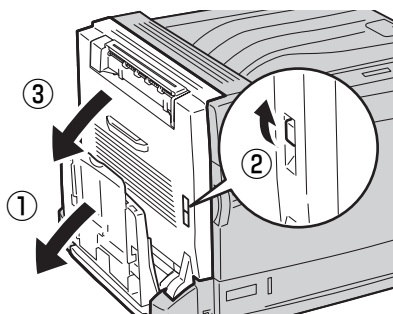
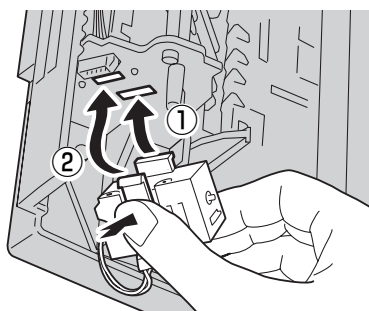
フェイスアップ排出ユニット

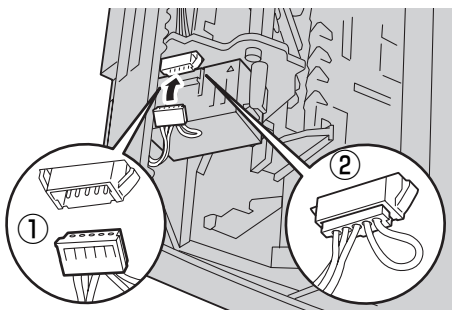
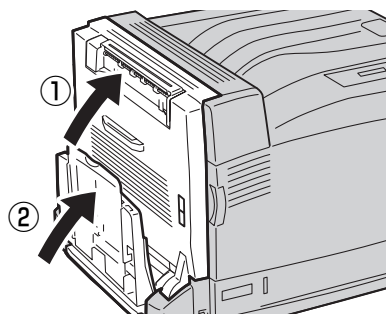
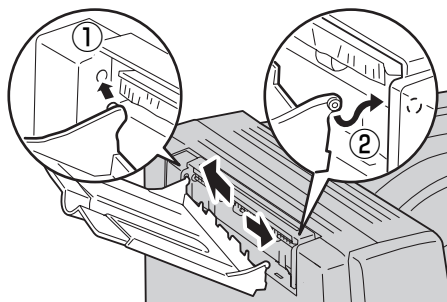
フェイスアップ排出ユニットの取り付けと接続確認

次の手順に従ってフェイスアップ排出ユニットの取り付けと接続確認を行います。

⚠注意

フェイスアップ排出ユニットを取り付けるときは、必ずプリンターの電源を切って作業を行ってください。電源を入れたまま作業を行うと、静電気などによりオプションおよびプリンターが破損するおそれがあります。

❶ プリンターの左側にある電源スイッチの［○］側を押して電源をOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜く。

❷ プリンターの左上部のカバーを左右の図の位置を押しながら上げて（①）、手前に倒して外す（②）。

❸ フェイスアップ排出ユニット用排出口の左右の突起をプリンター側の穴に合わせ差し込む。

❹ フェイスアップ排出ユニット用排出口の下部の突起とプリンター側の穴の位置が合っていることを確認し、排出口を上から押して取り付ける。

❺ 手差しトレーを下げる。（①）プリンターの左側面にあるリリースレバー（A）を押し上げて（②）、左カバーを開ける（③）。

❻ フェイスアップ排出ユニット用コネクターを図の向きに持ち、下側の突起をプリンター側の穴に差し込んでから（①）、上側の突起を少し押しながら「カチッ」というまで本体側の穴に差し込む（②）。

❼ フェイスアップ排出ユニット用コネクター（ケーブル）を図の向きで（①）プリンター側のコネクターに接続する（②）。

コネクターは確実に差し込んでください。

❽ 左カバーの中央部を押して左カバーをゆっくりと閉じ（①）、手差しトレーを上げる（②）。

❾ フェイスアップトレイの奥側の突起をプリンター側の穴に差し込み（①）、続けて手前側の突起をプリンター側の穴に差し込む（②）。

❿ 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにする。

⓫ ステータス印刷をする。

印刷方法は1章の「8 テスト印刷をする」（29ページ）を参照してください。

⓬ 「オプション」に「フェイスアップ排出ユニット」が表示されていることを確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　Color MultiWriter 9700C

00000000

H/W情報

Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 16

オプション	フェイスアップ排出ユニット

給紙構成	ホッパ1	A4
	トレー	A4
メモリ容量	256MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	リレー給紙設定	

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	DHCP	ON
	IPアドレス	123. 123. 123. 123
	サブネットマスク	255. 255. 255. 0

（以下省略）

フェイスアップ排出ユニットの取り外し

フェイスアップ排出ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

増設メモリー

増設メモリーの取り付けと接続確認

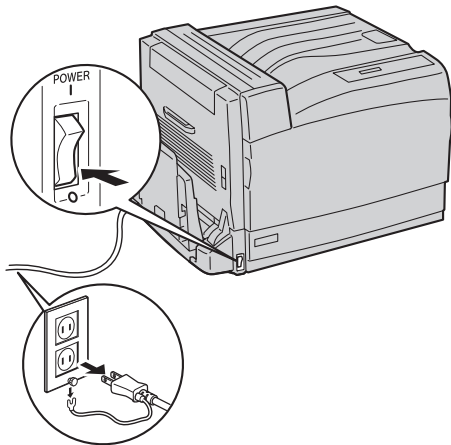
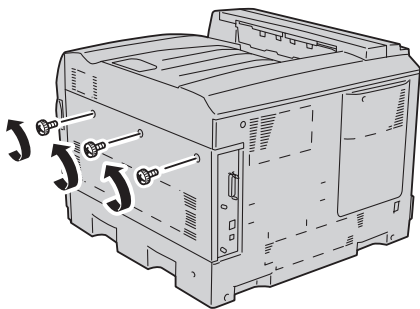
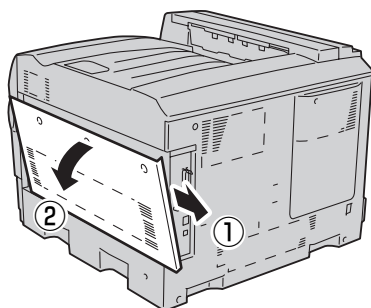
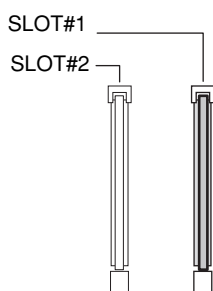
「オプション品の紹介」で紹介した純正以外のメモリーを使用された場合のトラブルは保証いたしかねます。

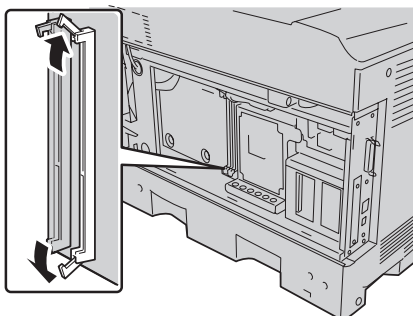
以下の表に用紙サイズと、必要なメモリーの容量を示します。

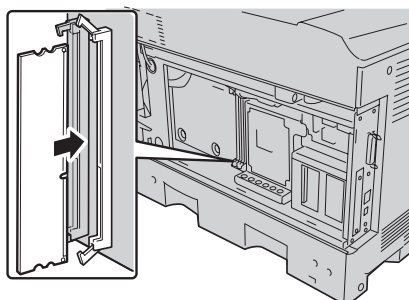
用紙サイズ ＼ 印刷品質		標準		高精細	
		印刷可能	印刷保証	印刷可能	印刷保証
A4	片面	128MB（標準）	128MB（標準）	128MB（標準）	128MB（標準）
	両面	128MB（標準）	128MB（標準）	128MB（標準）	256MB（128MB増設）
A3	片面	128MB（標準）	128MB（標準）	128MB（標準）	256MB（128MB増設）
	両面	128MB（標準）	256MB（128MB増設）	128MB（標準）	384MB（256MB増設）
長尺紙B*	片面	128MB（標準）	384MB（256MB増設）	128MB（標準）	640MB（512MB増設）

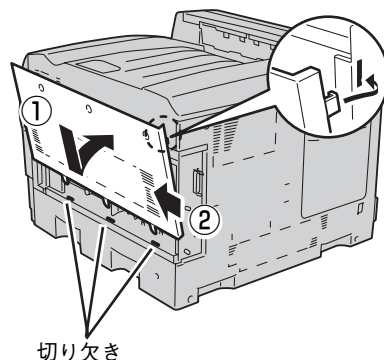
＊ 297mm×1,200mm

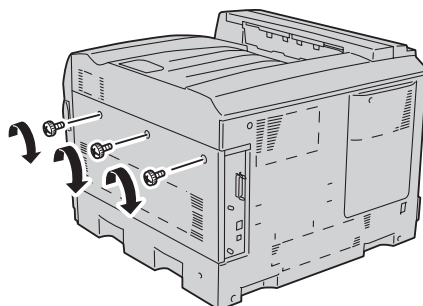
❶ **本プリンターの左側にある電源スイッチの［○］側を押して電源をOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜く。**

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **右カバーの3か所のネジを外す。**

❸ 右カバーを背面側にずらし（①）、手前に倒して外す（②）。

❹ 増設メモリーの取り付け位置を確認する。

- 標準では SLOT#1 に 128MB のメモリーが装着されています。メモリーを2枚増設する場合は、標準で装着されているメモリーを外してください。
- SLOT#1には必ずメモリーを装着してください。

❺ スロットの上下にあるツメを外側に倒す。

❻ 増設メモリーを取り付ける。

スロットの凸部と増設メモリーの切り欠きが一致していることを確認して、回路部分などに手を触れないように端を持ち、スロットに差し込みます。しっかり差し込んでロックします。

❼ 右カバー下部の突起をプリンター側の切り欠きに合わせて差し込み（①）、前面側にずらしてプリンターにしっかりとはめ込む（②）。

このとき、右カバー上部の突起が、本体側の切り欠きに差し込まれていることを確認してください。

❽ 右カバーの3か所のネジを締める。

これで、増設メモリーの取り付けは完了です。

❾ **電源プラグをコンセントに差し込みプリンターの電源スイッチをONにする。**

❿ **ステータス印刷をする。**

印刷方法は1章の「8 テスト印刷をする」（29ページ）を参照してください。

⓫ **「メモリ容量」の表示が増えていることを確認する。**

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　Color MultiWriter 9700C

00000000

H/W情報

Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 16
オプション	なし	

給紙構成	ホッパ1	A4
	トレー	A4
メモリ容量	512MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	リレー給紙設定	

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	DHCP	ON
	IPアドレス	123.123.123.123
	サブネットマスク	255.255.255.0

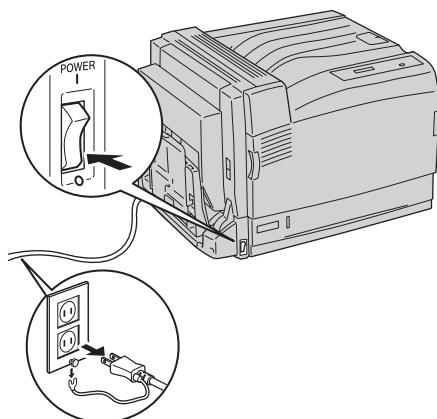
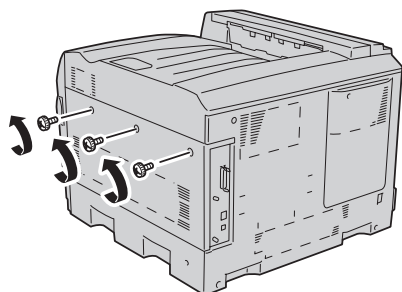
（以下省略）

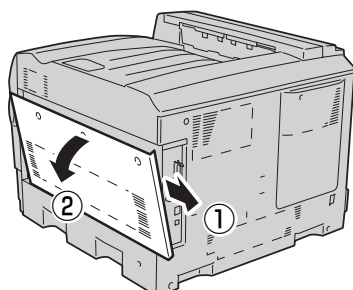
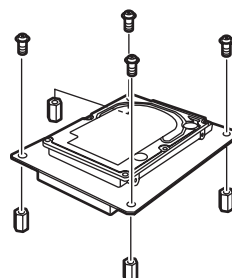
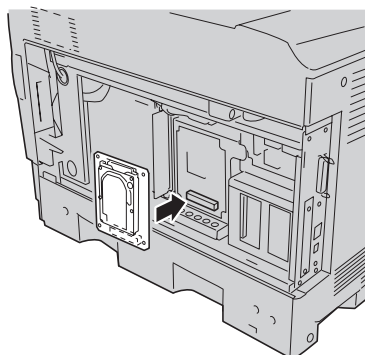
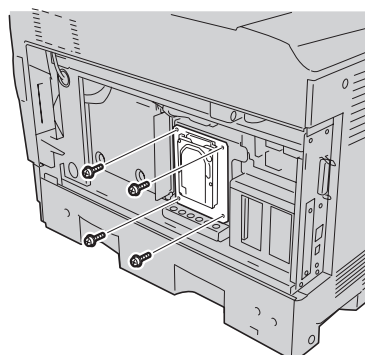
ハードディスク

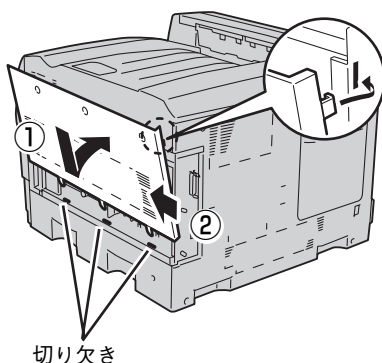
ハードディスクの取り付けと接続確認

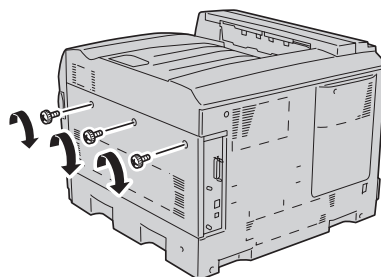
次の手順に従ってハードディスクを取り付けます。

⚠ 注意 ハードディスクを取り付ける際は必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となるおそれがあります。

❶ 本プリンターの左側にある電源スイッチの［○］側を押して電源をOFFにし、電源プラグを電源コンセントから抜く。

❷ 右カバーの3か所のネジを外す。

❸ 右カバーを、背面側にずらし（①）、手前に倒して外す（②）。

❹ ハードディスクからスタッド（4本）を取り外す。

❺ ハードディスクを取り付ける。

❻ 同梱されているネジ 4 本でハードディスクを固定する。

❼ 右カバー下部の突起をプリンター側の切り欠きに合わせて差し込み（①）、前面側にずらしてプリンターにしっかりとはめ込む（②）。

このとき、右カバー上部の突起が、本体側の切り欠きに差し込まれていることを確認してください。

❽ 右カバーの3か所のネジを締める。

これで、ハードディスクの取り付けは完了です。

❾ 電源プラグをコンセントに差し込み本プリンターの電源スイッチをONにする。

❿ ステータス印刷をする。

印刷方法は「8 テスト印刷をする」（29ページ）を参照してください。

⓫ 「オプション」に「ハードディスク」が表示されていることを確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　Color MultiWriter 9700C

00000000

H/W情報

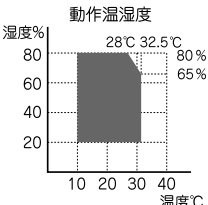
Version	エンジン	00. 09. 07. 03
	NVM	00. 09. 07. 00
	コントローラ	85. 16
オプション	ハードディスク	

給紙構成	ホッパ1	A4
	トレー	A4
メモリ容量	256MB	

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	黒トナー節約	OFF
	SET	ON
	ホッパ初期設定	ホッパ1
用紙メニュー	用紙種別エラー表示	ON
	用紙種別設定	
	ホッパ1	指定しない
	トレー	指定しない
	トレー定形外用紙	OFF
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	リレー給紙設定	

NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	DHCP	ON
	IPアドレス	123.123.123.123
	サブネットマスク	255.255.255.0

（以下省略）

付録
技術情報

仕　様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：2成分乾式
印刷速度*	普通・再生紙・やや厚紙 カラー：　約24ページ/分 モノクロ：　約24ページ/分 厚紙・ラベル紙・コート紙など カラー：　約12ページ/分 モノクロ：　約12ページ/分 OHP カラー：　約6ページ/分 モノクロ：　約6ページ/分 *　印刷速度は A4 用紙、片面印刷で連続印刷した場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。また、印刷品質を保つために数十枚毎にインターバルが入ることがあります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約30秒以内（室温22℃）
ファーストプリントタイム	カラー：　約12.5秒（A4、フェイスダウン排出時） モノクロ：　約11秒（A4、フェイスダウン排出時）
給紙容量	用紙カセット ：　普通紙560枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合、または総厚54mm以下（用紙ニアエンド検出機能あり） 手差しトレー ：　• 180枚 ー 坪量64g/m^{2}の普通紙で、A4以下のサイズの場合、または総厚18mm以下（A4サイズ以下） • 100枚 ー 坪量64g/m^{2}の普通紙で、A4以下のサイズの場合、または総厚10mm以下（A4サイズ以上）
排出容量	フェイスダウン　：　約 500 枚ー坪量 64g/m^2 の普通紙の場合（スタッカーフル検出機能あり） フェイスアップ（オプション）：約150枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合（A4サイズ以下） 約50枚ー坪量64g/m^{2}の普通紙の場合（A4サイズ以上）

付録

項目	内容
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0212×0.0212mm（1/1,200×1/1,200インチ）
CPU	QED RM5261A（300MHz）
メモリー	標準128MB、最大1,024MB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	2ソケット（DIMM用） （内 1ソケットは128MB DIMM実装済）
インターフェース	• IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース • イーサネットインターフェース（10Base-T/100Base-TX） • USB 2.0準拠
言語	Windows専用言語および、NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）
環境	動作温度：　10～32.5℃ 動作湿度：　20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：　0～32.5℃ 保管湿度：　10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量　：　一般事務室程度 ガス成分：　一般事務室程度 気圧　　：　1,013～665hPa（海抜0～3,100m） 動作温湿度 湿度%　80　60　40　20 28℃　32.5℃　80%　65% 10　20　30　40　温度℃
騒音 （音圧レベル、A補正）	動作時　：　51dB 待機時　：　24dB
電源	電圧　　：　AC100V±10% 周波数　：　50/60Hz±1Hz
消費電力*[1]	動作時　　　：　最大1,100W、平均400W 節電モード時：　12W以下 （最大値は瞬間的なピーク値を除いた値です。同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合にはサービス窓口にご相談ください。）
質量	約60kg（消耗品、用紙カセットを含む）
製品寿命	印刷枚数150万枚、または使用年数5年のいずれか早い方 （定期交換部品の交換が必要です。）
消耗品寿命	トナーカートリッジ（ブラック）：約7,500枚*[2] トナーカートリッジ（イエロー、マゼンタ、シアン）：約6,000枚*[2] 大容量トナーカートリッジ（ブラック）：約15,000枚*[2] 大容量トナーカートリッジ（イエロー、マゼンタ、シアン）：約12,000枚*[2] ドラムカートリッジ：約30,000枚*[3] トナー回収カートリッジ：約24,000枚*[2]
内蔵フォント	アウトラインフォント　2種類（明朝体、ゴシック体）*[4]
対応OS	• Microsoft Windows XP 日本語版*[5]、*[6] • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*[5] • Microsoft Windows 98 日本語版*[5] • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*[5] • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版*[5]、*[7] • Microsoft Windows 2000 日本語版 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS（ver 3.3以上）

*[1]　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*[2]　A4 用紙、画像面積比 5%印刷時

*[3]　A4 用紙で連続通常印刷の場合。用紙サイズ、使用条件によっては寿命が短かくなります。

*[4]　NPDL モード時に使用。

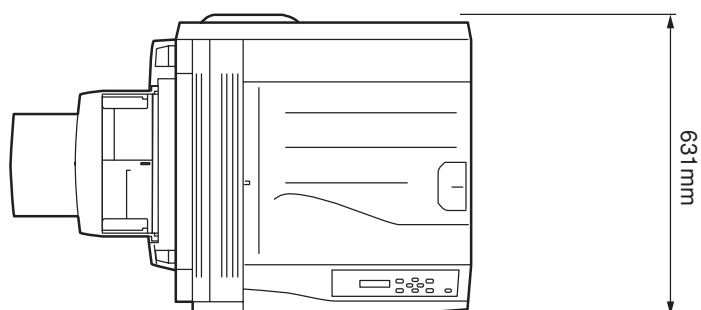
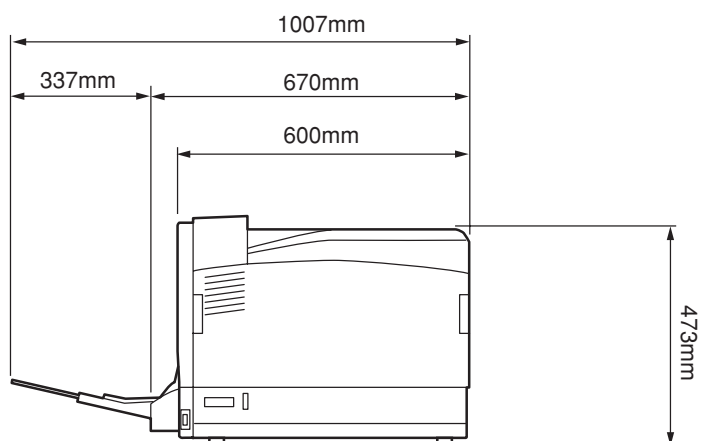
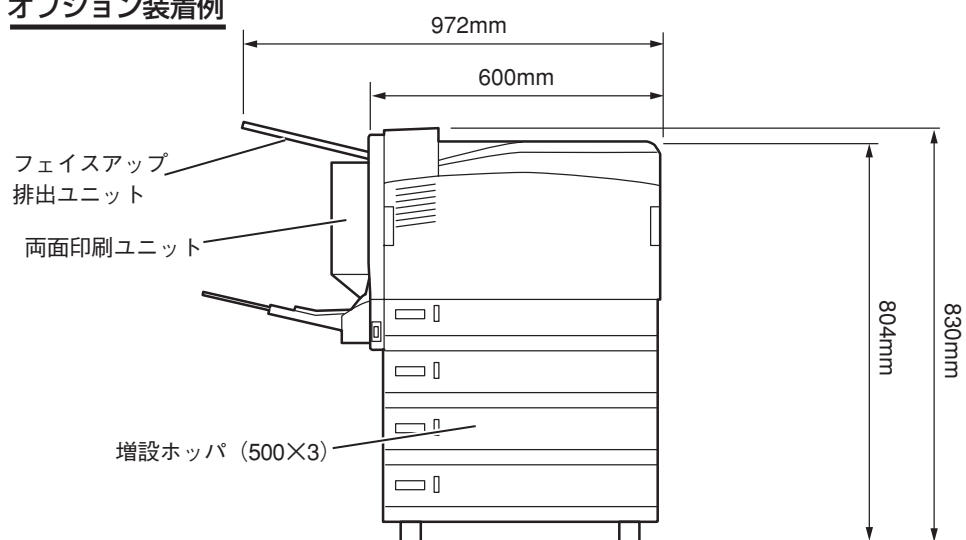
*[5]　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェースには対応していません。

*[6]　Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

*[7]　64 ビットバージョン Windows Server 2003 には対応していません。

外形寸法

平面図
631mm
正面図
1007mm
337mm
670mm
600mm
473mm
オプション装着例
972mm
600mm
フェイスアップ
排出ユニット
両面印刷ユニット
増設ホッパ（500×3）
804mm
830mm

付録

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、用紙の材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタードライバーで設定する内容が異なります。詳しくは「3章 用紙のセット」(81ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm		厚さ
一般の用紙	A4	210×297	坪量60～216g/m^2（連量52～186kg） 両面印刷（オプションの場合）坪量60～105g/m^2（連量52～90kg）
	A5	148×210	
	B4	257×364	
	B5	182×257	
	A3	297×420	
	レター	215.9×279.4	
	定形外用紙*	幅　90～304.8 長さ　98.4～1,200	坪量60～216g/m^2（連量52～186kg）
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒（洋形4号）	105×235	ー
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.11mm
	レター	215.9×279.4	
部分印刷用紙	ー	ー	坪量60～216g/m^2（連量52～186kg）
カラー用紙	ー	ー	坪量60～216g/m^2（連量52～186kg）

* 詳細は次ページ「定形外用紙の用紙サイズについて」を参照してください。

定形外用紙の用紙サイズについての詳細は、以下のとおりです。

幅（mm）	長さ（mm）	給紙			排紙	
		ホッパ１	ホッパ２～４	手差しトレー	フェイスアップ	フェイスダウン
90～182	98.4～135	×	×	○	×	○
	135～457	×	×	○	○	○
	457～1,200	×	×	○*	○*	○*
182～279.4	98.4～135	○	×	○	×	○
	135～182	○	×	○	○	○
	182～431.8	○	○	○	○	○
	431.8～457	×	×	○	○	○
	457～1,200	×	×	○*	○*	○*
279.4～297	98.4～135	○	×	○	×	○
	135～182	○	×	○	○	○
	182～420	○	○	○	○	○
	420～431.8	×	○	○	○	○
	431.8～457	×	×	○	○	○
	457～1,200	×	×	○*	○*	○*
297～304.8	98.4～135	×	×	○	×	○
	135～457	×	×	○	○	○
	457～1,200	×	×	○*	○*	○*

* 一枚ずつ手で支えながらセットする必要があります。

NPDLモードでは、幅が297mmより広い用紙、および長さが420mmより長い用紙はサポートしません。

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：P紙（富士ゼロックス）
- 用紙の厚さが坪量60～216g/m^{2}の用紙
- 電子写真プリンター用紙（トナーを用いるプリンターで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
- カラー電子写真プリンター用紙、カラー電子写真コピー紙をお勧めします。

再生紙

- 推奨紙：WR100紙/GREEN100紙（富士ゼロックス）
- 電子写真プリンター再生紙（トナーを用いるプリンターで使用する再生紙です）

プリンタードライバーの「用紙種別」で「再生紙」を選択してください。
再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンター再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙や、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- ぬれている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）の無い特殊加工をした用紙
- バインダー用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸や、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙や、裁断角度が直角でない用紙
- しわ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、湿式PPC用紙、和紙など
- 複写紙
- インクジェット用の用紙

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと、紙づまりを起こすことがあります。
- 電子写真プリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンターなどで一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

官製はがき、および折っていない官製往復はがきを使用してください。

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

✔チェック

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙
- 電子写真プリンター用紙
- 乾式PPC用紙で作られた封筒

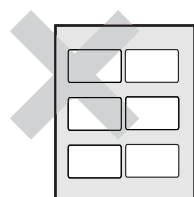
以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- しわや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

- 印刷後は反りやしわが発生する場合があります。特に、封筒が薄いとシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mmは印刷品位が低下することがあります。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：V862（富士ゼロックス）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンター用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンターの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1～0.2mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

台紙全体がラベルに
覆われていない

- プリンタードライバーの「用紙種別」で「ラベル紙」を選択してください。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- カットのないラベル紙を推奨します。

長尺紙

本プリンターが推奨する長尺紙は以下のとおりです。

販売元：　富士ゼロックスオフィスサプライ

サイズ	型番
297mm×900mm	GAAA1481　100枚入り ZGAA0172　100枚入り×5袋
297mm×1200mm	GAAA2688　100枚入り ZGAA0288　100枚入り×5袋
210mm×900mm	GAAA1799　100枚入り ZGAA0228　100枚入り×5袋

推奨長尺紙で印刷する場合には、プリンタードライバーの「用紙種別」で「厚紙」を選択してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨OHP ：PR-L9200C-TP
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンター用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンターの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート

チェック

- プリンタードライバーの「用紙種別」で「OHP」を選択してください。
- 推奨以外のOHPシートを使用すると、プリンターが故障するおそれがあります。
- 白枠のあるOHPシートは使用できません。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
- OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。

部分印刷用紙

部分印刷に使用したインクが耐熱性で155℃に耐えるものを使用してください。

チェック

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。

書き出し位置精度：±2mm、
用紙の斜行：　±1mm/100mm、
画像伸縮：　±1mm/100mm（坪量64g/m^2の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で155℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンター用の用紙

コート紙

コート紙をご使用いただく場合には、以下について注意して、事前に走行性、画質などを確認することを推奨します。

- 手差しトレーから１枚ずつ用紙をセットしてください。
- 通常のオフィス環境*でご使用いただくことを推奨します。
- 両面コートされたコート紙は、手動設定で両面印刷可能ですが、印刷内容によっては、きれいな印刷結果が得られないことがあります。

プリンタードライバーの「用紙種別」で「コート紙」を選択してください。

* 気温22℃、湿度55%付近

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また、実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

用紙の保管に適した場所

- 暗く、湿気の少ない書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%の環境

用紙の保管に適さない場所

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒーター、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

印刷範囲

理論印刷範囲

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmにできます。
MS-DOS環境で使用する場合の印刷範囲は活用マニュアルを参照してください。
ただし、実際の印刷範囲と使用環境、プリンターの設定により多少異なる場合があります。

印刷保証領域

印刷品質を保証する領域は下図のとおりです。

索引

記号

A

C

D

E

F

I

L

M

N

O

P

S

T

U

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

ハ

ヒ

フ

ホ

マ

ミ

ム

メ

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第3-2部：限度値―高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

R100 PRINTED WITH SOY INK

NEC